別 添

「審査事務規程」（平成 28 年 4 月 1 日規程第 2 号）第 9 次改正新旧対照表

平成 29 年 4 月 4 日改正

新

独立行政法人自動車技術総合機構審査事務規程

目次（略）

第 1 章～第 11 章（略）

別表 1（2-2 関係）

添付書面一覧

整理番号	添付書面の名称		提出時の注意事項等
(略)	(略)		(略)
(6)	試験成績書		(略)
	(略)	(略)	(略)
	4	操縦安定性試験	最高速度 40km/h 以上の連結車両に限る。 （6）33 附則 21 の試験結果を提出する場合に は、提出を省略して差し支えない。
	5 ～ 12	(略)	(略)
	13	応急用予備走行装置試験（協定規則第 64 号）	
	14 ～ 15	(略)	(略)
	16	タイヤ空気圧監視装置試験（協定規則第 141 号）	
	17	自動車に取り付けられる空気入ゴムタイヤ試験（協定規則第 142 号）	
	18 ～ 22	(略)	(略)
	23	前輪整列試験	（6）22 の試験結果を提出する場合には、提出を省略して差し支えない。
	24	(略)	(略)

旧

独立行政法人自動車技術総合機構審査事務規程

目次（略）

第 1 章～第 11 章（略）

別表 1（2-2 関係）

添付書面一覧

整理番号	添付書面の名称		提出時の注意事項等
(略)	(略)		(略)
(6)	試験成績書		(略)
	(略)	(略)	(略)
	4	操縦安定性試験	最高速度 40km/h 以上の連結車両に限る。 （6）31 附則 21 の試験結果を提出する場合に は、提出を省略して差し支えない。
	5 ～ 12	(略)	(略)
	13	応急用予備走行装置及びタイヤ空気圧監視装置試験（協定規則第 64 号）	
	14 ～ 15	(略)	(略)
		（新設）	
		（新設）	
	16 ～ 20	(略)	(略)
	21	前輪整列試験	（6）20 の試験結果を提出する場合には、提出を省略して差し支えない。
	22	(略)	(略)

新			旧		
～ 31			～ 29		
32	衝突被害軽減制動制御装置試験	(6) 36 の試験結果を提出する場合には、提出を省略して差し支えない。	30	衝突被害軽減制動制御装置試験	(6) 34 の試験結果を提出する場合には、提出を省略して差し支えない。
33 ～ 36	(略)	(略)	31 ～ 34	(略)	(略)
37	ブレーキアシストシステム試験(協定規則第 139 号)			(新設)	
38	横滑り防止装置試験(協定規則第 140 号)			(新設)	
39 ～ 53	(略)	(略)	35 ～ 49	(略)	(略)
54	圧縮水素ガスを燃料とする二輪自動車及び側車付二輪自動車の燃料装置試験			(新設)	
55	(略)	(略)	50	(略)	(略)
56	圧縮水素ガスを燃料とする自動車の燃料装置試験(協定規則第 134 号)			(新設)	
57	圧縮水素ガスを燃料とする自動車の衝突時等における燃料漏れ防止試験(協定規則第 134 号)			(新設)	
58	圧縮水素ガスを燃料とする自動車の燃料装置試験(協定規則第 134 号(取付・強度))			(新設)	
59 ～ 69	(略)	(略)	51 ～ 61	(略)	(略)
70	電気二輪自動車等の高電圧からの乗員保護試験(協定規則第 136 号(車両))			(新設)	
71	電気二輪自動車等の高電圧からの乗員保護試験(協定規則第 136 号(単品))			(新設)	
72 ～ 132	(略)	(略)	62 ～ 122	(略)	(略)

新			旧		
	133	軽・中量車排出ガス試験（WLTC モード）		（新設）	
	134 ～ 199	（略）		123 ～ 188	（略）
	200	後写鏡等の視界試験	（6）198 及び（6）199 の試験結果を提出する場合には、提出を省略して差し支えない。	189	後写鏡等の視界試験	（6）187 及び（6）188 の試験結果を提出する場合には、提出を省略して差し支えない。
	201 ～ 225	（略）	（略）	190 ～ 214	（略）	（略）
	226	燃料消費率試験（WLTC モード）			（新設）	
（略）	（略）	（略）	（略）	（略）	（略）

別表 2～別表 9（略）
様式 1～様式 13（略）

別添 1（2-2 関係）

試験規程

Test Requirements and Instructions for Automobile Standards（TRIAS）

	試験項目	分類番号
（略）	（略）	（略）
13	応急用予備走行装置試験（協定規則第 64 号）	TRIAS 09-R064-02
14 ～ 15	（略）	（略）
16	タイヤ空気圧監視装置試験（協定規則第 141 号）	TRIAS 09-R141-01
17	自動車に取り付けられる空気入ゴムタイヤ試験（協定規則第 142 号）	TRIAS 09-R142-01
18 ～ 33	（略）	（略）
34	乗用車の制動装置試験（協定規則第 13H 号）	TRIAS 12-R013H-02
35	（略）	（略）
36	衝突被害軽減制動制御装置試験（協定規則第 131 号）	TRIAS 12-R131-02
37	ブレーキアシストシステム試験（協定規則第 139 号）	TRIAS 12-R139-01

別表 2～別表 9（略）
様式 1～様式 13（略）

別添 1（2-2 関係）

試験規程

Test Requirements and Instructions for Automobile Standards（TRIAS）

	試験項目	分類番号
（略）	（略）	（略）
13	応急用予備走行装置及びタイヤ空気圧監視装置試験（協定規則第 64 号）	TRIAS 09-R064-01
14 ～ 15	（略）	（略）
	（新設）	（新設）
	（新設）	（新設）
16 ～ 31	（略）	（略）
32	乗用車の制動装置試験（協定規則第 13H 号）	TRIAS 12-R013H-01
33	（略）	（略）
34	衝突被害軽減制動制御装置試験（協定規則第 131 号）	TRIAS 12-R131-01
	（新設）	（新設）

新			旧		
38	横滑り防止装置試験（協定規則第 140 号）	TRIAS 12-R140-01		（新設）	（新設）
39 ～ 53	（略）	（略）	35 ～ 49	（略）	（略）
54	圧縮水素ガスを燃料とする二輪自動車及び側車付二輪自動車の燃料装置試験	TRIAS 17-J118-01		（新設）	（新設）
55	（略）	（略）	50	（略）	（略）
56	圧縮水素ガスを燃料とする自動車の燃料装置試験（協定規則第 134 号）	TRIAS 17-R134(1)-01		（新設）	（新設）
57	圧縮水素ガスを燃料とする自動車の衝突時等における燃料漏れ防止試験（協定規則第 134 号）	TRIAS 17-R134(2)-01		（新設）	（新設）
58	圧縮水素ガスを燃料とする自動車の燃料装置試験（協定規則第 134 号（取付・強度））	TRIAS 17-R134(3)-01		（新設）	（新設）
59 ～ 69	（略）	（略）	51 ～ 61	（略）	（略）
70	電気二輪自動車等の高電圧からの乗員保護試験（協定規則第 136 号（車両））	TRIAS 17(2)-R136(1)-01		（新設）	（新設）
71	電気二輪自動車等の高電圧からの乗員保護試験（協定規則第 136 号（単品））	TRIAS 17(2)-R136(2)-01		（新設）	（新設）
72 ～ 118	（略）	（略）	62 ～ 108	（略）	（略）
119	窓ガラス試験（協定規則第 43 号（単品））	TRIAS 29-R043(1)-02	109	窓ガラス試験（協定規則第 43 号（単品））	TRIAS 29-R043(1)-01
120 ～ 130	（略）	（略）	110 ～ 120	（略）	（略）
131	軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード）	TRIAS 31-J042(2)-03	121	軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード）	TRIAS 31-J042(2)-02
132	軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード（ポスト新長期対応））	TRIAS 31-J042(3)-03	122	軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード（ポスト新長期対応））	TRIAS 31-J042(3)-02
133	軽・中量車排出ガス試験（WLTC モード）	TRIAS 31-J042(4)-01		（新設）	（新設）
134 ～ 141	（略）	（略）	123 ～ 130	（略）	（略）
142	車載式故障診断装置試験（ガソリン自動車（J-OBDⅡ））	TRIAS 31-J048(2)-02	131	車載式故障診断装置試験（ガソリン自動車（J-OBDⅡ））	TRIAS 31-J048(2)-01
143 ～ 145	（略）	（略）	132 ～ 134	（略）	（略）

新			旧		
146	燃料蒸発ガス試験（JC08 モード）	TRIAS 31-J049(2)-02	135	燃料蒸発ガス試験（JC08 モード）	TRIAS 31-J049(2)-01
147 ～ 154	（略）	（略）	136 ～ 143	（略）	（略）
155	二輪自動車等の灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置試験	TRIAS 32-J053-02	144	二輪自動車等の灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置試験	TRIAS 32-J053-01
156 ～ 157	（略）	（略）	145 ～ 146	（略）	（略）
158	二輪自動車等の灯火器試験（協定規則第 50 号）	TRIAS 32-R050-02	147	二輪自動車等の灯火器試験（協定規則第 50 号）	TRIAS 32-R050-01
159	前照灯試験（協定規則第 98 号）	TRIAS 32-R098-02	148	前照灯試験（協定規則第 98 号）	TRIAS 32-R098-01
160	前照灯試験（協定規則第 112 号）	TRIAS 32-R112-04	149	前照灯試験（協定規則第 112 号）	TRIAS 32-R112-03
161	前照灯試験（協定規則第 113 号）	TRIAS 32-R113-02	150	前照灯試験（協定規則第 113 号）	TRIAS 32-R113-01
162	前照灯試験（協定規則第 123 号）	TRIAS 32-R123-05	151	前照灯試験（協定規則第 123 号）	TRIAS 32-R123-04
163	（略）	（略）	152	（略）	（略）
164	前部霧灯試験（協定規則第 19 号）	TRIAS 33-R019-02	153	前部霧灯試験（協定規則第 19 号）	TRIAS 33-R019-01
165	（略）	（略）	154	（略）	（略）
166	側方照射灯試験（協定規則第 119 号）	TRIAS 33(2)-R119-02	155	側方照射灯試験（協定規則第 119 号）	TRIAS 33(2)-R119-01
167	低速走行時側方照射灯試験（協定規則第 23 号）	TRIAS 33(3)-R023-02	156	低速走行時側方照射灯試験（協定規則第 23 号）	TRIAS 33(3)-R023-01
168 ～ 185	（略）	（略）	157 ～ 174	（略）	（略）
186	後退灯試験	TRIAS 40-J072R023-02	175	後退灯試験	TRIAS 40-J072R023-01
187	方向指示器試験	TRIAS 41-J073R006-02	176	方向指示器試験	TRIAS 41-J073R006-01
188 ～ 205	（略）	（略）	177 ～ 194	（略）	（略）
206	速度計試験	TRIAS 46-J088R039-02	195	速度計試験	TRIAS 46-J088R039-01
207 ～ 212	（略）	（略）	196 ～ 201	（略）	（略）
213	燃料消費率試験（JC08 モード）	TRIAS 99-006-02	202	燃料消費率試験（JC08 モード）	TRIAS 99-006-01
214 ～ 217	（略）	（略）	203 ～ 206	（略）	（略）
218	一充電走行距離及び交流電力量消費率試験（JC08 モード）	TRIAS 99-011-02	207	一充電走行距離及び交流電力量消費率試験（JC08 モード）	TRIAS 99-011-01
219	（略）	（略）	208	（略）	（略）

新

～225		
226	一充電走行距離及び交流電力量消費率試験（JC08 モード計算法対応）	TRIAS 99-021-02
227	燃料消費率試験（WLTC モード）	TRIAS 99-022-01

TRIAS 02-001-01～09-R054-01（略）

TRIAS 09-R064-02

応急用予備走行装置試験（協定規則第 64 号）

1. 総則（略）
2. 測定値及び計算値の末尾処理
   測定値及び計算値の末尾処理は、別表 1 により行うものとする。
   なお、測定ならびに計算が、別表による末尾処理よりも高い精度である場合にあっては、より高い精度による末尾処理としてもよいものとする。
3. 車両のカテゴリー
   協定規則第 64 号の規則 1. の注釈による「R. E. 3」によるものとする。
4. 試験記録及び成績
   4. 1～4. 2（略）
   4. 3　記入した規則改訂番号及び補足改訂番号に該当しない箇所は斜線を引くか削除すること。

別表 1

測定値及び計算値の取扱い		
試験自動車		
	項目	取扱い
	最高速度	（略）
	質量	（略）
	タイヤ空気圧	（略）
	（削除）	（削除）
	（削除）	（削除）
	（削除）	（削除）
試験における測定記録		

旧

～214		
215	一充電走行距離及び交流電力量消費率試験（JC08 モード計算法対応）	TRIAS 99-021-01
	（新設）	（新設）

TRIAS 02-001-01～09-R054-01（略）

TRIAS 09-R064-01

応急用予備走行装置及びタイヤ空気圧監視装置試験（協定規則第 64 号）

協定規則第 64 号　以下の装置に係る車両の認可に関する統一規定：応急用スペアユニット、ランフラットタイヤ、ランフラットシステム、タイヤ空気圧監視システム

Regulation No. 64 Uniform provisions concerning the approval of vehicles with regard to their equipment which may include: a temporary-use spare unit, run-flat tyres and/or a run-flat system, and/or a tyre pressure monitoring system Test Data Record Form

1. 総則（略）
2. 測定値及び計算値の末尾処理
   測定値及び計算値の末尾処理は、別表 1 により行うものとする。
3. 車両のカテゴリー
   協定規則第 64 号の規則 1. の注釈による「R. E. 3」の附則 7 によるものとする。
4. 試験記録及び成績
   4. 1～4. 2（略）
   （新設）

別表 1

測定値及び計算値の取扱い		
試験自動車		
	項目	取扱い
	最高速度	（略）
	質量	（略）
	タイヤ空気圧	（略）
	軸距	諸元表記載値（m）
	重心高（積載、非積載）	小数第 4 位を四捨五入 小数第 3 位まで記載（m）
	原動機アイドリング回転数	整数第 1 位まで記載（rpm）
試験における測定記録		

新

項目	取扱い
制動初速度	小数第2位を四捨五入 小数第1位まで記載（km/h）
タイヤ空気圧	小数第1位を四捨五入 整数位まで記載（kPa）
停止距離	小数第2位を四捨五入 小数第1位まで記載（m）
停止距離補正値	S ＝（Vs^2／Va^2）× Sa S ＝停止距離補正値（m） Sa＝停止距離測定値（m） Vs＝制動初速度規定値（km/h） Va＝制動初速度測定値（km/h） 小数第2位を四捨五入 小数第1位まで記載（m）
平均飽和減速度	小数第3位を四捨五入 小数第2位まで記載（m/s^2）
減速度	小数第2位を四捨五入 小数第1位まで記載（m/s^2）
操作力	小数第1位を四捨五入 整数第1位まで記載（N）

付表1

応急用予備走行装置試験記録及び成績
(a temporary-use spare unit, run-flat tyres and run-flat system Test Data Record Form)

試験期日（略）

改訂番号 (Series No.)		補足改訂番号 (Supplement No.)	

1.～2.（略）
3. 試験機器※
(Test equipment)※
（略）
※：説明に要する場合等、別紙を用いても良い（Including the case of brief description, it can be allowed using Attachments)
4.（略）
5. 試験成績

旧

項目	取扱い
制動初速度	小数第1位まで測定（km/h）
タイヤ空気圧	小数第1位を四捨五入（kPa） 整数位まで記載（kPa）
停止距離	測定値小数第1位まで測定（m）
停止距離補正値	S ＝（Vs^2／Va^2）× Sa S ＝停止距離補正値（m） Sa＝停止距離測定値（m） Vs＝制動初速度規定値（km/h） Va＝制動初速度測定値（km/h） 小数第2位を四捨五入（m） 小数第1位まで記載（m）
平均飽和減速度	小数第3位を四捨五入（m/s^2） 小数第2位まで記載（m/s^2）
減速度	小数第2位を四捨五入（m/s^2） 小数第1位まで記載（m/s^2）
操作力	5N未満切り捨て 5N単位で記載

付表1

協定規則第64号 以下の装置に係る車両の認可に関する統一規定：
応急用スペアユニット、ランフラットタイヤ、ランフラットシステム、タイヤ空気圧監視システムの試験記録及び成績
Regulation No. 64 Uniform provisions concerning the approval of vehicles with regard to their equipment which may include: a temporary-use spare unit, run-flat tyres an

試験期日（略）
（新設）

1.～2.（略）
3. 試験機器
(Test equipment)
（略）

4.（略）
5. 試験成績

新			旧		
5.1 一般要件			5.1 一般要件		
	5.1.1（略） ～ 5.1.5（略） 5.1.6			5.1.1（略） ～ 5.1.5（略） 5.1.6	
		ランフラットタイヤ（セルフサポーティングタイヤ）、又はランフラットタイヤ（エクステンディッドモビリティシステム）を装備した車両の場合、40ｋｍ／ｈから最高設計速度までの範囲内で作動することが可能で、かつ5.1.6.1.から5.1.6.6.の要件を満たすランフラット警報システム（2.13.の規定による）も装着するものとする。ただし、車両に協定規則第141号の要件を満たすタイヤ空気圧監視システムが装着されている場合には、追加して装着する必要はない。 In the case of vehicles equipped with run-flat/self supporting tyres or run-flat/extended mobility system, the vehicle shall also be fitted with a Run-Flat Warning System (defined in paragraph 2.13.) capable of operating within a speed range from 40 km/h to the maximum design speed of the vehicle and meeting the requirements of paragraphs 5.1.6.1. to 5.1.6.6. However, if the vehicle is fitted with a tyre pressure monitoring system meeting the requirements of Regulation No.141, the additional fitment of a run-flat warning system is not required.	Pass・Fail		ランフラットタイヤ（セルフサポーティングタイヤ）、又はランフラットタイヤ（エクステンディッドモビリティシステム）を装備した車両の場合、40ｋｍ／ｈから最高設計速度までの範囲内で作動することが可能で、かつ5.1.6.1.から5.1.6.6.の要件を満たすランフラット警報システム（2.13.の規定による）も装着するものとする。ただし、車両に5.3.の要件を満たすタイヤ空気圧監視システムが装着されている場合には、追加して装着する必要はない。 In the case of vehicles equipped with run-flat/self supporting tyres or run-flat/extended mobility system, the vehicle shall also be fitted with a Run-Flat Warning System (defined in paragraph 2.13.) capable of operating within a speed range from 40 km/h to the maximum design speed of the vehicle and meeting the requirements of paragraphs 5.1.6.1. to 5.1.6.6. However, if the vehicle is fitted with a tyre pressure monitoring system meeting the requirements of paragraph 5.3., the additional fitment of a run-flat warning system is not required.	Pass・Fail
	5.1.6.1（略） ～ 5.1.7（略）			5.1.6.1（略） ～ 5.1.7（略）	
6.補足情報 Supplementary information			（新設）		
	6.1.	車両に応急用スペアユニットが装備されている場合には、車両のオーナーズマニュアルには少なくとも以下の情報が記載されているも			
		Pass・Fail			

新				旧
		のとする。 If the vehicle is equipped with a temporary-use spare unit, the owner's manual of the vehicle shall contain at least the following information:		
	6.1.1.	応急用スペアユニットの使用上の制限に従わないことから生じる危険についての記述、及び該当する場合は、特定アクスルに限定使用する旨の記述を含む。 A statement of the risk resulting from non-compliance with the restrictions on the use of a temporary-use spare unit including, as appropriate, a statement relating to use restricted to a specific axle;	Pass・Fail	
	6.1.2.	2.10.1項、2.10.2項あるいは2.10.3項で定義されているタイプ1,2もしくは3の応急用スペアユニットが装着されている場合には、注意して、許容最高速度80km/h（50mph）以下で走行し、できる限り早急に標準ユニットを再度取り付ける旨の指示。この指示が、2.10.5項で定義されているタイプ5の応急用スペアユニットがフラットタイヤ走行モードで用いられている場合にも適用することを明示するものとする。 An instruction to drive with caution and at no more than the permitted maximum speed of 80 km/h (50 mph) when a type 1, 2 or 3 temporary-use spare unit as defined in paragraphs 2.10.1., 2.10.2. or 2.10.3. is fitted, and to reinstall a standard unit as soon as possible. It shall be made clear that this instruction also applies to a type 5 temporary-use spare unit as defined in paragraph 2.10.5. being used in the flat tyre running mode;	Pass・Fail	
	6.1.2.1.	2.10.4項で定義されているタイプ4のスペアユニットが装着されている場合には、注意して、許容最高速度120km/h（75mph）以下で走行し、できる限り早急に標準ユニットを再度	Pass・Fail	

新				旧
		取り付ける旨の指示。 An instruction to drive with caution and at no more than the permitted maximum speed of 120 km/h (75 mph), when a type 4 spare unit as defined in paragraph 2.10.4. is fitted, and to reinstall a standard unit as soon as possible.		
	6.1.3.	同時に2つ以上の応急用スペアユニットを装着して車両の運転をすることは禁じられている旨の記述。本要件は、2.10.1項、2.10.2項及び2.10.3項で定義されているタイプ1、2及び3の応急用スペアユニットにのみ適用するものとする。 A statement that operation of the vehicle is not permitted with more than one temporaryuse spare unit fitted at the same time. This requirement shall only apply to a type 1, 2 and 3 temporary-use spare unit as defined in paragraphs 2.10.1., 2.10.2. and 2.10.3;	Pass・Fail	
	6.1.4.	応急用スペアユニットのタイヤに対して車両メーカーが指定した空気圧の明瞭な表示。 A clear indication of the inflation pressure specified by the vehicle manufacturer for the tyre of the temporary-use spare unit;	Pass・Fail	
	6.1.5.	空気を抜いた状態で保管されている応急用スペアユニットを装備した車両については、上記5.1.7項に記した装置によって臨時使用のために指定された圧力までタイヤに空気を入れる手順の説明。 For vehicles equipped with a temporary-use spare unit stored in a deflated condition, a description of the procedure for inflating the tyre to the pressure specified for temporaryuse by means of the device referred to in paragraph 5.1.7. above.	Pass・Fail	
	6.2.	車両にランフラット警報システムが取り付けられている場合には、車両のオーナーズマニ	Pass・Fail	

新

		ュアルには少なくとも以下の情報が記載されているものとする。 If the vehicle is fitted with a Run-flat Warning System, the owner's manual of the vehicle shall contain at least the following information:	
	6.2.1.	車両にかかるシステムが装備されている旨の記述（ならびに、実際のシステムにリセット機能が含まれている場合には、システムのリセット方法に関する情報）。 A statement that the vehicle is equipped with such a system (and information how to reset the system, if the actual system includes such a feature).	Pass・Fail
	6.2.2.	5.1.6.1項又は5.3.5.1項（該当する方）に規定されたテルテール記号の画像(ならびに、異常表示機能のために専用テルテールを使用する場合には、異常テルテール記号の画像)。 An image of the tell-tale symbol described in paragraph 5.1.6.1. or 5.3.5.1. as appropriate (and an image of the malfunction tell-tale symbol, if a dedicated tell-tale is used for this function).	Pass・Fail

（削除）
（削除）

附則3 応急用スペアユニットを装着した車両に対する制動試験及び偏向試験									
応急用スペアユニット装着部位			重量条件	指定速度	制動初速度	停止距離 測定値	平均飽和減速度	操作力	車両挙動
前		左側							Pass・Fail

旧

5. 試験成績

5.3 タイヤ空気圧監視システム（TPMS）		
5..1 一般要件		
	5.3.1.2（略） ～ 5.3.5.5（略）	

附則3 応急用スペアユニットを装着した車両に対する制動試験及び偏向試験										
応急用スペアユニット装着部位			重量条件	指定速度	制動初速度	停止距離		平均飽和減速度	操作力	車両挙動
						測定値	補正測定値			
前		左側								適・否（Pass

新

		右側								
後		左側								Pass・Fail
		右側								

（略）

（削除）

附則4　ランフラット警報システム（RFWS）に対する試験要件

		試験位置	車速	メーカ指定空気圧	減少空気圧	警報の作動
Test1		左側				Pass・Fail
		右側				
		左側				Pass・Fail
		右側				
Test2		左側				Pass・Fail
		右側				
		左側				
		右側				
ランフラットシステムの故障検出				ランフラットシステム故障の模擬方法		Pass・Fail

（削除）

（以下略）

TRIAS 09-R075-01（略）

TRIAS 09-R117-01

タイヤの車外騒音・ウェット路面上での摩擦力・転がり抵抗に係る試験

（協定規則第117号）

（以下略）

TRIAS 09-R141-01

タイヤ空気圧監視装置試験（協定規則第141号）

旧

		右側								Fail）
後		左側								適・否（Pass Fail）
		右側								

（略）

5.3.～5.3.5.5.（タイヤ空気圧監視システム）の要件に適合している

If the answer to the above item is yes, the run-flat warning system meets the requirements of paragraphs 5.1.6. to 5.1.6.6./ meets the requirements of paragraphs 5.3. to 5.3.5.5. (tyre pressure monitoring system)

附則4　ランフラット警報システム（RFWS）に対する試験要件

		試験位置	車速	メーカ指定空気圧	減少空気圧	警報の作動
Test1		左側				適・否（Pass Fail）
		右側				
		左側				適・否（Pass Fail）
		右側				
Test2		左側				適・否（Pass Fail）
		右側				
		左側				
		右側				
ランフラットシステムの故障検出				ランフラットシステム故障の模擬方法		適・否（Pass Fail）

附則5　タイヤプレッシャーモニタリングシステム（TPMS）（略）

（以下略）

TRIAS 09-R075-01（略）

TRIAS 09-R117-01

タイヤの車外騒音・ウェット路面上での摩擦力・転がり抵抗に係る試験

（協定規則第117号）

(Test of tyres with regard to rolling to sound emissions and/ or to adhesion on wet surfaces and/or to rolling resistance)

（以下略）

（新設）

新	旧
※別紙による	
TRIAS 09-R142-01 自動車に取り付けられる空気入ゴムタイヤ試験（協定規則第 142 号） ※別紙による	（新設）
TRIAS 10-R60-01 二輪自動車の操作装置及び表示装置試験（協定規則第 60 号） 1.～2.（略） 表 Attached Table（略） 1. 一般規定　General	TRIAS 10-R60-01 二輪自動車の操作装置及び表示装置試験（協定規則第 60 号） 1.～2.（略） 表 Attached Table（略） 1. 一般規定　General

新

項番号 Operation No.	項目 Item	判定 Determination	備考 Remarks
5. 1.　～ 5. 3.	（略）	（略）	
5. 3. 1. 1.	提示された記号の形状および方向のいかなる逸脱も許容されないこと、とりわけ掲示された記号の外観のいかなるカスタマイズも禁止されるものとする事を確実にするものとする。 It shall be ensured that no deviations in the shape and orientation of the provided symbols are permitted, notably that any customised appearance of the provided symbols shall be prohibited.	適・否 Pass・Fail	
5. 3. 1. 2.	ISO 2575:2010/amd1:2011（設計原則）の4 項に規定されたとおり、線の太さに関するわずかなずれ、マーキングのアプリケーションおよびその他の関連する公差を受け入れるものとする。 Small irregularities concerning line thickness, the marking application and otherrelevant tolerances shall be accepted, as provided in paragraph 4 of ISO 2575:2010/amd1:2011 (design principles).	適・否 Pass・Fail	
5. 3. 3. ～5. 5. 2.	（略）	（略）	
5. 5. 4.	テルテール、コントロール装置又はインジケータの識別に使用される各記号は、背景との対比においてはっきりと目立つ	適・否 Pass・Fail	

旧

項番号 Operation No.	項目 Item	判定 Determination	備考 Remarks
5. 1.　～ 5. 3.	（略）	（略）	
（新設）	（新設）	（新設）	
（新設）	（新設）	（新設）	
5. 3. 3. ～5. 5. 2.	（略）	（略）	
（新設）	（新設）	（新設）	

新

	ものとする。 Each symbol used for the identification of a tell-tale, control or indicator shall stand out clearly against the background.		
5. 6.	複数メッセージを表示するための共通スペース 共通スペースは、以下の要件に従うことを条件として、いずれの情報源からの情報を表示するために使用してもよい。 Common space for displaying multiple messages A common space may be used to show information from any source, subject to the following requirements.		
5. 6. 1. ～5. 6. 6.	(略)	(略)	(略)

2. 個別要件（別表 1）
Individual requirements (Table 1)

番号 No.	項目 Item	装備 Equipped	記号 Symbol	機能 Function	位置 Position	色 Color	備考 Remarks
1. ～ 10.	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

r	項目 Item	装備 Equipped	記号 Symbol	機能 Function	位置 Position	色 Color	備考 Remarks
11. ～ 17.	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

番号 No.	項目 Item	装備 Equipped	記号 Symbol	機能 Function	位置 Position	色 Color	備考 Remarks
18. ～ 23.	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

番号 No.	項目 Item	装備 Equipped	記号 Symbol	機能 Function	位置 Position	色 Color	備考 Remarks
24.	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

旧

5. 6.	複数メッセージを表示するための共通スペース 共通スペースは、以下の要件に従うことを条件として、いずれの情報源からの情報を表示するために使用してもよい。 Green: safe, normal operating condition (except if blue or amber is required by Table 1).		
5. 6. 1. ～5. 6. 6.	(略)	(略)	(略)

2. 個別要件（別表 1）
Individual requirements (Table 1)

番号 No.	項目 Item	装備 Equipped	記号 Symbol	機能 Function	位置 Position	色 Color	備考 Remarks
1. ～ 35.	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

（新設）

（新設）

（新設）

新	旧
～ 33.	
番号 No. / 項目 Item / 装備 Equipped / 記号 Symbol / 機能 Function / 位置 Position / 色 Color / 備考 Remarks 34. ～ 35. / (略) / (略) / (略) / (略) / (略) / (略) / (略)	(新設)
(以下略)	(以下略)
TRIAS 10-R121-02～11-R012-01 (略)	TRIAS 10-R121-02～11-R012-01 (略)
TRIAS 11-R079-01 かじ取装置試験 (協定規則第 79 号)	TRIAS 11-R079-01 かじ取装置試験 (協定規則第 79 号) (STEERING EQUIPMENT)
(以下略)	(以下略)
TRIAS 11-001-01～12-J113-01 (略)	TRIAS 11-001-01～12-J113-01 (略)
TRIAS 12-R013-01 トラック、バス及びトレーラの制動装置試験 (協定規則第 13 号)	TRIAS 12-R013-01 トラック、バス及びトレーラの制動装置試験 (協定規則第 13 号) (Vehicles of categories M, N and O with regard to braking test)
(以下略)	(以下略)
TRIAS 12-R013H-02 乗用車の制動装置試験 (協定規則第 13H 号)	TRIAS 12-R013H-01 乗用車の制動装置試験 (協定規則第 13H 号) (Passenger cars with regard to braking)
1. (略)	1. (略)
2. 測定値及び計算値の末尾処理 測定値及び計算値の末尾処理は、別表により行うものとする。 なお、測定ならびに計算が、別表による末尾処理よりも高い精度である場合にあっては、より高い精度による末尾処理としてもよいものとする。	2. 測定値及び計算値の末尾処理 測定値及び計算値の末尾処理は、別表により行うものとする。
3. 試験記録及び成績 3.1～3.2 (略) 3.3 記入した規則改訂番号及び補足改訂番号に該当しない箇所は斜線を引くか削除すること。	3. 試験記録及び成績 3.1～3.2 (略) (新設)
別表 測定値及び計算値の取扱い 試験自動車	別表 測定値及び計算値の取扱い 試験自動車

新		旧	
項目	取扱い	項目	取扱い
最高速度	（略）	最高速度	（略）
質量	（略）	質量	（略）
タイヤ空気圧	（略）	タイヤ空気圧	（略）
軸距	（略）	軸距	（略）
重心高（積載、非積載）	（略）	重心高（積載、非積載）	（略）
（削除）	（削除）	原動機アイドリング回転数	整数第１位まで記載（rpm）
試験における測定記録		試験における測定記録	
項目	取扱い	項目	取扱い
制動初速度	小数第２位を四捨五入 小数第１位まで記載（km/h）	制動初速度	小数第１位まで測定（km/h）
停止距離	小数第２位を四捨五入 小数第１位まで記載（m）	停止距離	測定値小数第１位まで測定（m）
停止距離補正値	S＝（Vs^2／Va^2）×Sa S＝停止距離補正値（m） Sa＝停止距離測定値（m） Vs＝制動初速度規定値（km/h） Va＝制動初速度測定値（km/h） 小数第２位を四捨五入 小数第１位まで記載（m）	停止距離補正値	S＝（Vs^2／Va^2）×Sa S＝停止距離補正値（m） Sa＝停止距離測定値（m） Vs＝制動初速度規定値（km/h） Va＝制動初速度測定値（km/h） 小数第２位を四捨五入（m） 小数第１位まで記載（m）
平均飽和減速度	小数第３位を四捨五入 小数第２位まで記載（m/s^2）	平均飽和減速度	小数第３位を四捨五入（m/s^2） 小数第２位まで記載（m/s^2）
減速度	小数第２位を四捨五入 小数第１位まで記載（m/s^2）	減速度	小数第２位を四捨五入（m/s^2） 小数第１位まで記載（m/s^2）
操作力	小数第１位を四捨五入 整数第１位まで記載（N）	操作力 （付表７のBAS試験以外が対象）	5N未満切り捨て 5N単位で記載
車輪ロック	（略）	車輪ロック	（略）
けん引力	小数第１位を四捨五入 整数第１位まで記載（N）	けん引力	100N未満切り捨て 整数第２位以下切り捨て（N） 100N単位で記載 整数第３位まで記載（N）
制動効率Zp（単体要件）	（略）	制動効率Zp（単体要件）	（略）
制動効率Zp（連結要件）	（略）	制動効率Zp（連結要件）	（略）
応答時間	小数第２位を四捨五入 小数第１位まで記載（s）	応答時間	小数第１位まで測定（s）
制動液圧の制動力への換算	B＝P・π・Dw^2・BEF・r／（4・R） B：制動力（N） P：制動液圧（MPa）	制動液圧の制動力への換算	B＝P・π・Dw^2・BEF・r／（4・R） B：制動力（N） P：制動液圧（MPa）

新		旧	
	π：(3.1416) Dw：ホイールシリンダ内径（mm） BEF：ブレーキ効力係数 r：ブレーキ有効半径（mm） R：タイヤ動荷重半径（mm） 小数第1位以下切り捨て 整数第1位まで記載（N）		π：(3.1416) Dw：ホイールシリンダ内径（mm） BEF：ブレーキ効力係数 r：ブレーキ有効半径（mm） R：タイヤ動荷重半径（mm） 小数第1位以下切り捨て（N） 整数第1位まで記載（N）
カットアウト圧力到達時間	小数第2位を四捨五入 整数第1位まで記載（s）	カットアウト圧力到達時間	小数第1位まで測定（s）
原動機回転数	整数第1位まで記載（rpm）	原動機回転数	$100min^{-1}$未満切り捨て 整数第2位以下切り捨て（rpm） $100min^{-1}$単位で記載 整数第3位まで記載（rpm）
電流	小数第2位を四捨五入 小数第1位まで記載（A）	電流	0.5A未満切り捨て 0.5A単位で記載
電圧	小数第2位を四捨五入 小数第1位まで記載（V）	電圧	0.05V未満切り捨て 0.05V単位で記載
制動時間	小数第4位を四捨五入 小数第3位まで記載（s）	制動時間	小数第2位（又は3位）まで測定（s）
tm	小数第4位を四捨五入 小数第3位まで記載（s）	tm	小数第3位（又は4位）を四捨五入（s） 小数第2位（又は3位）まで記載
Zm	（略）	Zm	（略）
ZAL	（略）	ZAL	（略）
kf、kr	（略）	kf、kr	（略）
kM	（略）	kM	（略）
kL	（略）	kL	（略）
kH	（略）	kH	（略）
ZMALS	（略）	ZMALS	（略）
0.75（4kL＋kH）/5	（略）	0.75（4kL＋kH）/5	（略）
ε	（略）	ε	（略）
制動トルク	小数第1位以下切り捨て 整数第1位まで記載（N･m）	制動トルク	小数第1位以下切り捨て（N･m） 整数第1位まで記載（N･m）
制動力	小数第1位以下切り捨て 整数第1位まで記載（N）	制動力	小数第1位以下切り捨て（N） 整数第1位まで記載（N）
ブレーキ圧力	小数第2位以下切り捨て 小数第1位まで記載（MPa）	ブレーキ圧力 （付表7のBAS試験以外が対象）	0.05MPa未満切り捨て 0.05MPa単位で記載
横加速度	小数第2位を四捨五入 小数第1位まで記載（m/s2）	横加速度	小数第2位を四捨五入（m/s^2） 小数第1位まで記載

新		旧	
A（基準操舵角度）	小数第2位を四捨五入 小数第1位まで記載（°）	A（基準操舵角度）	小数第2位を四捨五入（°） 小数第1位まで記載
操舵角度	小数第2位を四捨五入 小数第1位まで記載（°）	操舵角度	小数第2位を四捨五入（°） 小数第1位まで記載
ヨーレート	小数第3位を四捨五入 小数第2位まで記載（°/s）	ヨーレート	小数第3位を四捨五入（°/s） 小数第2位まで記載
ヨーレート比率	小数第2位以下切り捨て 小数第1位まで記載（%）	ヨーレート比率	小数第1位以下切り捨て（%） 整数第1位まで記載（%）
横移動量	小数第3位を四捨五入 小数第2位まで記載（m）	横移動量	小数第3位を四捨五入（m） 小数第2位まで記載
（削除）	（削除）	操作力 （付表7のBAS試験が対象）	小数第1位を四捨五入（N） 整数第1位まで記載（N）
（削除）	（削除）	ブレーキ圧力 （付表7のBAS試験が対象）	小数第2位以下切り捨て（MPa） 小数第1位まで記載（MPa）

付表1

乗用車の制動装置の試験記録及び成績
(Passenger cars with regard to braking Test Data Record Form)

試験期日（略）

改訂番号 (Series No.)		補足改訂番号 (Supplement No.)	

1. 試験自動車

（略）						
制動装置の仕様 (Specification of brake system)						
主制動装置 (Service braking system)	作動系統及び制動車輪 (Control system and braking wheel)					
	制動力制御装置形式 (Type of braking force control system)					
	制動倍力装置形式 (Type of brake booster)					
	制動装置形式 (Type of brake system)	前 (Front)		後 (Rear)		
	ブレーキの胴径又は有効径(mm) (Brake drum diameter or disc effective diameter)	前 (Front)		後 (Rear)		
	ライニング又はパッドの寸法(mm) (Dimensions of lining or pad)	前 (Front)		後 (Rear)		

付表1

乗用車の制動装置の試験記録及び成績（協定規則第13H号）
(Passenger cars with regard to braking Test Data Record Form)

試験期日（略）

（新設）

1. 試験自動車

（略）						
制動装置の仕様 (Specification of brake system)						
主制動装置 (Service braking system)	作動系統及び制動車輪 (Control system and braking wheel)					
	制動力制御装置形式 (Type of braking force control system)					
	制動倍力装置形式 (Type of brake booster)					
	制動装置形式 (Type ofp brake system)	前 (Front)		後 (Rear)		
	ブレーキの胴径又は有効径(mm) (Brake drum diameter or disc effective diameter)	前 (Front)		後 (Rear)		
	ライニング又はパッドの寸法(mm) (Dimensions of lining or pad)	前 (Front)		後 (Rear)		

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>（略）
2. （略）
3. 試験機器※
(Test equipment)※
（略）
※：説明に要する場合等、別紙を用いても良い（Including the case of brief description, it can be allowed using Attachments)
4. （略）
5. （略）
付表 2～付表 5（略）
付表 6
1. （略）
2. 試験機器※
(Test equipment)※
（略）
※：説明に要する場合等、別紙を用いても良い(Including the case of brief descriptions, It can be allowed using Attachments)
3. （略）
4. （略）
付表 7（略）
（削除）
（以下略）

TRIAS 12-R078-02
二輪車等の制動装置試験（協定規則第 78 号）

（以下略）

TRIAS 12-R131-02
衝突被害軽減制動制御装置試験（協定規則第 131 号）

1.～4. （略）
<table><tr><td>試験期日
(Testdate)</td><td></td><td>試験場所
(Test site)</td><td></td><td>試験担当者
(Tested by)</td><td></td></tr><tr><td>改訂番号
(SeriesNo.)</td><td></td><td>補足改訂番号
(Supplement No.)</td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td><td>（略）
2. （略）
3. 試験機器
(Test equipment)
（略）
4. （略）
5. （略）
付表 2～付表 5（略）
付表 6
1. （略）
2. 試験機器
(Test equipment)
（略）
3. （略）
4. （略）
付表 7（略）
付表 8-1～付表 10（略）
（以下略）

TRIAS 12-R078-02
二輪車等の制動装置試験（協定規則第 78 号）
(Vehicles of categories L with regard to braking test)
（以下略）

TRIAS 12-R131-01
衝突被害軽減制動制御装置試験（協定規則第 131 号）
(Advanced Emergency Braking System)
1.～4. （略）
<table><tr><td>試験期日
(Testdate)</td><td></td><td>試験場所
(Test site)</td><td></td><td>試験担当者
(Tested by)</td><td></td></tr></table>（新設）</td></tr>
</table>

新			旧		
1.～5.（略） 6.試験成績			1.～5.（略） 6.試験成績		
6.4.～6.4.2（略）			6.4.～6.4.2（略）		
6.4.2.1	附則3の表ⅠのB列に指定されている値までに、少なくとも1つの警告モードを提供するものとする。 附則3の表Ⅰの行1に言及する車両の場合、当該警告は触覚又は聴覚によるものとする。 附則3の表Ⅰの行2に言及する車両の場合、当該警告は触覚、聴覚又は視覚によるものとする。 At least one warning mode shall be provided no later than specified in Table I, Column B, of Annex 3. In the case of the vehicles referred to in Table I, row 1, of Annex 3, the warning shall be haptic or acoustic. In the case of the vehicles referred to in Table I, row 2, of Annex 3, the warning shall be haptic, acoustic or optical.	適/否 (Pass/fail)	6.4.2.1	緊急制動フェーズの開始前の、附則3の表ⅠのB列に指定されている値までに、少なくとも1つの触覚または聴覚警報モードを提供するものとする。 At least one haptic or acoustic warning mode shall be provided no later than the value specified in Table I Column B of Annex 3, before the start of the emergency braking phase.	適/否 (Pass/fail)
	警報モード(Warning mode)			警報モード(Warning mode)	
	警報タイミング(Warning timing)(秒 Sec)			警報タイミング(Warning timing)(秒 Sec)	
6.4.2.2	附則3の表ⅠのC列に指定されている値までに、少なくとも2つの警報モードを提供するものとする 。 At least two warning modes shall be provided no later than specified in Table I, Column C, of Annex 3.	適/否 (Pass/fail)	6.4.2.2	緊急制動フェーズの開始前の、附則3の表ⅠのC列に指定されている値までに、少なくとも2つの警報モードを提供するものとする 。 At least two warning modes shall be provided no later than the value specified in Table I Column C of Annex 3, before the start of the emergency braking phase.	適/否 (Pass/fail)
	警報モード(Warning mode)			警報モード(Warning mode)	
	警報タイミング(Warning timing)(秒 Sec)			警報タイミング(Warning timing)(秒 Sec)	
6.4.2.3～6.5.2（略）			6.4.2.3～6.5.2（略）		
6.5.2.1	附則3の表ⅠのE列に指定されている値までに、少なくとも1つの触覚又は聴覚警告モードを提供するものとする。 At least one haptic or acoustic warning mode shall be provided no later than specified in Table I Column E of Annex 3.	適/否 (Pass/fail)	6.5.2.1	緊急制動フェーズの開始前の、附則3の表ⅠのE列に指定されている値までに、少なくとも1つの触覚または聴覚警報モードを提供するものとする。 At least one haptic or acoustic warning mode shall be provided no later than the value specified in Table I Column E of Annex 3, before the start of the emergency braking phase.	適/否 (Pass/fail)
	警報モード(Warning mode)			警報モード(Warning mode)	
	警報タイミング(Warning timing)(秒 Sec)			警報タイミング(Warning timing)(秒 Sec)	
6.5.2.2	附則3の表ⅠのF列に指定されている値までに、少なくとも2つの警告モードを提供するものとする。		6.5.2.2	緊急制動フェーズの開始前の、附則3の表ⅠのF列に指定されている値までに、少なくとも2つの警報モードを提供する	

新			旧		
	At least two warning modes shall be provided no later than specified in Table I Column F of Annex 3.	適/否 (Pass/fail)		ものとする 。 At least two warning modes shall be provided no later than the value specified in Table I Column F of Annex 3, before the start of the emergency braking phase.	適/否 (Pass/fail)
	警報モード (Warning mode)			警報モード (Warning mode)	
	警報タイミング (Warning timing) (秒 Sec)			警報タイミング (Warning timing) (秒 Sec)	
6.5.2.3～6.8 (略)			6.5.2.3～6.8 (略)		

(以下略)

新	旧
TRIAS 12-R139-01 ブレーキアシストシステム試験 (協定規則第 139 号) ※別紙による	(新設)
TRIAS 12-R140-01 横滑り防止装置試験 (協定規則第 140 号) ※別紙による	(新設)
TRIAS 12-001-01～17-J100-01 (略)	TRIAS 12-001-01～17-J100-01 (略)
TRIAS 17-J118-01 圧縮水素ガスを燃料とする二輪自動車及び側車付二輪自動車の燃料装置試験 ※別紙による	(新設)
TRIAS 17-R110 (2) -01 (略)	TRIAS 17-R110 (2) -01 (略)
TRIAS 17-R134 (1) -01 圧縮水素ガスを燃料とする自動車の燃料装置試験 (協定規則第 134 号) ※別紙による	(新設)
TRIAS 17-R134 (2) -01 圧縮水素ガスを燃料とする自動車の衝突時等における燃料漏れ防止試験 (協定規則第 134 号) ※別紙による	(新設)
TRIAS 17-R134 (3) -01 圧縮水素ガスを燃料とする自動車の燃料装置試験 (協定規則第 134 号 (取付・強度)) ※別紙による	(新設)
TRIAS 17 (2) -J101-01～17 (2) -J111 (3) -01 (略)	TRIAS 17 (2) -J101-01～17 (2) -J111 (3) -01 (略)

新

TRIAS 17(2)-R010-01

電磁両立性試験（協定規則第 10 号）

（車両および電気／電子式サブアッセンブリ（ESA））

1.　総則

電磁両立性（協定規則第 10 号）の車両及び電気/電子式サブアッセンブリ（以下、「ESA」という。）による試験実施にあたっては、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）に定める「協定規則第 10 号の技術的な要件」の規定及び本規定によるものとする。

2.～3.（略）

付表1

電磁両立性の試験記録及び成績
ELECTROMAGNETIC COMPATIBILITY TEST DATA RECORD FORM
（協定規則第10号（規則6. エミッション試験））【車両、ESA】
1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No.10
(Restricted to paragraphs 6. Emission test)【Vehicle,ESA】

試験期日 (Test date)		試験場所 (Test site)	

試験担当者 (Tested by)

1. 改訂番号 (Series No.)　　補足改定番号 (Supplement No.)

2. 試験自動車 (Test vehicle)

車両で実施の場合 (In case of vehicle test)	車名・型式(類別) ((Make・Type)(Variant))	
	車台番号もしくは通信番号 (Chassis No. or ESA identity No.)	

3. 該当する電気／電子システム (All relevant electrical/electronic system)

	添別書類に提示でも良い。(If system list attached, This list should not be fulfilled)			
	システムもしくは部品の名称 (System name/Parts name)	又は or	ESA構成部品の名称、型式、通信番号 (Parts name/Type/Parts No. of component part of ESA)	ESA認可品か (Yes/No) Approved by ESA?
広帯域電磁放射 (Broadband electromagnetic radiation)				Yes ・ No
				Yes ・ No

（以下、表略）

旧

TRIAS 17(2)-R010-01

電磁両立性試験（協定規則第 10 号）

【車両】（規則 6.「電力網に結合した RESS 充電モード」以外の仕様）

1.　総則

電磁両立性（協定規則第 10 号）の車両による試験実施にあたっては、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）に定める「協定規則第 10 号の技術的な要件」の規定及び本規定によるものとする。

2.～3.（略）

付表1

電磁両立性の試験記録及び成績
ELECTROMAGNETIC COMPATIBILITY TEST DATA RECORD FORM
（協定規則第10号（規則6. エミッション試験））【車両】
1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No.10
(Restricted to paragraphs 6. Emission test)【Vehicle】

試験期日 (Test date)		試験場所 (Test site)	

試験担当者 (Tested by)

1. 改訂番号 (Series No.)

2. 試験自動車 (Test vehicle)

車両で実施の場合 (In case of vehicle test)	車名・型式(類別) ((Make・Type)(Variant))	
	車台番号 (Chassis No.)	

3. 該当する電気／電子システム (All relevant electrical/electronic system)

	添別書類に提示でも良い。(If system list attached, This list should not be fulfilled)	
	システムもしくは部品の名称 (System name/Parts name)	ESA認可品か (Yes/No) Approved by ESA?
広帯域電磁放射 (Broadband electromagnetic radiation)		Yes ・ No
		Yes ・ No

（以下、表略）

新

4. 試験成績
(Test results)

4.1 広帯域電磁波放射(6.2./6.5., 附則4/7)
(Broadband electromagnetic radiation (6.2./6.5., annex4/7))

4.1.1 試験方法及び試験条件
(Test method and test condition)

試験施設 Test facility	屋外 Outdoor	・	屋内 Enclosed	車両(ESA)とアンテナとの距離 Vehicle(ESA) to antenna spacing	10m ・ 3m / 1m / その他(m) / other	検波法 Detection method	準ピーク検波 Quasi-peak detector	・	ピーク検波 Peak detectors

アンテナメーカ及び型式
Ant. Manufacturer and type.
(当別紙、設備一覧を添付の事。(Equipment list should be attached following this sheet)

レシーバメーカ及び型式
Receiver Manufacturer and type.

暗雑音
Background noise.

周波数帯 (Frequency band) (MHz)	水平偏波 (Horizontal) 規制値に対する余裕代(最小) Minimum value between regulation and back ground noise (dB μV/m)	垂直偏波 (Vertical) 規制値に対する余裕代(最小) Minimum value between regulation and back ground noise (dB μV/m)
全帯域(All)		

試験状態 (Condition of EUT)	内燃機関式エンジンの場合 (Internal combustion engine)	エンジン回転数 (Engine speed) rpm	
	ハイブリッド式の場合 (Hybrid propulsion)	車両速度 (Vehicle speed) km/h	ハイブリッド状態 (Hybrid mode) 作動 Yes ・ 非作動 No
	電気モーター式の場合 (Electric propulsion)	車両速度 (Vehicle speed) km/h	
	ESAの場合 (Because of Electric 出力 ALL OFF)	電源電圧(Power supply voltage) V	
		その他の試験状態(other test conditions)	

※ESA試験時はシステム接続図を提出のこと。(System Diagram in the ESA test should be presented)

4.1.1.1 試験成績
(Test result)
○14のスポット周波数にて測定(周波数帯域全体にわたる測定データを提出のこと)
(Measured at a frequency of 14 spot. Measured data for the whole frequency range should be presented)

周波数帯 (Frequency band) (MHz)	水平偏波 (Horizontal) 左(Left) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	垂直偏波 (Vertical) 左(Left) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	測定値最大 (Max value) (dB μV/m)
30-34									
34-45									
45-60									
60-80									
80-100									
100-130									
130-170									
170-225									
225-300									
300-400									
400-525									
525-700									
700-850									
850-1000									

○50kHzステップによる全周波数測定*
(Measured at a frequency by 50kHz)

周波数帯 (Frequency band) (MHz)	規制値に対する余裕代(最小) Minimum value between regulation and measured value) 水平偏波 (Horizontal) 左(Left) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	垂直偏波 (Vertical) 左(Left) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)
全帯域(All)								

※測定結果の詳細データを添付すること。
(Be attached detailed data of the measurement results)

備考
(Remarks)

旧

4. 試験成績
(Test results)

4.1 広帯域電磁波放射(6.2., 附則4)
(Broadband electromagnetic radiation (6.2., annex4))

4.1.1 試験方法及び試験条件
(Test method and test condition)

試験施設 Test facility	屋外 Outdoor	・	屋内 Enclosed	車両とアンテナとの距離 Vehicle to antenna spacing	10m ・ 3m	検波法 Detection method	準ピーク検波 Quasi-peak detector	・	ピーク検波 Peak detectors

アンテナメーカ及び型式
Ant. Manufacturer and type.
(当別紙、設備一覧を添付の事。(Equipment list should be attached following this sheet)

レシーバメーカ及び型式
Receiver Manufacturer and type.

暗雑音
Background noise.

周波数帯 (Frequency band) (MHz)	水平偏波 (Horizontal) 規制値に対する余裕代(最小) Minimum value between regulation and back ground noise (dB μV/m)	垂直偏波 (Vertical) 規制値に対する余裕代(最小) Minimum value between regulation and back ground noise (dB μV/m)
全帯域(All)		

試験車両状態 (State of vehicle)	内燃機関式エンジンの場合 (Internal combustion engine)	エンジン回転数 (Engine speed) rpm	
	ハイブリッド式の場合 (Hybrid propulsion)	車両速度 (Vehicle speed) km/h	ハイブリッド状態 (Hybrid mode) 作動 Yes ・ 非作動 No
	電気モーター式の場合 (Electric propulsion)	車両速度 (Vehicle speed) km/h	

4.1.1.1 試験成績
(Test result)
○14のスポット周波数にて測定(周波数帯域全体にわたる測定データを提出のこと)
(Measured at a frequency of 14 spot. Measured data for the whole frequency range should be presented)

周波数帯 (Frequency band) (MHz)	水平偏波 (Horizontal) 左(Left) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	垂直偏波 (Vertical) 左(Left) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	測定値最大 (Max value) (dB μV/m)
30-34									
34-45									
45-60									
60-80									
80-100									
100-130									
130-170									
170-225									
225-300									
300-400									
400-525									
525-700									
700-850									
850-1000									

○50kHzステップによる全周波数測定*
(Measured at a frequency by 50kHz)

周波数帯 (Frequency band) (MHz)	規制値に対する余裕代(最小) Minimum value between regulation and measured value) 水平偏波 (Horizontal) 左(Left) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	垂直偏波 (Vertical) 左(Left) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency) (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)
全帯域(All)								

※測定結果の詳細データを添付すること。
(Be attached detailed data of the measurement results)

備考
(Remarks)

新

4．2 狭帯域電磁放射(6.3./6.6, 附則5/6)
(Narrowband electromagnetic radiation (6.3./6.5., annex5/6))

4．2．1 試験方法及び試験条件
(Test method and test condition)

試験施設 Test facility	屋外 Outdoor ・ 屋内 Enclosed	車両(ESA)とアンテナとの距離 Vehicle(ESA) to antenna spacing	10m ・ 3m / 1m / その他(m) other	検波法 Detection method	平均検波 Average detector

4．2．1．1 試験成績
(Test result)

試験状態 (Condition of EUT)	車両の場合 (Vehicle)	イグニッションON(Ignition SW on)
		その他の試験状態(other test condition if any)
	ESAの場合 (Electrical Equipment SUB-ASSEMBLIES)	電源電圧(Power supply voltage) V
		その他の試験状態(other test condition)

※ESA試験時はシステム結線図を提出のこと。(System Diagram in the ESA test should be presented)

○初期ステップによる測定※
(Initial step)

信号強度の最大値
(Signal strength) (dB μV)

※測定結果の詳細データを添付すること。
(Be attached detailed data of the measurement results)

○14のスポット周波数にて測定(周波数帯域全体にわたる測定データを提出のこと)
(Measured at a frequency of 14 spot. Measured data for the whole frequency range should be presented)

周波数帯 (Frequency band) (MHz)	水平偏波 (Horizontal) 左(Left) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	垂直偏波 (Vertical) 左(Left) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	測定値最大 (Max value) (dB μV/m)
30-34									
34-45									
45-60									
60-80									
80-100									
100-130									
130-170									
170-225									
225-300									
300-400									
400-525									
525-700									
700-850									
850-1000									

○50kHzステップによる全周波数測定※
(Measured at a frequency by 50kHz)

周波数帯 (Frequency band) (MHz)	規制値に対する余裕代(最小) (Minimum value between regulation and measured value) 水平偏波 (Horizontal) 左(Left) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	垂直偏波 (Vertical) 左(Left) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)
全帯域(All)								

※測定結果の詳細データを添付すること。
(Be attached detailed data of the measurement results)

備考
(Remarks)

旧

4．2 狭帯域電磁放射(6.3., 附則5)
(Narrowband electromagnetic radiation (6.3., annex5))

4．2．1 試験方法及び試験条件
(Test method and test condition)

試験施設 Test facility	屋外 Outdoor ・ 屋内 Enclosed	車両とアンテナとの距離 Vehicle-to-antenna spacing	10m ・ 3m	検波法 Detection method	平均検波 Average detector

4．2．1．1 試験成績
(Test result)

○初期ステップによる測定※
(Initial step)

信号強度の最大値
(Signal strength) (dB μV)

※測定結果の詳細データを添付すること。
(Be attached detailed data of the measurement results)

○14のスポット周波数にて測定(周波数帯域全体にわたる測定データを提出のこと)
(Measured at a frequency of 14 spot. Measured data for the whole frequency range should be presented)

周波数帯 (Frequency band) (MHz)	水平偏波 (Horizontal) 左(Left) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	垂直偏波 (Vertical) 左(Left) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	測定値最大 (Max value) (dB μV/m)
30-34									
34-45									
45-60									
60-80									
80-100									
100-130									
130-170									
170-225									
225-300									
300-400									
400-525									
525-700									
700-850									
850-1000									

○50kHzステップによる全周波数測定※
(Measured at a frequency by 50kHz)

周波数帯 (Frequency band) (MHz)	規制値に対する余裕代(最小) (Minimum value between regulation and measured value) 水平偏波 (Horizontal) 左(Left) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	垂直偏波 (Vertical) 左(Left) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)	右(Right) 周波数 (Frequency (MHz)	測定値 (Value) (dB μV/m)
全帯域(All)								

※測定結果の詳細データを添付すること。
(Be attached detailed data of the measurement results)

備考
(Remarks)

新

付表2

電磁両立性の試験記録及び成績
ELECTROMAGNETIC COMPATIBILITY TEST DATA RECORD FORM
(協定規則第10号(規則6. イミュニティ試験))【車両、ESA】
1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No.10
(Restricted to paragraphs 6. Immunity test)【Vehicle、ESA】

試験期日 (Test date)		試験場所 (Test site)	

試験担当者
(Tested by)

1. 改訂番号
(Series No.)

補足改定番号
(Supplement No.)

2. 試験自動車
(Test vehicle)

車両で実施の場合 (In case of vehicle test)	車名・型式(派生形) (Make-Type(Variant))	
	車台番号(しくは識別番号 (Chassis No. or ESA identity No.)	

3. 該当する電気／電子システム
(All relevant electrical/electronic system)

	別紙があれば記載でもよい。(If system list attached, This list should not be fulfilled) システムもしくは部品の名称 (System name/Parts name)	ESA or	ESA構成部品の名称、型式、識別番号 (Parts name/Type/Parts No. of component part of ESA)	ESA認可品か? (Yes/No) Approved by ESA?
50km/hサイクル試験 ("50km/h cycle" test) 及び ブレーキサイクル試験 ("Brake cycle" test) 及び その他の免疫性関連機能に関するシステム (Another system of Immunity related functions) に該当するシステム。 (System which is applied above test) should be listed)				Yes・No
				Yes・No
				Yes・No

新

4. 試験成績
(Test results)

4.1 イミュニティ試験(6.4., 附属6/9)
Immunity (6.4., annex6/9)

4.1.1 試験方法及び試験条件
Test method and test condition

試験施設 屋外 ・ 屋内
Test facility Outdoor Enclosed

試験温度
Test temperature ℃

電源電圧
Supply voltage V
※試験時エンジンが稼動していない場合またはESAの場合。
(Engine not running in test duration or in case of ESA)

試験方法(Test method)

□車両イミュニティ試験(Immunity of vehicle test)

代替のテスト方法(BCI法)
Alternative test method(BCI) 適用 Yes ・ 非適用 NO

試験時のアンテナの位置
Antenna position for the test 車両前方 (Front side of the vehicle) 車両後方 (Rear side of the vehicle)

車両とアンテナとの距離
Vehicle to antenna spacing 2m ・ その他(m)
(other)

アンテナメーカ及び型式
Ant. Manufacturer and type.
※別紙、設備一覧を添付の事。(Equipment list should be attached following this sheet)

波形発生装置及びRF・パワーアンプのメーカ及び型式
Test wave generator and RF power amp Manufacturer and type.

走行試験時にシャシダイナモを使用
(Use chassis dynamometer for test) 適用 Yes ・ 非適用 NO → 非適用の場合使用した設備
(If chassis dyn is not applied, used equipment)

□ESAイミュニティ試験(Immunity of ESA test)

試験方法 □電波暗室法(Anechoic chamber test) □EMVを法(EEM cell testing) □BCI法(BCI current injection testing)
□ストリップライン法(Stripline testing) □800mmストリップライン法(800mm Stripline testing)

アンテナメーカ及び型式
Ant. Manufacturer and type.
※別紙、設備一覧を添付の事。(Equipment list should be attached following this sheet)

波形発生装置及びRF・パワーアンプのメーカ及び型式
Test wave generator and RF power amp Manufacturer and type.

システム稼動状態
(System Engine)
※システム稼動状態の時でも良い。OK is acceptable to attach to more (Engine)

○電界校正結果

試験周波数 (Test frequency) (MHz)	27 ( )	45 ( )	65 ( )	90 ( )	120 ( )	150 ( )	190 ( )	230 ( )	280 ( )	380 ( )	450 ( )	600 ( )	750 ( )	900 ( )	1300 ( )	1800 ( )
試験法 (Test Method)																
進行波電力 (Forward power) (W)																
発生電界強度 (Field intensity) (V/m)																

※別紙、周波数帯域全体における測定データを提出のこと
(Measured data for the whole frequency range should be presented)

※1. 規格での超入でも構わない場合、ALSE, TEM, BCI, TC, 800
(If it is unacceptable, alternation can be used Free, ALSE, TEM, BCI, TC, 800)

※2. BCI法の場合は入電式を記載すること。
(In case of BCI test the injected current should be written)

4.1.2 50km/hサイクル試験(車両)
("50km/h cycle" test the vehicle)

○:(適) (Pass) ×:(否) (Fail) -:(無) (Not Available)

4.1.2.1 試験成績
(Test result)

試験周波数 (Test frequency) (MHz)		27 ( )	45 ( )	65 ( )	90 ( )	120 ( )	150 ( )	190 ( )	230 ( )	280 ( )	380 ( )	450 ( )	600 ( )	750 ( )	900 ( )	1300 ( )	1800 ( )
車両条件 (Vehicle condition)	車両速度50km/h±20% (クルーズコントロールは作動) (Vehicle speed 50 km/h ±20%)																
	すれ違い用前照灯の点灯 (手動) (Dipped beams ON(manual mod																
	フロントワイパの作動 (Front wiper ON)																
	運転者側の方向指示器の点灯 (Direction indicator on driver's side ON)																
	調整式サスペンション (Adjustable suspension)																
	運転席及びステアリングホイール (Driver's seat and steering whe																
	警報装置OFF (Alarm OFF)																
	ホーンOFF (Horn OFF)																
	エアバッグ作動可能状態 (Ready state air bag)																
	自動ドア閉鎖 (Automatic doors closed)																
	調節式耐久ブレーキレバー (Adjustable endurance brake lever)																

※周波数帯域全体におけるる測定データを提出のこと。
(Measured data for the whole frequency range should be presented)

備考
(Remarks)

旧

4. 試験成績
(Test results)

4.1 車両イミュニティ試験(6.4., 附属6)
(Immunity of vehicle test (6.4., annex6))

4.1.1 試験方法及び試験条件
(Test method and test condition)

試験施設 屋外 ・ 屋内
Test facility Outdoor Enclosed

試験温度
Test temperature ℃

電源電圧
Supply voltage V
※試験時エンジンが稼動していない場合。
If eng is not running in test duration

代替のテスト方法(BCI法)
Alternative test method(BCI) 適用 Yes ・ 非適用 NO

試験時のアンテナの位置
Antenna position for the test 車両前方 (Front side of the vehicle) 車両後方 (Rear side of the vehicle)

車両とアンテナとの距離
Vehicle to antenna spacing 2m ・ その他(m)
(other)

アンテナメーカ及び型式
Ant. Manufacturer and type.
※別紙、設備一覧を添付の事。(Equipment list should be attached following this sheet)

波形発生装置及びRF・パワーアンプのメーカ及び型式
Test wave generator and RF power amp Manufacturer and type.

走行試験時にシャシダイナモを使用
(Use chassis dynamometer for test) 適用 Yes ・ 非適用 NO → 非適用の場合使用した設備
(If chassis dyn is not applied, used equipment)

○電界校正結果

試験周波数 (Test frequency) (MHz)	27 ( )	45 ( )	65 ( )	90 ( )	120 ( )	150 ( )	190 ( )	230 ( )	280 ( )	380 ( )	450 ( )	600 ( )	750 ( )	900 ( )	1300 ( )	1800 ( )
進行波電力 (Forward power) (W)																
発生電界強度 (field intensity) (V/m)																

※別紙、周波数帯域全体における測定データを提出のこと
(Measured data for the whole frequency range should be presented)

4.1.2 50km/hサイクル試験
("50km/h cycle" test)

○:(適) (Pass) ×:(否) (Fail) -:(無) (Not Available)

4.1.2.1 試験成績
(Test result)

試験周波数 (Test frequency) (MHz)		27 ( )	45 ( )	65 ( )	90 ( )	120 ( )	150 ( )	190 ( )	230 ( )	280 ( )	380 ( )	450 ( )	600 ( )	750 ( )	900 ( )	1300 ( )	1800 ( )
車両条件 (Vehicle condition)	車両速度50km/h±20% (クルーズコントロールは作動) (Vehicle speed 50 km/h ±20%)																
	すれ違い用前照灯の点灯 (手動) (Dipped beams ON(manual mod																
	フロントワイパの作動 (Front wiper ON)																
	運転者側の方向指示器の点灯 (Direction indicator on driver's side ON)																
	調整式サスペンション (Adjustable suspension)																
	運転席及びステアリングホイール (Driver's seat and steering whe																
	警報装置OFF (Alarm OFF)																
	ホーンOFF (Horn OFF)																
	エアバッグ作動可能状態 (Ready state air bag)																
	自動ドア閉鎖 (Automatic doors closed)																
	調節式耐久ブレーキレバー (Adjustable endurance brake lever)																

※周波数帯域全体におけるる測定データを提出のこと。
(Measured data for the whole frequency range should be presented)

備考
(Remarks)

新

4.1.3 ブレーキサイクル試験(車両)
("Brake cycle" test for vehicles)

4.1.3.1 試験成績
(Test result)

○:(適) (Pass) ×:(否) (Fail)

試験周波数 (Test frequency) (MHz)		27 ( )	45 ( )	65 ( )	90 ( )	120 ( )	150 ( )	190 ( )	230 ( )	280 ( )	380 ( )	450 ( )	600 ( )	750 ( )	900 ( )	1300 ( )	1800 ( )
車両条件 (Vehicle condition)	制動灯の作動停止 (Stop lights inactivated)																
	機能消失によるブレーキ警告灯点灯 (Brake warning light ON with loss of function)																
	予期しない作動 (Unexpected activation)																

備考
(Remarks)

全周波数帯域全体にわたる測定データを提出のこと。
(Measured data for the whole frequency range should be presented)

4.1.4 その他の免疫性関連機能に関するシステムについて(車両及びESA)
(Another system of Immunity related functions for vehicle and ESA)

4.1.4.1 試験成績
(Test result)

○:(適) (Pass) ×:(否) (Fail)

試験周波数 (Test frequency) (MHz)※		27 ( )	45 ( )	65 ( )	90 ( )	120 ( )	150 ( )	190 ( )	230 ( )	280 ( )	380 ( )	450 ( )	600 ( )	750 ( )	900 ( )	1300 ( )	1800 ( )
試験法 (Test Method) 注1																	
車両条件 (Vehicle condition)																	
ESA条件 (ESA Test condition)																	

全周波数帯域全体にわたる測定データを提出のこと。
(Measured data for the whole frequency range should be presented)

注1 略語でなるべく記載しない(例. ALSE, TEM, BCI, SL, 800)
(It is unfavorable abbreviation as let out.)

備考
(Remarks)

旧

4.1.3 ブレーキサイクル試験
("Brake cycle" test)

4.1.3.1 試験成績
(Test result)

○:(適) (Pass) ×:(否) (Fail)

試験周波数 (Test frequency) (MHz)		27 ( )	45 ( )	65 ( )	90 ( )	120 ( )	150 ( )	190 ( )	230 ( )	280 ( )	380 ( )	450 ( )	600 ( )	750 ( )	900 ( )	1300 ( )	1800 ( )
車両条件 (Vehicle condition)	制動灯の作動停止 (Stop lights inactivated)																
	機能消失によるブレーキ警告灯点灯 (Brake warning light ON with loss of function)																
	予期しない作動 (Unexpected activation)																

備考
(Remarks)

4.1.4 その他の免疫性関連機能に関するシステムについて
(Another system of Immunity related functions)

4.1.4.1 試験成績
(Test result)

○:(適) (Pass) ×:(否) (Fail)

試験周波数 (Test frequency) (MHz)※		27 ( )	45 ( )	65 ( )	90 ( )	120 ( )	150 ( )	190 ( )	230 ( )	280 ( )	380 ( )	450 ( )	600 ( )	750 ( )	900 ( )	1300 ( )	1800 ( )
車両条件 (Vehicle condition)																	

備考
(Remarks)

新	旧
別表3 電磁両立性の試験記録及び成績 ELECTROMAGNETIC COMPATIBILITY TEST DATA RECORD FORM (協定規則第10号(規則6. トランジェント イミュニティ/エミッション試験))【ESA】 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No.10 (Restricted to paragraphs 6. transient disturbances on supply lines.)【ESA】 試験日 (Test date) ／ 試験場所 (Test site) 試験担当者 (Owner but) 1. 改訂番号 (Notes No.) ／ 補足改定番号 (Supplement No) 2. 試験ESA (Type ESA) 車名・型式 (Make-Type) 3. 該当する電気/電子システム (Vehicular electronic system) 必要な情報がESA試験に使用される前に提出されなければならない。この欄は空白のままにしてはならない。 (Required information for ESA testing to be started. This list should not be blank) 部品名称及び型式、部品番号 (Part name/Type/Parts No. of component part of ESA) (この試験は、ESA試験に関する部品) (This parts related to transient disturbances conducted along supply lines.) (この試験は、ESA試験に関する部品) (This parts related to transient conducted disturbances generated by ESA on supply lines.)	

新	旧
4. 試験成績 (Test results) 4.1.1 試験方法及び試験条件 (Test method and test condition) 試験温度 Test temperature ℃ 電源電圧 Supply voltage V 電源の種類 Type of power surce バッテリー Battery ・ 直流安定化電源 DC-stabilized power supply ・ その他(　　) Other 試験方法(Test method) システム故障状態 System Failure (システム故障なしの場合でも良い。It is acceptable to attach System Diagram) 関係図および試験装置のレイアウト写真 (Attach System diagram of test circuit and equipment) (ケーブル、計測器、電源も明示する。Equipment list should be attached following this sheet) 4.1.2. 試験成績 (Test result) 試験回路 (Circuit name) 正常時パルス電圧(ピーク値) (Positive pulse voltage(Peak)) 異常時パルス電圧(ピーク値) (Negative pulse voltage(Peak)) バッテリー電源回路 (Circuit of Batt power supply) V V アナログ電源回路 (Circuit of ACN power supply) V V 他の電源回路 (Circuit of Other power supply) V V 他の電源回路 (Circuit of Other power supply) V V 他の電源回路 (Circuit of Other power supply) V V 他の電源回路 (Circuit of Other power supply) V V ※他の電源回路は回路名を記入のこと。 (Write circuit name at "Other power supply" only) 備考 (Remarks)	

新

4.2.7 インジャンクトイレッテ試験(ゼネ、刺激)
Immunity of EMA to transient disturbances conducted along supply lines (6.9., annex10)

4.2.7.1 試験方法及び試験条件
Test method and test condition

試験温度 Test temperature ___ ℃　電源電圧 Supply voltage ___ V

電源の種類 Type of power source　バッテリー Battery　直流定電圧電源 DC stabilized power supply　その他( ) Other

試験方法(Test method)

システム結線図
System Diagram
システムの結線図の貼付(ない場合は説明を記入)(It is accepted to attach System Diagram)

発電機装置および機器仕様のリストおよび型式
Name plate and type of test equipment and monitor
(必要に応じ、別紙一覧を貼付ける事。(Attachment list should be attached following this sheet))

○試験パルス種類(Test pulse applied)

試験パルス (Test pulse)	1a (V)	1b (V)	2a (Ω)	3a (ms)	3b (μs)	4a (ms)	4b (ms)	5a (ms)	5b (μs)	6a (ms)	6b (ms)	7a (ms)	7b (ms)	8a (ms)	8b (ms)	9a (ms)	9b (ms)
試験パルス1 (Test pulse)																	
試験パルス2a (Test pulse)																	
試験パルス2b (Test pulse)																	
試験パルス3a (Test pulse)																	
試験パルス3b (Test pulse)																	
試験パルス4 (Test pulse)																	

☆試験パルス発生器の検証結果(別紙書D)を添付すること。
Test Pulse generator verification result (Annex. D) shall be attached.

4.2.7. 試験成績
(Test result)

□:適用 (Pass)　△:(否) (Fail)　○:(無) (Not Applicable)

試験の機能 (Test item of EMA)		試験パルス(Test pulse) 1 (Test pulse)	2a (Test pulse)	2b (Test pulse)	3a (Test pulse)	3b (Test pulse)	4 (Test pulse)
イミュニティ関連機能 (Other "immunity related functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	C	B	C	A	A	B _ _ C
	試験結果 Test result						
イミュニティ関連機能 (Other "immunity related functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	C	B	C	A	A	B _ _ C
	試験結果 Test result						
イミュニティ関連機能 (Other "immunity related functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	C	B	C	A	A	B _ _ C
	試験結果 Test result						
イミュニティ関連機能 (Other "immunity related functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	C	B	C	A	A	B _ _ C
	試験結果 Test result						
イミュニティ関連機能 (Other "immunity related functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	C	B	C	A	A	B _ _ C
	試験結果 Test result						
イミュニティ関連機能 (Other "immunity related functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	C	B	C	A	A	B _ _ C
	試験結果 Test result						
イミュニティ関連機能でない機能 (Other "immunity unrelated functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	D	D	D	D	D	D
	試験結果 Test result						
イミュニティ関連機能でない機能 (Other "immunity unrelated functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	D	D	D	D	D	D
	試験結果 Test result						
イミュニティ関連機能でない機能 (Other "immunity unrelated functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	D	D	D	D	D	D
	試験結果 Test result						
イミュニティ関連機能でない機能 (Other "immunity unrelated functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	D	D	D	D	D	D
	試験結果 Test result						
イミュニティ関連機能でない機能 (Other "immunity unrelated functions")	システムの機能状態 Functional status for systems	D	D	D	D	D	D
	試験結果 Test result						

☆機能名を記入のこと。(Write function name)

備考
(Remarks)

(以下略)

旧

(以下略)

新	旧
TRIAS 17(2)-R012-02～17(2)-R100(2)-01（略）	TRIAS 17(2)-R012-02～17(2)-R100(2)-01（略）
TRIAS 17(2)-R136(1)-01 電気二輪自動車等の高電圧からの乗員保護試験（協定規則第136号（車両）） ※別紙による	（新設）
TRIAS 17(2)-R136(2)-01 電気二輪自動車等の高電圧からの乗員保護試験（協定規則第136号（単品）） ※別紙による	（新設）
TRIAS 18-J020R026-01～29-J037-01（略）	TRIAS 18-J020R026-01～29-J037-01（略）
TRIAS 29-R043(1)-02 窓ガラス試験（協定規則第43号（単品）） 1.～2.（略） 表 Attached Table 1.～7.（略） 8.1～8.2.（略） 8.2.1. 40℃及び-20℃の恒温保管を行った合わせガラス及びガラス-プラスチックに係る試験（前面ガラス）Test involving laminated glass and glass-plastic conditioned at a constant temperature of 40℃ and -20℃：(Windscreen) 8.2.1.1～8.2.1.2（略） 8.2.2 23±2℃の恒温保管を行った合わせガラス及びガラス-プラスチックに係る試験、及び強化ガラスに係る試験（前面以外） Test involving laminated glass and glass-plastic conditioned at a constant temperature of 23±2℃ and tests concerned with the toughened glass (Except for windscreen) 8.2.2.1 合わせガラス及びガラス-プラスチック（前面以外） Laminated glass and glass-plastic (Except for windscreen) （以下略） 8.2.2.2 強化ガラス（前面以外） Toughened glass (Except for windscreen) 試験片保管時の温度（℃） Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃ 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃ 試験時の気圧（mbar）	TRIAS 29-R043(1)-01 窓ガラス試験（協定規則第43号（単品）） 1.～2.（略） 表 Attached Table 1.～7.（略） 8.1～8.2.（略） 8.2.1. 40℃及び-20℃の恒温保管を行った合わせガラス及びガラス-プラスチックに係る試験（前面ガラス）Test involving laminated glass and glass-plastic conditioned at a constant temperature of 40℃ and -20℃：(Windshield glass) 8.2.1.1～8.2.1.2（略） 8.2.2 23±2℃の恒温保管を行った合わせガラス及びガラス-プラスチックに係る試験、及び強化ガラスに係る試験及びプラスチックガラス及び-18±2℃の恒温保管を行ったプラスチックガラス Test involving laminated glass and glass-plastic conditioned at a constant temperature of 23±2℃ and tests concerned with the toughened glass and plastic glass and plastic glass conditioned and plastic glass conditioned at a constant temperature of -18±2℃ 8.2.2.1 合わせガラス及びガラス-プラスチック（前面以外） Laminated glass and glass-plastic (Those other than windshield glass) （以下略） 8.2.2.2. 強化ガラス Toughened glass 試験片保管時の温度（℃） Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃ 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃ 試験時の気圧（mbar）

新

Pressure at time of test (mbar)　　mbar～　　mbar
試験時の湿度（%）
Humidity at time of test (%)　　%～　　%

枚数 Number	1	2	3	4	5	6
中心からのずれ（mm） Deviation from center (mm)						
供試体の破壊がないこと No breaking of test specimen						

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1)　5 枚以上
　　5 pieces or more

（削除）

旧

Pressure at time of test (mbar)　　mbar～　　mbar
試験時の湿度（%）
Humidity at time of test (%)　　%～　　%

枚数 Number	1	2	3	4	5	6
中心からのずれ（mm） Deviation from center (mm)						
供試体の破壊があるか？ Is fracture of test specimen present ?						

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1)　5 枚以上
　　5 pieces or more

8.2.2.3. プラスチックガラス
Plastics glass
試験片保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃)　　℃～　　℃
試験片保管時の湿度（%）
Humidity during conditioning of test piece (%)　　%～　　%
試験時の温度（℃）
Temperature at time of test (℃)　　℃～　　℃
試験時の気圧（mbar）
Pressure at time of test (mbar)　　mbar～　　mbar
試験時の湿度（%）
Humidity at time of test (%)　　%～　　%

枚数 Number	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
落下高さ（m） Drop height (m)										
球が供試体を貫通しない。供試体が数個の分離した破片となって破損しない The ball does not penetrate the test piece. The test										

新	旧
（削除）	piece does not break into separate pieces.

piece does not break into separate pieces.										

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1) 8枚以上
8 pieces or more
(2) 7枚以下（ただし、新たに10枚の供試体について改めて試験を実施した結果、8枚以上満足な結果を示した場合に限る。）
7 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 10 new test specimens and more than 8 show satisfactory results)

8.2.2.4 -18±2℃の恒温保管を行ったプラスチックガラス
Test involving plastic glass conditioned at a constant temperature of -18±2℃
試験片保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃
試験時の温度（℃）
Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃
試験時の気圧（mbar）
Pressure at time of test (mbar) mbar～ mbar
試験時の湿度（%）
Humidity at time of test (%) %～ %

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
落下高さ（m） Drop height (m)										
球が供試体を貫通しない。供試体が数個の分離した破片となって破損しない The ball does not penetrate the test piece. The test piece does not break into separate pieces.										

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1) 8枚以上

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>
8.2.3 20℃及び-18℃の恒温保管を行った硬質プラスチックペーン及び軟質プラスチックペーンに係る試験
Test involving Rigid plastic pane and Flexible plastic pane conditioned at a constant temperature of 20℃ and -18℃
8.2.3.1 20±5℃の恒温保管の試験
Test involving test specimen conditioned at a constant temperature of 20±5℃
試験片保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃)　℃～　℃
試験片保管時の湿度（%）
Humidity during conditioning of test piece (%)　%～　%
試験時の温度（℃）
Temperature at time of test (℃)　℃～　℃
試験時の気圧（mbar）
Pressure at time of test (mbar)　mbar～　mbar
試験時の湿度（%）
Humidity at time of test (%)　%～　%
<table>
<tr><th>枚数 Number</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th></tr>
<tr><td>落下高さ（m）
Drop height (m)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>球が供試体を貫通しない。
In case of Flexible plastic, The ball does not penetrate the test piece.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1) 8枚以上
8 pieces or more
</td><td>
8 pieces or more
(2) 7枚以下（ただし、新たに10枚の供試体について改めて試験を実施した結果、8枚以上満足な結果を示した場合に限る。）
7 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 10 new test specimens and more than 8 show satisfactory results)
(新設)
(新設)
</td></tr>
</table>

新	旧
(2) 7枚以下（ただし、新たに10枚の供試体について改めて試験を実施した結果、8枚以上満足な結果を示した場合に限る。） 7 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 10 new test specimens and more than 8 show satisfactory results)	
8.2.3.2 -18±2℃の恒温保管の試験 Test involving plastic glass conditioned at a constant temperature of -18±2℃ 試験片保管時の温度（℃） Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃ 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃ 試験時の気圧（mbar） Pressure at time of test (mbar) mbar～ mbar 試験時の湿度（%） Humidity at time of test (%) %～ %	（新設）

枚数 Number	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
落下高さ（m） Drop height (m)										
球が供試体を貫通しない。 In case of Flexible plastic, The ball does not penetrate the test piece.										

新	旧
適合枚数 Number of test specimens complying with the test (1) 8枚以上 8 pieces or more (2) 7枚以下（ただし、新たに10枚の供試体について改めて試験を実施した結果、8枚以上満足な結果を示した場合に限る。） 7 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 10 new test specimens and more than 8 show satisfactory results)	
8.2.4 -18±2℃の恒温保管を行った、前面の硬質プラスチック、合わせ硬質プラスチックペーンに係る試験	（新設）

新	旧
Test involving Rigid plastic for windscreen, Laminated - rigid plastic pane conditioned at a constant temperature of -18±2℃ 試験片保管時の温度（℃） Temperature during conditioning of test piece (℃)　℃～　℃ 試験片保管時の湿度（%） Humidity during conditioning of test piece (%)　%～　% 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃)　℃～　℃ 試験時の気圧（mbar） Pressure at time of test (mbar)　mbar～　mbar 試験時の湿度（%） Humidity at time of test (%)　%～　%	

枚数 Number	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
落下高さ（m） Drop height (m)										
球が供試体を貫通しない。供試体が数個の分離した破片となって破損しない The ball does not penetrate the test piece. The test piece does not break into separate pieces.										

新	旧
適合枚数 Number of test specimens complying with the test (1)　8枚以上 8 pieces or more 8.2.5　40℃及び-18℃の恒温保管を行った、前面の合せ硬質プラスチックに係る試験 Test involving Laminated - rigid plastic windscreen conditioned at a constant temperature of +40℃ And -18℃ 8.2.5.1 40±2℃の恒温保管時の試験 Test involving test specimen conditioned at a constant temperature of 40±2℃ 試験片保管時の温度（℃） Temperature during conditioning of test piece (℃)　℃～　℃	（新設） （新設）

新	旧
試験片保管時の湿度（%） Humidity during conditioning of test piece (%)　　%～　　% 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃)　　℃～　　℃ 試験時の気圧（mbar） Pressure at time of test (mbar)　　mbar～　　mbar 試験時の湿度（%） Humidity at time of test (%)　　%～　　%	

枚数 Number	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
落下高さ（m） Drop height (m)										
球が供試体を貫通しない。供試体が数個の分離した破片となって破損しない The ball does not penetrate the test piece. The test piece does not break into separate pieces.										

新	旧
適合枚数 Number of test specimens complying with the test （1）　8枚以上 8 pieces or more	
8.2.5.2 -18±2℃の恒温保管時の試験 Test involving at a constant temperature of -18±2℃ 試験片保管時の温度（℃）	（新設）
8.2.5.2 -18±2℃の恒温保管時の試験 Test involving at a constant temperature of -18±2℃ 試験片保管時の温度（℃） Temperature during conditioning of test piece (℃)　　℃～　　℃ 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃　　℃～　　℃ 試験時の気圧（mbar） Pressure at time of test (mbar)　　mbar～　　mbar 試験時の湿度（%） Humidity at time of test (%)　　%～　　%	（新設）

新	旧
枚数 Number 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 落下高さ（m） Drop height（m） 球が供試体を貫通しない。供試体が数個の分離した破片となって破損しない The ball does not penetrate the test piece. The test piece does not break into separate pieces. 適合枚数 Number of test specimens complying with the test （1） 8枚以上 8 pieces or more 8.3（略） 8.4 ヘッドフォーム試験 Head-form test 8.4.1 合わせガラス、表面にプラスチック材が施された合わせガラス及びガラス-プラスチックの場合 Laminated-glass windscreen, Laminated-glass windscreen faced with plastics material and Glass-plastics （以下略） 8.4.2 プラスチックガラスの場合 Rigid plastic pane 供試体のサイズ Size of the test specimen (mm) × mm or Product 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃ 試験時の気圧（mbar） Pressure at time of test (mbar) mbar～ mbar 試験時の湿度（%） Humidity at time of test (%) %～ % 落下高さ（m） Drop height (m) m 枚数 Number 1 2 3 4 5 6	8.3（略） 8.4 ヘッドフォーム試験 Head-form test 8.4.1 供試体が製品の場合（プラスチックガラスを除く） Product used as test specimen (except plastics) （以下略） 8.4.2 プラスチックガラスの場合 Plastics 供試体のサイズ Size of the test specimen (mm) × mm or Product 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃ 試験時の気圧（mbar） Pressure at time of test (mbar) mbar～ mbar 試験時の湿度（%） Humidity at time of test (%) %～ % 落下高さ（m） Drop height (m) m 枚数 Number 1 2 3 4 5 6

新	旧
供試体またはサンプルに貫通しない、または破壊され、完全に分離した複数の大きな破片とならない ・ The test piece or sample is not penetrated nor shall it break into fully separate large pieces.	供試体またはサンプルに貫通しない、または破壊され、完全に分離した複数の大きな破片とならない The test piece or sample is not penetrated nor shall it break into fully separate large pieces.
HIC 値 HIC value	HIC 値 HIC value

適合枚数
Number of test specimens complying with the test

・硬質プラスチックペーンの場合
Rigid plastic pane
(1) 6 枚
6 pieces
(2) 5 枚（ただし、新たに 6 枚の供試体について改めて試験を実施した結果、6 枚とも満足な結果を示した場合に限る。）
5 pieces (limited to cases where a further test was conducted on 6 new test specimens and all 6 show satisfactory results)

・前面の硬質プラスチック、前面の合せ硬質プラスチック及び合わせ前面以外の硬質プラスチックの場合
Rigid plastic windscreen, Laminated - rigid plastic windscreen and Laminated - rigid plastic pane
(1) 6 枚以上
6 pieces or more

8.4.3 多重ガラスユニットの場合
Multiple-glazed units
供試体保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃
試験時の温度（℃）
Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃
試験時の気圧（mbar）
Pressure at time of test (mbar) mbar～ mbar
試験時の湿度（%）
Humidity at time of test (%) %～ %

枚数 Number	1	2	3	4	5	6

適合枚数
Number of test specimens complying with the test

(1) 6 枚
6 pieces
(2) 5 枚以下（ただし、新たに 6 枚の供試体について改めて試験を実施した結果、6 枚とも満足な結果を示した場合に限る。）
5 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 6 new test specimens and all 6 show satisfactory results)

（新設）

新	旧
中心からのずれ（mm） Deviation from center (mm) 衝撃点に最も近いき裂の距離（mm） Distance of crack nearest to impact Point (mm) ガラスと中間膜が接着している（ただし、はく離のある場合、その位置及び幅（mm）） Glass layer and interlayer remain glued together. (However, if separation occurs, position and width (mm)) 中間膜の露出面積（cm^2） Exposed area of interlayer (cm^2) 中間膜の裂目の長さ（mm） Length of crack at the interlayer (mm) 供試体またはサンプルに貫通しない、または破壊され、完全に分離した複数の大きな破片とならない The test piece or sample is not penetrated nor shall it break into fully separate large pieces. 適合枚数 Number of test specimens complying with the test （1） 6 枚（ただし、非対象多重ガラスユニットは、両側でそれぞれ 3 回のテストを行う。） 6 pieces (three tests on one side and three tests on the other side for the asymmetrical multiple-glazed unit) 8.5 耐摩耗性試験 Test of resistance to abrasion 8.5.1 合わせガラス、ガラスープラスチック及び強化ガラス Test involving Laminated glass, Glass-plastic and Toughened glass 試験片保管時の温度（℃） Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃ 試験片保管時の湿度（%） Humidity during conditioning of test piece (%) %～ % 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃ 試験時の気圧（mbar）	8.5 耐摩耗性試験 Test of resistance to abrasion 8.5.1 合わせガラス、ガラスープラスチック及び強化ガラス Test involving laminated glass, glass-plastic and toughened glass 試験片保管時の温度（℃） Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃ 試験片保管時の湿度（%） Humidity during conditioning of test piece (%) %～ % 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃ 試験時の気圧（mbar）

新	旧
Pressure at time of test (mbar) mbar～ mbar 試験時の湿度（%） Humidity at time of test (%) %～ %	Pressure at time of test (mbar) mbar～ mbar 試験時の湿度（%） Humidity at time of test (%) %～ %

新

枚数 Number / ガラス面 Glass face	1	2	3
(1) 前面ガラスとして用いるものの車外面の曇価（%） Haze of vehicle outer face of glass panes used as windscreen (%)			
(2) 前面ガラスとして用いるが、内側の面がプラスチック材のものの車内面の曇価（%） Haze of vehicle inner face of glass panes with plastic material on its inner surface used as windscreen (%)			
(3) 前面以外のガラスとして用いるものの車外面の曇価（%） Haze of vehicle outer face of glass panes used for other than windscreen (%)			
(4) 前面以外のガラスとして用いるが、内側の面がプラスチック材のものの車内面の曇価（%） Haze of vehicle inner face of glass panes with plastic material on its inner used for other than windscreen (%)			

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1) 3枚
3 pieces

8.5.2 硬質プラスチックペーン
Rigid plastic pane and Flexible plastic pane

試験片保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃
試験片保管時の湿度（%）
Humidity during conditioning of test piece (%) %～ %
試験時の温度（℃）
Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃
試験時の気圧（mbar）
Pressure at time of test (mbar) mbar～ mbar

旧

枚数 Number / ガラス面 Glass face	1	2	3
(1) 前面ガラスとして用いるものの車外面の曇価（%） Haze of vehicle outer face of glass panes used as windshield (%)			
(2) 前面ガラスとして用いるが、内側の面がプラスチック材のものの車内面の曇価（%） Haze of vehicle inner face of glass panes with plastic material on its inner surface used as windshield (%)			
(3) 前面以外のガラスとして用いるものの車外面の曇価（%） Haze of vehicle outer face of glass panes used for other than windshield (%)			
(4) 前面以外のガラスとして用いるが、内側の面がプラスチック材のものの車内面の曇価（%） Haze of vehicle inner face of glass panes with plastic material on its inner used for other than windshield (%)			

8.5.2 プラスチックガラス
Plastics glass

試験片保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃
試験片保管時の湿度（%）
Humidity during conditioning of test piece (%) %～ %
試験時の温度（℃）
Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃
試験時の気圧（mbar）
Pressure at time of test (mbar) mbar～ mbar

新

試験時の湿度（%）
Humidity at time of test (%)　　%～　　%

枚数 Number		内側 Inside 1	内側 Inside 2	内側 Inside 3	外側 Outside 1	外側 Outside 2	外側 Outside 3
回転数（cyc.） Cycles (cyc.)		100			500（ｸﾗｽ M）、1000（ｸﾗｽ L）or 500 (class M), 1000 (class L)		
（削除）							
ヘイズ Haze	初期（a） Before abrasion (a)						
	（削除）						
	摩耗試験後（b） After abrasion (b)						
	（削除）						
	b-a（%）						

（略）

8.5.3　前面の硬質プラスチック、前面の合せ硬質プラスチック及び合わせ硬質プラスチックペーン
Rigid plastic windscreen, Laminated - rigid plastic windscreen and Laminated rigid plastic pane
車両外側はテーバー試験またはテーバー試験の代替試験（落砂試験、洗車試験及びワイパー試験のセット）のどちらかを行う
Abrasion on the outer surface of the test sample, either the Taber test or as an equivalent alternative the package of Sand drop test, Car-wash test and Wiper test shall apply.

8.5.3.1 テーバー試験
Taber test
試験片保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃)　　℃～　　℃
試験片保管時の湿度（%）

旧

試験時の湿度（%）
Humidity at time of test (%)　　%～　　%

枚数 Number		内側 Inside 1	内側 Inside 2	内側 Inside 3	外側 Outside 1	外側 Outside 2	外側 Outside 3
回転数（cyc.） Cycles (cyc.)		100			500 or 1000		
光線透過率（%） Light transmittance (%)	初期 Unabraded						
	摩耗試験後 Abraded						
ヘイズ Haze	初期（a） Unabraded (a)						
	初期平均（a） Average of Unabraded (a)						
	摩耗試験後（b） After abrasion (b)						
	磨耗試験後の平均（b） Average of abraded (b)						
	b-a（%）						

（略）

（新設）

（新設）

新	旧
Humidity during conditioning of test piece (%)　　%～　　% 試験時の温度（℃） Temperature at time of test (℃)　　℃～　　℃ 試験時の気圧（mbar） Pressure at time of test (mbar)　　mbar～　　mbar 試験時の湿度（%） Humidity at time of test (%)　　%～　　% 枚数 Number / 内側 Inside / 外側 Outside 1 / 2 / 3 / 1 / 2 / 3 回転数（cyc.） Cycles (cyc.)：100 / 500 (クラス M) or 1000 (L 又は前面) 500 (M) or 1000 (L or WS) ヘイズ Haze：初期（a）Before abrasion (a) 摩耗試験後（b）After abrasion (b) b-a（%） 適合枚数 Number of test specimens complying with the test （1）内側、外側それぞれ 3 枚 3 pieces for inside and outside respectively 8.5.3.2 テーバー試験の代替試験（落砂試験、洗車試験及びワイパー試験） Equivalent alternative of Sand drop test, Car-wash test and Wiper laboratory test ① 落砂試験 Sand drop test 試験片保管時の温度（℃） Temperature during conditioning of test piece (℃)　　℃～　　℃ 試験片保管時の湿度（%） Humidity during conditioning of test piece (%)　　%～　　% 枚数 Number / 1 / 2 / 3 ヘイズ Haze：初期（a）Before abrasion (a) 摩耗試験後（b）	（新設）

新	旧

	After abrasion (b)			
	b-a (%)			

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1) 3枚
3 pieces

② 洗車試験
Car-wash test
試験片保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃
試験片保管時の湿度（%）
Humidity during conditioning of test piece (%) %～ %
試験時の温度（℃）
Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃

	枚数 Number	1	2	3
ヘイズ Haze	初期平均値（a） The average haze before test (a)			
	摩耗試験後平均値（b） The average haze after test (b)			
	b-a (%)			

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1) 3枚
3 pieces

③ ワイパー試験
Wiper laboratory test
試験片保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃
試験片保管時の湿度（%）
Humidity during conditioning of test piece (%) %～ %
試験時の温度（℃）
Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>
試験時の気圧（mbar）
Pressure at time of test (mbar)　　mbar～　　mbar
試験時の湿度（%）
Humidity at time of test (%)　　%～　　%
ワイパーブレードのタイプ（CRまたは特殊）
Type of wiper blade (CR) / (Specific)
注．特殊タイプの場合は幾何学的特性と化学薬品特性をテストレポートに記録するものとする。
N.B. Geometric and chemical characteristics of specific type shall be recorded in the test reprot:

<table>
<tr><th colspan="2">枚数 Number</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th></tr>
<tr><td rowspan="3">ヘイズ
Haze</td><td>初期平均値（a）
The average haze of 9 points before test (a)</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>摩耗試験後平均値（b）
The average haze of 9 points after test (b)</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>b-a（%）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
適合枚数
Number of test specimens complying with the test
（1）　3枚
3 pieces
8.6 ～8.7（略）
8.8 耐湿性試験
Resistance-to-humidity test
8.8.1 合わせガラス、ガラスープラスチック及び強化ガラス
Test involving laminated glass, glass-plastic and toughened glass
試験片保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃)　　℃～　　℃
試験片保管時の湿度（%）
Humidity during conditioning of test piece (%)　　%～　　%
（削除）
</td><td>
8.6 ～8.7（略）
8.8 耐湿性試験
Resistance-to-humidity test
8.8.1 合わせガラス、ガラスープラスチック及び強化ガラス
Test involving laminated glass, glass-plastic and toughened glass
試験片保管時の温度（℃）
Temperature during conditioning of test piece (℃)　　℃～　　℃
試験片保管時の湿度（%）
Humidity during conditioning of test piece (%)　　%～　　%
高湿度環境暴露後の状態
</td></tr>
</table>

新

（以下略）

8.8.2 プラスチックガラス

Plastic glazing

試験片保管時の温度（℃）

Temperature during conditioning of test piece（℃）　℃～　℃

試験片保管時の湿度（%）

Humidity during conditioning of test piece（%）　%～　%

（削除）

（以下略）

8.9 ～8.11（略）

8.12 耐化学薬品性試験（ガラス-プラスチック及びプラスチックガラス）

Test of resistance to chemicals (Glass-plastics and Plastic glazing)

8.12.1 浸漬試験

Immersion test

試験片保管時の温度（℃）

Temperature during conditioning of test piece（℃）　℃～　℃

試験片保管時の湿度（%）

Humidity during conditioning of test piece（%）　%～　%

試験時の温度（℃）

Temperature at time of test（℃）　℃～　℃

試験時の湿度（%）

Humidity at time of test（%）　%～　%

①薬品の種類　：研磨剤入りではない石鹸溶液

Kind of chemicals : Non-abrasive soap solution

	枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency				

（削除）

旧

Result of high humidity environment exposure

（以下略）

8.8.2 プラスチックガラス

Plastic glazing

試験片保管時の温度（℃）

Temperature during conditioning of test piece（℃）　℃～　℃

試験片保管時の湿度（%）

Humidity during conditioning of test piece（%）　%～　%

高湿度環境暴露後の状態

Result of high humidity environment exposure

（以下略）

8.9 ～8.11（略）

8.12 耐化学薬品性試験

Test of resistance to chemicals

8.12.1 浸漬試験

Immersion test

試験片保管時の温度（℃）

Temperature during conditioning of test piece（℃）　℃～　℃

試験片保管時の湿度（%）

Humidity during conditioning of test piece（%）　%～　%

試験時の温度（℃）

Temperature at time of test（℃）　℃～　℃

試験時の湿度（%）

Humidity at time of test（%）　%～　%

①薬品の種類　：研磨剤入りではない石鹸溶液

Kind of chemicals : Non abrasive soap solution

	枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency				

適合枚数

Number of test specimens complying with the test

（1）　4枚

4 pieces

（2）　3枚以下（ただし、新たに4枚の供試体について改めて試験を実施した結果、4枚とも満足な結果を示した場合に限る。）

3 pieces or less (limited to cases where a further test was

新

②薬品の種類　　：窓洗浄溶剤
Kind of chemicals ：Window-cleaning-solution

	枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency				

（削除）

③薬品の種類　　：不稀釈変性アルコール
Kind of chemicals：Undiluted denatured alcohol

	枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency				

（削除）

④薬品の種類　　：ガソリンまたは同等の基準ガソリン
Kind of chemicals：Petrol or equivalent reference petrol

旧

conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)

②薬品の種類　　：窓洗浄溶剤
Kind of chemicals ：Window cleaning solution

	枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency				

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1)　4 枚
4 pieces or more
(2)　3 枚以下（ただし、新たに 4 枚の供試体について改めて試験を実施した結果、4 枚とも満足な結果を示した場合に限る。）
3 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)

③薬品の種類　　：不稀釈変性アルコール
Kind of chemicals：Undiluted alcohol

	枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency				

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1)　4 枚
4 pieces or more
(2)　3 枚以下（ただし、新たに 4 枚の供試体について改めて試験を実施した結果、4 枚とも満足な結果を示した場合に限る。）
3 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)

④薬品の種類　　：ガソリンまたは同等の基準ガソリン
Kind of chemicals：Petrol or equivalent reference petrol

新

枚数 Number		1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency				

（削除）

注.使用するガソリンの組成は、テストレポートに記録するものとする。
N.B. The composition of the petrol used shall be recorded in the test report

⑤薬品の種類　　：灯油
Kind of chemicals ：Reference kerosene

枚数 Number		1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency				

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
・ガラス-プラスチック及び表面にプラスチック材が施された安全ガラスの場合
Glass-plastics and Safety glazing faced with plastics material
(1) 3枚以上
3 pieces or more
・硬質プラスチックペーン及び軟質プラスチックペーンの場合
Rigid plastic pane and Flexible plastic pane
(1) 4枚全て
All 4 pieces
(2) 3枚（ただし、新たに4枚の供試体について改めて試験を実施した結果、4枚とも満足な結果を示した場合に限る。）

旧

枚数 Number		1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency				

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1) 4枚
4 pieces or more
(2) 3枚以下（ただし、新たに4枚の供試体について改めて試験を実施した結果、4枚とも満足な結果を示した場合に限る。）
3 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)

注.使用するガソリンの組成は、テストレポートに記録するものとする。
N.B. The composition of the petrol used shall be recorded in the test report

⑤薬品の種類　　：灯油
Kind of chemicals ：Kerosene

枚数 Number		1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency				

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1) 4枚
4 pieces or more
(2) 3枚以下（ただし、新たに4枚の供試体について改めて試験を実施した結果、4枚とも満足な結果を示した場合に限る。）
3 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)

新

3 pieces (limited to cases where a further test was conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)

・前面の硬質プラスチック、前面の合せ硬質プラスチック及び合わせ硬質プラスチックペーンの場合

Rigid plastic windscreen, Laminated - rigid plastic windscreen and Laminated - rigid plastic pane

(1) 3枚以上

3 pieces or more

ただし、4枚中1枚にはコーティング面へ碁盤目状の切り込み（8.17.1）を入れてから浸漬試験を実施すること（合わせ硬質プラスチックペーンはクラスLのみ）

One of four samples shall be cross-cut according to 8.17.1 before immersion test. (Only class L of Laminated - rigid plastic pane shall be cross-cut.)

8.12.2 荷重下での試験（軟質プラスチック以外のプラスチックガラス）

The test under load (Plastic glazing except for Flexible plastic pane)

試験片保管時の温度（℃）

Temperature during conditioning of test piece (℃)　℃～　℃

試験片保管時の湿度（%）

Humidity during conditioning of test piece (%)　%～　%

試験時の温度（℃）

Temperature at time of test (℃)　℃～　℃

試験時の湿度（%）

Humidity at time of test (%)　%～　%

①薬品の種類　：研磨剤入りではない石鹸溶液

Kind of chemicals : Non-abrasive soap solution

		枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと softening, adhesion, crack or thing without the loss of clear transparency	内側 Inside				
		外側 Outside				

（削除）

旧

8.12.2 荷重下での試験

The test under load

試験片保管時の温度（℃）

Temperature during conditioning of test piece (℃)　℃～　℃

試験片保管時の湿度（%）

Humidity during conditioning of test piece (%)　%～　%

試験時の温度（℃）

Temperature at time of test (℃)　℃～　℃

試験時の湿度（%）

Humidity at time of test (%)　%～　%

①薬品の種類　：研磨剤入りではない石鹸溶液

Kind of chemicals : Non abrasive soap solution

		枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと softening, adhesion, crack or thing without the loss of clear transparency	内側 Inside				
		外側 Outside				

適合枚数

Number of test specimens complying with the test

(1) 4枚

4 pieces or more

(2) 3枚以下（ただし、新たに4枚の供試体について改めて試験を実施した

新	旧
②薬品の種類　　：窓洗浄溶剤 Kind of chemicals ：Window-cleaning-solution （削除）	結果、4枚とも満足な結果を示した場合に限る。） 3 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results) ②薬品の種類　　：窓洗浄溶剤 Kind of chemicals ：Window cleaning solution 適合枚数 Number of test specimens complying with the test （1）　4 枚 4 pieces or more （2）　3 枚以下（ただし、新たに 4 枚の供試体について改めて試験を実施した結果、4 枚とも満足な結果を示した場合に限る。） 3 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)
③薬品の種類　　：不稀釈変性アルコール Kind of chemicals：Undiluted denatured alcohol （削除）	③薬品の種類　　：不稀釈変性アルコール Kind of chemicals：Undiluted alcohol 適合枚数 Number of test specimens complying with the test （1）　4 枚 4 pieces or more （2）　3 枚以下（ただし、新たに 4 枚の供試体について改めて試験を実施した結果、4 枚とも満足な結果を示した場合に限る。） 3 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted

新

枚数 Number			1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency	内側 Inside				
		外側 Outside				

枚数 Number			1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency	内側 Inside				
		外側 Outside				

旧

枚数 Number			1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency	内側 Inside				
		外側 Outside				

枚数 Number			1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening , adhesion , crack or thing without the loss of clear transparency	内側 Inside				
		外側 Outside				

新

④薬品の種類　　：ガソリンまたは同等の基準ガソリン
Kind of chemicals : Petrol or equivalent reference petrol

		枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening, adhesion, crack or thing without the loss of clear transparency	内側 Inside				
		外側 Outside				

注. 使用するガソリンの組成は、テストレポートに記録するものとする。
N. B. The composition of the petrol used shall be recorded in the test report

（削除）

⑤薬品の種類　　：灯油
Kind of chemicals : Reference kerosene

		枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening, adhesion, crack or thing without the loss of clear transparency	内側 Inside				
		外側 Outside				

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
・硬質プラスチックペーン及び軟質プラスチックペーンの場合
Rigid plastic pane and Flexible plastic pane
(1) 4枚全て

旧

on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)

④薬品の種類　　：ガソリンまたは同等の基準ガソリン
Kind of chemicals : Petrol or equivalent reference petrol

		枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening, adhesion, crack or thing without the loss of clear transparency	内側 Inside				
		外側 Outside				

注. 使用するガソリンの組成は、テストレポートに記録するものとする。
N. B. The composition of the petrol used shall be recorded in the test report

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1) 4枚
4 pieces or more
(2) 3枚以下（ただし、新たに4枚の供試体について改めて試験を実施した結果、4枚とも満足な結果を示した場合に限る。）
3 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)

⑤薬品の種類　　：灯油
Kind of chemicals : Kerosene

		枚数 Number	1	2	3	4
外観 Appearance	軟化、粘着、ひび割れ又は明確な透明度の損失がないこと Softening, adhesion, crack or thing without the loss of clear transparency	内側 Inside				
		外側 Outside				

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1) 4枚
4 pieces or more
(2) 3枚以下（ただし、新たに4枚の供試体について改めて試験を実施した

新

All 4 pieces

(2) 3枚（ただし、新たに4枚の供試体について改めて試験を実施した結果、4枚とも満足な結果を示した場合に限る。）

3 pieces (limited to cases where a further test was conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)

・前面の硬質プラスチック、前面の合せ硬質プラスチック及び合わせ硬質プラスチックペーンの場合

Rigid plastic windscreen, Laminated - rigid plastic windscreen and Laminated - rigid plastic pane

(1) 3枚

3 pieces

8.13 耐燃挙動（耐火性）試験

Burning behavior (fire resistance) test

試験片保管時の湿度（%）

Humidity during conditioning of test piece (%) %～ %

試験片保管時の温度（℃）

Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃

試験時の温度（℃）

Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃

枚数 Number / 測定値 Measured value	1	2	3	4	5
試験片の長さ（mm） The length of a specimen (mm)					
試験片の幅（mm） Width of a specimen (mm)					
試験片の厚み（mm） Thickness of a specimen (mm)					
燃焼距離：s（mm） Burnt distance : s (mm)					
燃焼時間：t（秒） Burning time : t (sec)					
燃焼速度 B：s/t×60（mm/min） Burning speed B : s/t×60 (mm/min)					

適合枚数

Number of test specimens complying with the test

・ガラス-プラスチック及び表面にプラスチック材が施された安全ガラスの場合

Glass-plastics and Safety glazing faced with plastics material

旧

結果、4枚とも満足な結果を示した場合に限る。）

3 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 4 new test specimens and all 4 show satisfactory results)

8.13 耐燃挙動（耐火性）試験

Burning behaviour (fire resistance) test

試験片保管時の湿度（%）

Humidity during conditioning of test piece (%) %～ %

試験片保管時の温度（℃）

Temperature during conditioning of test piece (℃) ℃～ ℃

試験時の温度（℃）

Temperature at time of test (℃) ℃～ ℃

枚数 Number / 測定値 Measured value	1	2	3	4	5
試験片の長さ（mm） The length of a specimen (mm)					
試験片の幅（mm） Width of a specimen (mm)					
試験片の厚み（mm） Thickness of a specimen (mm)					
燃焼距離（mm） Burnt the distance (mm)					
燃焼時間（s） Burning time (s)					
燃焼速度（mm/min） Burning speed (mm/min)					

適合枚数

Number of test specimens complying with the test

(1) 5枚以上

5 pieces or more

新

(1)　5枚とも燃焼速度Bが90 mm/分以下
Burning speed B of 5 pieces shall be less than 90 mm/min

・硬質プラスチックペーン及び軟質プラスチックペーンの場合
Rigid plastic pane and Flexible plastic pane

(1)　5枚とも燃焼速度Bが110 mm/分以下
Burning speed B of 5 pieces less than 110 mm/min

(2)　4枚（ただし、新たに5枚の供試体について改めて試験を実施した結果、5枚とも満足な結果を示した場合に限る。）
4 pieces (limited to cases where a further test was conducted on 5 new test specimens and all 5 show satisfactory results)

・前面の硬質プラスチックガラス、前面の合わせ硬質プラスチック及び合わせプラスチックペーンの場合
Rigid plastic windscreen, Laminated - rigid plastic windscreen and Laminated - rigid plastic pane

(1)　5枚全ての燃焼速度Bが110 mm/分以下
Burning speed B of all 5 pieces shall be less than 110 mm/min

8.14 耐候性シミュレーション試験（略）

8.15　耐温度変化試験（ガラス-プラスチック、表面にプラスチック材が施された安全ガラス及び前面の合わせ硬質プラスチック）
Resistance-to-temperature-changes test (Glass - plastics, safety glazing faced with plastics material and Laminated - rigid plastic windscreen)

低温保管時の温度（℃）
Temperature during low-temperature conditioning (℃)　℃～　℃
常温保管時の温度又は保管時の試験片の温度（℃）
Temperature during normal-temperature conditioning or temperature of test piece during conditioning (℃)　℃～　℃
高温保管時の温度（℃）
Temperature during high-temperature conditioning (℃)　℃～　℃

試験後の状態 Conditions after test ＼ 枚数 Number		1	2
外観 Appearance	ひび割れ・曇り・剥離もしくはその他著しい劣化が見られないこと The test specimen exhibits no cracks, opacity, separation or other conspicuous deterioration.		

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1)　2枚
2 pieces

8.16　弾力性テスト及び折り曲げ試験

旧

(2)　4枚以下（ただし、新たに5枚の供試体について改めて試験を実施した結果、5枚とも満足な結果を示した場合に限る。）
4 pieces or less (limited to cases where a further test was conducted on 5 new test specimens and all 5 show satisfactory results)

8.14 耐候性シミュレーション試験（略）

8.15　耐温度変化試験

Resistance to temperature changes test

低温保管時の温度（℃）
Temperature during low-temperature conditioning (℃)　℃～　℃
常温保管時の温度又は保管時の試験片の温度（℃）
Temperature during normal-temperature conditioning or temperature of test piece during conditioning (℃)　℃～　℃
高温保管時の温度（℃）
Temperature during high-temperature conditioning (℃)　℃～　℃

試験後の状態 Conditions after test ＼ 枚数 Number		1	2
外観 Appearance	ひび割れ・曇り・剥離もしくはその他著しい劣化が見られないこと The test specimen exhibits no cracks, opacity, separation or other conspicuous deterioration.		

適合枚数
Number of test specimens complying with the test
(1)　2枚
2 pieces

8.16　弾力性テストおよび折り曲げ試験

新

Flexibility test and fold test

試験時の温度（℃）

Temperature at time of test（℃）　℃～　℃

試験時の湿度（%）

Humidity at time of test（%）　%～　%

枚数 Number		1
弾力性テスト Flexibility test 垂直偏差（mm） Vertical deviation (mm)	内側を上にして測定 硬質プラスチック≦50mm Measured in the top inside Rigid plastics≦50mm	
	外側を上にして測定 硬質プラスチック≦50mm Measured in the top outside Rigid plastics≦50m	
180°折り曲げ試験（垂直偏差＞50mm の場合に実施） 180 deg. fold test (conducted if the vertical deviation exceeds 50 mm)	折り曲げ点に破砕状の損傷がない The material shall not show any fracture-like damages at the point of buckling	

カテゴリー　硬質プラスチック　・　軟質プラスチック

Categories　Rigid plastics　・　Flexible plastics

8.17 碁盤目テスト

Cross-cut test

サンプルは耐候性シミュレーションテスト実施後のサンプルの 3 枚の内、1 枚について実施する。

The cross-cut test shall be carried out on one of the test pieces from paragraph 8.14 Resistance to simulated weathering test

枚数 Number		1
碁盤目面積中の剥出面積 (%) Exposed area of the grid area (%)	外側 Outside	
	内側 Inside	

グレード

Cut value Grade　Gt0 ・ Gt1 ・ Gt2 ・ Gt3 ・ Gt4 ・ Gt5

旧

Flexibility test and fold test

試験時の温度（℃）

Temperature at time of test（℃）　℃～　℃

試験時の湿度（%）

Humidity at time of test（%）　%～　%

枚数 Number		1
垂直偏差（mm） Vertical deviation (mm)	内側を上にして測定 硬質プラスチック≦50mm Measured in the top inside Rigid plastics≦50mm	
	外側を上にして測定 硬質プラスチック≦50mm Measured in the top outside Rigid plastics≦50m	
180°折り曲げ試験（垂直偏差＞50mm の場合に実施） 180 deg. fold test (conducted if the vertical deviation exceeds 50 mm)	折り曲げ点に破砕状の損傷がない The material shall not show any fracture-like damages at the point of buckling	

カテゴリー　硬質プラスチック　・　軟質プラスチック

Categories　Rigid plastics　・　Flexible plastics

8.17 碁盤目テスト

Cross cut test

枚数 Number		1
碁盤目面積中の剥出面積 Exposed area of the grid area	外側 Outside	
	内側 Inside	

グレード

Cut value Grade　Gt0 ・ Gt1 ・ Gt2 ・ Gt3 ・ Gt4 ・ Gt5

新

（以下略）

TRIAS 29-R043(2)-01～30-J040-01（略）

TRIAS 30-R041-02

二輪自動車の騒音試験（協定規則第41号）

1.（略）
2. 測定値及び計算値の末尾処理
測定値及び計算値の末尾処理は、別表により行うものとする。
なお、測定ならびに計算が、別表による末尾処理よりも高い精度である場合にあっては、より高い精度による末尾処理としてもよいものとする。
3. 試験記録及び成績（略）
別表
騒音の測定値の取扱い
試験自動車（略）

試験における測定記録

項　目	取 扱 い
（削除）	
車速	小数第2位を四捨五入、小数第1位まで(km/h)
エンジン回転数	小数第1位を四捨五入、整数第1位まで(min-1)
原動機アイドリング回転数	整数第1位まで記載（min-1)
加速度	小数第3位を四捨五入、小数第2位まで(m/s²)
k，kp	小数第3位を四捨五入、小数第2位まで
PMR	小数第2位を四捨五入、小数第1位まで
log（PMR)	小数第5位を四捨五入、小数第4位まで
騒音値	小数第2位を四捨五入、小数第1位まで(dB) 尚、停止中のモーターサイクルの騒音テストの結果値においては、小数第1位を四捨五入、整数第1位まで

付表1

騒音に係るモーターサイクル認可に関する統一規定の試験成績

試験期日（略）
1.～3.（略）
4. 試験成績
仕様確認

6.1（略）
附則4（略）

旧

（以下略）

TRIAS 29-R043(2)-01～30-J040-01（略）

TRIAS 30-R041-02

二輪自動車の騒音試験（協定規則第41号）

Regulation No.41 Uniform provisions concerning the approval of motor cycles with regard to noise Test Data Record Form

1.（略）
2. 測定値及び計算値の末尾処理
測定値及び計算値の末尾処理は、別表により行うものとする。
3. 試験記録及び成績（略）
別表
騒音の測定値の取扱い
試験自動車（略）

試験における測定記録

項　目	取 扱 い
予備加速長さ	
車速	小数第2位を四捨五入、小数第1位まで(km/h)
エンジン回転数	小数第1位を四捨五入、整数第1位まで(min-1)
原動機アイドリング回転数	整数第1位まで記載（min-1)
加速度	小数第3位を四捨五入、小数第2位まで(m/s²)
k，kp	小数第3位を四捨五入、小数第2位まで
PMR	小数第2位を四捨五入、小数第1位まで
log（PMR)	小数第5位を四捨五入、小数第4位まで
騒音値	小数第2位を四捨五入、小数第1位まで(dB) 尚、停止中のモーターサイクルの騒音テストの結果値においては、小数第1位を四捨五入、整数第1位まで

付表1

騒音に係るモーターサイクル認可に関する統一規定の試験成績

試験期日（略）
1.～3.（略）
4. 試験成績
仕様確認

6.1（略）
附則4（略）

新

附則5　繊維製材料を含む排気または消音システム

1.1.（略）
～
1.3.（略）

1.4. 排気ガスが繊維性材料と直接接触せず、かつ、繊維性材料が圧力変動の影響を受けない。
Exhaust gases are not in contact with fibrous materials and fibrous materials are not under the influence of pressure variations.

（以下略）

TRIAS 30-R051-01～31-J041(3)-01（略）

TRIAS 31-J041(4)-01
ディーゼル重量車排出ガス試験（WHDC モード）
1.～4.（略）
別表　測定値及び計算値の末尾処理（略）
◎PM 測定記録等（付表 15 関係）

項目	末尾処理
（略）	
PM 捕集フィルタ（浮力補正前）:試験前	整数位まで記載（μg）
：試験後	整数位まで記載（μg）
PM 捕集フィルタ（浮力補正後）：試験前	小数第 1 位を四捨五入し、整数位まで記載（μg）
：試験後	小数第 1 位を四捨五入し、整数位まで記載（μg）
バックグラウンド PM 捕集フィルタ（浮力補正前）：試験前	整数位まで記載（μg）
：試験後	整数位まで記載（μg）
バックグラウンド PM 捕集フィルタ（浮力補正後）：試験前	小数第 1 位を四捨五入し、整数位まで記載（μg）
：試験後	小数第 1 位を四捨五入し、整数位まで記載（μg）
標準フィルタの質量（浮力補正後）：試験前	小数第 1 位を四捨五入し、整数位まで記載（μg）
：試験後	小数第 1 位を四捨五入し、整数位まで記載（μg）

旧

附則5　繊維製材料を含む排気または消音システム

1.1.（略）
～
1.3.（略）

（新設）

（以下略）

TRIAS 30-R051-01～31-J041(3)-01（略）

TRIAS 31-J041(4)-01
ディーゼル重量車排出ガス試験（WHDC モード）
1.～4.（略）
別表　測定値及び計算値の末尾処理（略）
◎PM 測定記録等（付表 15 関係）

項目	末尾処理
（略）	
PM 捕集フィルタ（浮力補正前）:試験前	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）
：試験後	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）
PM 捕集フィルタ（浮力補正後）：試験前	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）
：試験後	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）
バックグラウンド PM 捕集フィルタ（浮力補正前）：試験前	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）
：試験後	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）
バックグラウンド PM 捕集フィルタ（浮力補正後）：試験前	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）
：試験後	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）
標準フィルタの質量（浮力補正後）：試験前	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）
：試験後	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）

新

質量変化	整数位まで記載（μg）

（以下略）

TRIAS 31-J042(1)-02（略）

TRIAS 31-J042(2)-03

軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード）

1.　総則

軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード）の実施にあたっては、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）別添「軽・中量車排出ガスの測定方法　Ⅰ　JC08 モード法」の規定及び本規定によるものとする。

2.～6.（略）

別紙（略）

別表 1-1

測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	惰行走行時間	小数第 4 位又は小数第 3 位を切り捨て（s） 小数第 4 位を切り捨て、小数第 3 位まで記載又は 小数第 3 位を切り捨て、小数第 2 位まで記載（s）
デ試	⊿tji：調和平均時間	末尾処理は行わない（s） 小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載（s）
デ試	⊿tj：平均惰行時間	末尾処理は行わない（s） 小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載（s）
デ試	σj：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第 4 位を四捨五入し、小数第 3 位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第 4 位を四捨五入し、小数第 3 位まで記載
（略）		

測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	Vjm：測定車速	小数第 2 位を四捨五入（km/h） 小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（km/h）
デ	Cjm：走行トルク	小数第 2 位を四捨五入（N･m）

旧

質量変化	小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（μg）

（以下略）

TRIAS 31-J042(1)-02（略）

TRIAS 31-J042(2)-02

軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード）

1.　総則

軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード）の実施にあたっては、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）別添「軽・中量車排出ガスの測定方法」の規定及び本規定によるものとする。

2.～6.（略）

別紙（略）

別表 1-1

測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	惰行時間	計測値（小数第 2 位又は小数第 1 位）（s） 小数第 2 位又は小数第 1 位まで記載（s）
デ試	t：平均惰行時間	末尾処理は行わない（s） 小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載（s）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	V：測定車速	小数第 2 位を四捨五入（km/h） 小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（km/h）
デ	T：走行トルク	小数第 2 位を四捨五入（N･m）

新

試		小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記載（N･m）
デ試	$\bar{C}j$：目標トルク	小数第1位を四捨五入（N･m） 小数第1位を四捨五入し、整数値まで記載（N･m）
デ試	s：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第4位を四捨五入し、小数第3位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで記載
（略）		

別表2～3（略）

付表1-1 Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）（略）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements			n=							
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
惰行走行時間 Coast-down time s	1	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back (⊿tjb)								
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								
	2	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming								

旧

試		小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記載（N･m）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

別表2～3（略）

付表1-1 Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）（略）

指定速度 Designated speed km/h	惰行時間 Coast-down time s				平均惰行時間 Mean coasting time s	走行抵抗 Running resistance N	目標走行抵抗 Target running resistance N	備考 Remarks
90	往路 Trip away							
	復路 Trip coming back							
80	往路 Trip away							
	復路 Trip coming back							
70	往路 Trip away							
	復路 Trip coming back							

新											旧								
			back (⊿tjb)								60	往　路 Trip away							
			調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji									復　路 Trip coming back							
		3	往路 Trip away (⊿tja)								50	往　路 Trip away							
			復路 Trip coming back (⊿tjb)									復　路 Trip coming back							
			調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								40	往　路 Trip away							
												復　路 Trip coming back							
		・・・									30	往　路 Trip away							
			往路 Trip away (⊿tja)									復　路 Trip coming back							
			復路 Trip coming back (⊿tjb)								20	往　路 Trip away							
		n	調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji									復　路 Trip coming back							
平均惰行時間 Mean			⊿tj								回帰式 Regression Formula F_0=				+		V_2		

新

coasting time s									
標準偏差 Standard deviation	σj								
統計的精度 Statistical precision	pj								
走行抵抗 Running resistance N	F								
目標走行抵抗 Target running resistance N	F_0								

回帰式 Regression Formula F_0= + V_2

付表 1-2 Attached Table 1-2
負荷設定記録（ホイールトルク法）Load Setting Record Form （Wheel Torque Method）
（略）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements			n=							
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
測定車速 Measurement speed km/h	1	往路 Trip away								
		復路 Trip								

旧

付表 1-2 Attached Table 1-2
負荷設定記録（ホイールトルク法）Load Setting Record Form （Wheel Torque Method）
（略）

指定速度 Designated speed km/h	走行方向 Running direction	測定車速 Measurement speed km/h	走行トルク Running torque N·m	目標トルク Target torque N·m	備　考 Remarks
90	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
80	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
70	往路 Trip				

新											旧					
		coming back										away				
												復路 Trip coming back				
	2	往路 Trip away									60	往路 Trip away				
		復路 Trip coming back										復路 Trip coming back				
	3	往路 Trip away									50	往路 Trip away				
		復路 Trip coming back										復路 Trip coming back				
	・・・										40	往路 Trip away				
	n	往路 Trip away										復路 Trip coming back				
		復路 Trip coming back									30	往路 Trip away				
走行トルク Running torque N・m	1	往路 Trip away										復路 Trip coming back				
		復路 Trip coming back									20	往路 Trip away				
	2	往路 Trip away										復路 Trip coming back				
		復路 Trip coming back									回帰式 Regression Formula F_0=		+		V^2	

新

	3	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	・・・									
	n	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
平均トルク Average torque N・m	$\bar{C}j$									
標準偏差 Standard deviation	s									
統計的精度 Statistical precision	pj									
目標トルク Target torque N・m	T_0									

回帰式 Regression Formula T_0= +

（以下略）

TRIAS 31-J042(3)-03

軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード（ポスト新長期対応））

1. 総則

軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード）の実施にあたっては、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）別添「軽・中量車排出ガスの測定方法 I JC08 モード法」の規定及び本規定によるものとする。

旧

（以下略）

TRIAS 31-J042(3)-02

軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード（ポスト新長期対応））

1. 総則

軽・中量車排出ガス試験（JC08H+JC08C モード）の実施にあたっては、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）別添「軽・中量車排出ガスの測定方法」の規定及び本規定によるものとする。

新

2.～6.（略）

別紙（略）

別表 1-1 測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	惰行走行時間	小数第 4 位又は小数第 3 位を切り捨て（s） 小数第 4 位を切り捨て、小数第 3 位まで記載又は 小数第 3 位を切り捨て、小数第 2 位まで記載（s）
デ試	⊿tji：調和平均時間	末尾処理は行わない（s） 小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載（s）
デ試	⊿tj：平均惰行時間	末尾処理は行わない（s） 小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載（s）
デ試	σj：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第 4 位を四捨五入し、小数第 3 位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第 4 位を四捨五入し、小数第 3 位まで記載
（略）		

測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	Vjm：測定車速	小数第 2 位を四捨五入（km/h） 小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（km/h）
デ試	Cjm：走行トルク	小数第 2 位を四捨五入（N･m） 小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（N･m）
デ試	$\bar{C}$j：目標トルク	小数第 1 位を四捨五入（N･m） 小数第 1 位を四捨五入し、整数値まで記載（N･m）
デ試	s：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第 4 位を四捨五入し、小数第 3 位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載
（略）		

（略）

別表 2～別表 3（略）

付表 1-1 Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

測定値ペア数	n=

旧

2.～6.（略）

別紙（略）

別表 1-1 測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	惰行時間	計測値（小数第 2 位又は小数第 1 位）（s） 小数第 2 位又は小数第 1 位まで記載（s）
デ試	t：平均惰行時間	末尾処理は行わない（s） 小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載（s）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	V：測定車速	小数第 2 位を四捨五入（km/h） 小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（km/h）
デ試	T：走行トルク	小数第 2 位を四捨五入（N･m） 小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで記載（N･m）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

（略）

別表 2～別表 3（略）

付表 1-1 Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

指定速度	惰行時間	平均惰行	走行抵抗	目標走行抵	備

新

Number of pairs of measurements										
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
惰行走行時間 Coast-down time s	1	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back (⊿tjb)								
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								
	2	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back (⊿tjb)								
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								
	3	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back								

旧

Designated speed km/h	Coast-down time s				時間 Mean coasting time s	Running resistance N	抗 Target running resistance N	考 Remarks
90	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							
80	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							
70	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							
60	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							
50	往 路 Trip away							
	復 路 Trip							

新											旧								
		(⊿tjb)										coming back							
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji									40	往　路 Trip away							
	・・・											復　路 Trip coming back							
	n	往路 Trip away (⊿tja)									30	往　路 Trip away							
		復路 Trip coming back (⊿tjb)										復　路 Trip coming back							
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji									20	往　路 Trip away							
平均惰行時間 Mean coasting time s	⊿tj											復　路 Trip coming back							
標準偏差 Standard deviation	σj										回帰式 Regression Formula F_0= + V_2								
統計的精度 Statistical precision	pj																		
走行抵抗 Running resistance N	F																		
目標走行抵抗 Target	F_0																		

新

running resistance N									

回帰式 Regression Formula F_0= + V_2

付表 1-2 Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）Load Setting Record Form (Wheel Torque Method)

測定値ペア数 Number of pairs of measurements			n=							
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
測定車速 Measurement speed km/h	1	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	2	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	3	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	・・・									

旧

付表 1-2 Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）Load Setting Record Form (Wheel Torque Method)

指定速度 Designated speed km/h	走行方向 Running direction	測定車速 Measurement speed km/h	走行トルク Running torque N·m	目標トルク Target torque N·m	備　考 Remarks
90	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
80	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
70	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
60	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
50	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
40	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
30	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				

新											旧					
	n	往路 Trip away									20	往路 Trip away				
		復路 Trip coming back										復路 Trip coming back				
走行トルク Running torque N・m	1	往路 Trip away									回帰式 Regression Formula $F_0=$ + V^2					
		復路 Trip coming back														
	2	往路 Trip away														
		復路 Trip coming back														
	3	往路 Trip away														
		復路 Trip coming back														
	・・・															
	n	往路 Trip away														
		復路 Trip coming back														
平均トルク Average	$\bar{C}j$															

新	旧
torque N・m 標準偏差 Standard deviation s 統計的精度 Statistical precision pj 目標トルク Target torque N・m T_0 回帰式 Regression Formula T_0= + （以下略）	（以下略）
TRIAS 31-J042(4)-01 軽・中量車排出ガス試験（WLTC モード） ※別紙による	（新設）
TRIAS 31-J043(1)-01～31-J048(1)-01（略）	TRIAS 31-J043(1)-01～31-J048(1)-01（略）
TRIAS 31-J048(2)-02 車載式故障診断装置試験（ガソリン自動車（J-OBDⅡ）） 1.～7.3（略） 7.4 ①～③（略） 7.4 ④「排出ガス測定モード・測定モード」欄には、排出ガス測定を実施した試験モードにより、「JC08C モード法及び 10・15 モード法」、「JC08C モード法及び JC08H モード法」又は「WLTC モード」と記入する。 7.5 （略） 7.6 手動変速機を備えた自動車の場合にあっては、閾値診断の排出ガス測定及び故障検知の走行において使用した標準変速位置を付表 2-2 の備考欄に記入する。 ただし、WLTC モード法並びに道路運送車両の保安基準の細目を定める告示の一部を改正する告示（平成 18 年国土交通省告示第 1268 号）による平成 18 年改正前の細目を定める告示（以下「平成 18 年改正前の細目告示」という。）別添 42 別紙 6-1 に規定する 10・15 モード法においては記入を要しないものとする。 7.8 WLTC モードで試験を実施する場合は測定した全データを提出すること。様式は問わない。 別表 1-1 測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係） ◎試験路における走行抵抗測定記録	TRIAS 31-J048(2)-01 車載式故障診断装置試験（ガソリン自動車（J-OBDⅡ）） 1.～7.3（略） 7.4 ①～③（略） 7.4 ④「排出ガス測定モード・測定モード」欄には、排出ガス測定を実施した試験モードにより、「JC08C モード法及び 10・15 モード法」又は「JC08C モード法及び JC08H モード法」と記入する。 7.5 （略） 7.6 手動変速機を備えた自動車の場合にあっては、閾値診断の排出ガス測定及び故障検知の走行において使用した標準変速位置を付表 2-2 の備考欄に記入する。 ただし、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示の一部を改正する告示（平成 18 年国土交通省告示第 1268 号）による平成 18 年改正前の細目を定める告示（以下「平成 18 年改正前の細目告示」という。）別添 42 別紙 6-1 に規定する 10・15 モード法においては記入を要しないものとする。 （新設） 別表 1-1 測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係） ◎試験路における走行抵抗測定記録

新

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	惰行走行時間	小数第４位又は小数第３位を切り捨て（s） 小数第４位を切り捨て、小数第３位まで記載又は 小数第３位を切り捨て、小数第２位まで記載（s）
デ試	⊿tji：調和平均時間	末尾処理は行わない（s） 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載（s）
デ試	⊿tj：平均惰行時間	末尾処理は行わない（s） 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載（s）
デ試	σj：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載
（略）		

測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	Vjm：測定車速	小数第２位を四捨五入（km/h） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（km/h）
デ試	Cjm：走行トルク	小数第２位を四捨五入（N･m） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（N･m）
デ試	$\overline{C}$j：目標トルク	小数第１位を四捨五入（N･m） 小数第１位を四捨五入し、整数値まで記載（N･m）
デ試	s：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載
（略）		

別表２～別表３（略）

付表 1-1Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements		n=							
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements									
指定速度	Vj	90	80	70	60	50	40	30	20

旧

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	惰行時間	計測値（小数第２位又は小数第１位）（s） 小数第２位又は小数第１位まで記載（s）
デ試	t：平均惰行時間	末尾処理は行わない（s） 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載（s）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	V：測定車速	小数第２位を四捨五入（km/h） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（km/h）
デ試	T：走行トルク	小数第２位を四捨五入（N･m） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（N･m）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

別表２～別表３（略）

付表 1-1Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

指定速度 Designated speed km/h	惰行時間 Coast-down time s	平均惰行時間 Mean coasting time s	走行抵抗 Running resistance N	目標走行抵抗 Target running resistance N	備考 Remarks

新											旧								
Desingated speed km/h											90	往　路 Trip away							
惰行走行時間 Coast-down time s	1	往路 Trip away (⊿tja)										復　路 Trip coming back							
		復路 Trip coming back (⊿tjb)									80	往　路 Trip away							
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji										復　路 Trip coming back							
	2	往路 Trip away (⊿tja)									70	往　路 Trip away							
		復路 Trip coming back (⊿tjb)										復　路 Trip coming back							
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji									60	往　路 Trip away							
	3	往路 Trip away (⊿tja)										復　路 Trip coming back							
		復路 Trip coming back (⊿tjb)									50	往　路 Trip away							
		調和平均時間 Arithmetic average time										復　路 Trip coming back							
											40	往　路 Trip away							

新

		⊿tji								
	・・・									
	n	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back (⊿tjb)								
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								
平均惰行時間 Mean coasting time s	⊿tj									
標準偏差 Standard deviation	σj									
統計的精度 Statistical precision	pj									
走行抵抗 Running resistance N	F									
目標走行抵抗 Target running resistance N	F_0									

回帰式 Regression Formula F_0= + V_2

付表 1-2Attached Table 1-2

旧

	復 路 Trip coming back							
30	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							
20	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							

回帰式 Regression Formula F_0= + V_2

新

負荷設定記録（ホイールトルク法）Load Setting Record Form （Wheel Torque Method）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements										n=
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
測定車速 Measurement speed km/h	1	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	2	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	3	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	・・・									
	n	往路 Trip away								
		復路 Trip								

旧

付表 1-2Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）Load Setting Record Form （Wheel Torque Method）

指定速度 Designated speed km/h	走行方向 Running direction	測定車速 Measurement speed km/h	走行トルク Running torque N·m	目標トルク Target torque N·m	備　考 Remarks
90	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
80	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
70	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
60	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
50	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
40	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
30	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
20	往路 Trip away				
	復路 Trip				

新											旧
		coming back									coming back
走行トルク Running torque N・m	1	往路 Trip away									回帰式 Regression Formula F_0= + V^2
		復路 Trip coming back									
	2	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
	3	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
	・・・										
	n	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
平均トルク Average torque N・m	$\bar{C}j$										
標準偏差 Standard deviation	s										

新

統計的精度 Statistical precision	pj								
目標トルク Target torque N・m	T_0								

回帰式　Regression Formula　T_0=　　+

（以下略）

TRIAS 31-J048(3)-01～31-J049(1)-01（略）

TRIAS 31-J049(2)-02

燃料蒸発ガス試験（JC08モード）

1.～4.（略）

別表1-1 測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	惰行走行時間	小数第4位又は小数第3位を切り捨て（s） 小数第4位を切り捨て、小数第3位まで記載又は 小数第3位を切り捨て、小数第2位まで記載（s）
デ試	⊿tji：調和平均時間	末尾処理は行わない（s） 小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで記載（s）
デ試	⊿tj：平均惰行時間	末尾処理は行わない（s） 小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで記載（s）
デ試	σj：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第4位を四捨五入し、小数第3位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第4位を四捨五入し、小数第3位まで記載
（略）		

測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	Vjm：測定車速	小数第2位を四捨五入（km/h） 小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記載（km/h）
デ	Cjm：走行トルク	小数第2位を四捨五入（N·m）

旧

（以下略）

TRIAS 31-J048(3)-01～31-J049(1)-01（略）

TRIAS 31-J049(2)-01

燃料蒸発ガス試験（JC08モード）

1.～4.（略）

別表1-1 測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	惰行時間	計測値（小数第2位又は小数第1位）（s） 小数第2位又は小数第1位まで記載（s）
デ試	t：平均惰行時間	末尾処理は行わない（s） 小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで記載（s）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

測定値及び計算値の末尾処理（負荷設定記録（惰行法）関係）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	V：測定車速	小数第2位を四捨五入（km/h） 小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記載（km/h）
デ	T：走行トルク	小数第2位を四捨五入（N·m）

新

試		小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（N･m）
デ試	$\bar{C}j$：目標トルク	小数第１位を四捨五入（N･m） 小数第１位を四捨五入し、整数値まで記載（N･m）
デ試	s：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載
（略）		

別表２～別表３（略）

付表 1-1Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements			n=							
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
惰行走行時間 Coast-down time s	1	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back (⊿tjb)								
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								
	2	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back								

旧

試		小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（N･m）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

別表２～別表３（略）

付表 1-1Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form (Coast-Down Method) 指定速度 Designated speed km/h	惰行時間 Coast-down time s				平均惰行時間 Mean coasting time s	走行抵抗 Running resistance N	目標走行抵抗 Target running resistance N	備考 Remarks
90	往路 Trip away							
	復路 Trip coming back							
80	往路 Trip away							
	復路 Trip coming back							
70	往路 Trip away							
	復路							

新											旧								
			(⊿tjb)									Trip coming back							
			調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji									往　路 Trip away							
		3	往路 Trip away (⊿tja)								60	復　路 Trip coming back							
			復路 Trip coming back (⊿tjb)									往　路 Trip away							
			調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								50	復　路 Trip coming back							
		・・・										往　路 Trip away							
		n	往路 Trip away (⊿tja)								40	復　路 Trip coming back							
			復路 Trip coming back (⊿tjb)									往　路 Trip away							
			調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								30	復　路 Trip coming back							
平均惰行時間 Mean coasting time s		⊿tj										往　路 Trip away							
											20	復　路 Trip coming back							
標準偏差		σj																	

新

Standard deviation									
統計的精度 Statistical precision	pj								
走行抵抗 Running resistance N	F								
目標走行抵抗 Target running resistance N	F_0								

回帰式 Regression Formula F_0= + V_2

付表 1-2Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）Load Setting Record Form (Wheel Torque Method)

測定値ペア数 Number of pairs of measurements			n=							
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
測定車速 Measurement speed km/h	1	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	2	往路 Trip away								

旧

回帰式 Regression Formula F_0= + V_2

付表 1-2Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）Load Setting Record Form (Wheel Torque Method)

指定速度 Designated speed km/h	走行方向 Running direction	測定車速 Measurement speed km/h	走行トルク Running torque N·m	目標トルク Target torque N·m	備考 Remarks
90	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
80	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
70	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				

新											旧					
		復路 Trip coming back									60	往路 Trip away				
												復路 Trip coming back				
	3	往路 Trip away									50	往路 Trip away				
		復路 Trip coming back										復路 Trip coming back				
	・・・										40	往路 Trip away				
	n	往路 Trip away										復路 Trip coming back				
		復路 Trip coming back									30	往路 Trip away				
走行トルク Running torque N・m	1	往路 Trip away										復路 Trip coming back				
		復路 Trip coming back									20	往路 Trip away				
	2	往路 Trip away										復路 Trip coming back				
		復路 Trip coming back									回帰式 Regression Formula F_0=		+		V^2	
	3	往路 Trip away														
		復路 Trip														

新											旧
		coming back									
	・・・										
	n	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
平均トルク Average torque N・m	$\bar{C}j$										
標準偏差 Standard deviation	s										
統計的精度 Statistical precision	pj										
目標トルク Target torque N・m	T_0										

回帰式　Regression Formula　T_0＝　　＋

（以下略）

TRIAS 31-J103-01～32-J052R048-04（略）

TRIAS 32-J053-02

二輪自動車等の灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置試験

1.～2.（略）

付表 Attached Table

二輪自動車等の灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置の試験記録及び成績

Installation of Lamps, Reflex Reflectors and Direction Indicator Lamps for Motor Cycles Test Data Record Form

試験期日（略）～◎試験自動車（略）

◎試験成績

（以下略）

TRIAS 31-J103-01～32-J052R048-04（略）

TRIAS 32-J053-01

二輪自動車等の灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置試験

1.～2.（略）

付表 Attached Table

二輪自動車等の灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置の試験記録及び成績

Installation of Lamps, Reflex Reflectors and Direction Indicator Lamps for Motor Cycles Test Data Record Form

試験期日（略）～◎試験自動車（略）

◎試験成績

新

○一般規定（略）

○個別規定 Individual

項番号 Operation No.	項目 Item	装備 Equipped	取付位置及び個数 Installation Position and number of lights	視認角 visibility	方向 Direction	電気結線 Electrical connections	点灯操作状態表示装置又は点灯作動状態表示装置 Tell-Tail		備考 Remarks
5.1. ～ 5.3.（略）									
5.4.	車幅灯 Front position lamps	有・無 Y/N	適・否 Pass・Fail	適・否 Pass・Fail	—	適・否 Pass・Fail	—	適・否 Pass・Fail	
5.5. ～ 5.8.（略）									
5.9.	尾灯 Rear position lamps		適・否 Pass・Fail	適・否 Pass・Fail	—	適・否 Pass・Fail	—	適・否 Pass・Fail	
5.10. ～ 5.14.（略）									
5.15.	制動灯 Stop lamps		適・否 Pass・Fail	適・否 Pass・Fail	—	適・否 Pass・Fail	—	—	
5.16. ～ 5.17.（略）									
5.18.	方向指示器 Direction indicator lamps		適・否 Pass・Fail	適・否 Pass・Fail	—	適・否 Pass・Fail	有・無 Y/N	適・否 Pass・Fail	
5.19. ～ 5.20.（略）	補助方向指示器 Sub direction indicator	有・無 Y/N	適・否 Pass・Fail	—	—	適・否 Pass・Fail	—	—	

旧

○一般規定（略）

○個別規定 Individual

項番号 Operation No.	項目 Item	装備 Equipped	取付位置及び個数 Installation Position and number of lights	視認角 visibility	方向 Direction	電気結線 Electrical connections	点灯操作状態表示装置又は点灯作動状態表示装置 Tell-Tail		備考 Remarks
5.1. ～ 5.3.（略）									
5.4.	車幅灯 Front position lamps	有・無 Y/N	適・否 Pass・Fail	—	—	適・否 Pass・Fail	—	適・否 Pass・Fail	
5.5. ～ 5.8.（略）									
5.9.	尾灯 Rear position lamps		適・否 Pass・Fail	—	—	適・否 Pass・Fail	—	適・否 Pass・Fail	
5.10. ～ 5.14.（略）									
5.15.	制動灯 Stop lamps		適・否 Pass・Fail	—	—	適・否 Pass・Fail	—	—	
5.16. ～ 5.17.（略）									
5.18.	方向指示器 Direction indicator lamps		適・否 Pass・Fail	—	—	適・否 Pass・Fail	有・無 Y/N	適・否 Pass・Fail	
5.19. ～ 5.20.（略）	補助方向指示器 Sub direction indicator	有・無 Y/N	適・否 Pass・Fail	—	—	適・否 Pass・Fail	—	—	

新	旧
lamps （以下略）	lamps （以下略）
TRIAS 32-J055R045-01～32-J056R045-01（略）	TRIAS 32-J055R045-01～32-J056R045-01（略）
TRIAS 32-R050-02 二輪自動車等の灯火器試験（協定規則第 50 号） 1.～4.（略） 付表 Attached Table ◎試験自動車（略）～◎試験機器（略） ◎一般仕様(6.) (1)（略）～(2)（略） (3) 連鎖式点灯により光源の点滅を生じさせる場合、以下の条件が満たされること。(6.8.) In the case flashing of light sources is generated by sequential activation, the following conditions shall be met (6.8.) (a) 各光源は、その点灯後、ON サイクルの終了まで点灯し続ける。 Each light source, after its activation, shall remain lit until the end of the ON cycle. (b) 光源の一連の点灯は、見かけの表面の内側から外側端部に向かって均一的かつ漸進的に生じる。 The sequence of activation of the light sources shall proceed in a uniform progressive manner from inboard towards the outboard edge of the apparent surface. (c) 垂直方向における反復交互変化のない（例：波のない）1 つの連続した直線。 It shall be one continuous line with no repeating alternation in the vertical direction (e.g. no waves). (d) 変動は、ON サイクル開始後 200 ms 以内に終了する。 The variation shall finish no more than 200 ms after the beginning of the ON cycle. (e) 長方形の基準軸の方向への正射影については、方向指示器の見かけの表面の外接は、その長い方の辺を H 面に平行にするものとし、垂直辺に対する水平辺の割合は 1.7 以上とする。 For the orthogonal projection in the direction of the axis of reference of a rectangle, circumscribing the apparent surface of the direction indicator shall have its longer sides parallel to the H-plane, the ratio of the horizontal to the vertical sides shall not be less than 1.7. 左　適・否　右　適・否 Left　Pass　Fail　Right　Pass　Fail	TRIAS 32-R050-01 二輪自動車等の灯火器試験（協定規則第 50 号） 1.～4.（略） 付表 Attached Table ◎試験自動車（略）～◎試験機器（略） ◎一般仕様(6.) (1)（略）～(2)（略） （新設）

新

（以下略）

TRIAS 32-R098-02

前照灯試験（協定規則第 98 号）

1.～4.（略）

付表 Attached Table

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

協定規則第 98 号（規則 5.、規則 6.、規則 7. 及び規則 8.）1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 98 (Restricted to paragraphs 5., 6., 7. and 8.)

試験期日（略）～◎試験条件（略）

○直線照明及び屈曲照明の配光特性、○赤外線用追加光源点灯時の配光特性、○屈曲照明用追加光源の失陥時の配光特性

測定領域 Measuring Area	左 Left	右 Right	左 Left		右 Right		単位 Unit
			左方向 Left side	右方向 Right side	左方向 Left side	右方向 Right side	
			角度 Angle °	角度 Angle °	角度 Angle °	角度 Angle °	
すれ違い用 Passing beam							
（略）							
最大照度（右） I max (R)							
最大照度（左） I max (L)							
走行用 Driving beam							
最大照度 I max							
HV（略）～ HV-左右 2.25m（略）							

○色度特性（略）

○光度の立ち上がり特性

○可動リフレクターを備えた前照灯の光度要件 Brightness requirement for movable

旧

（以下略）

TRIAS 32-R098-01

前照灯試験（協定規則第 98 号）

1.～4.（略）

付表 Attached Table

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

協定規則第 98 号（規則 5.、規則 6.、規則 7. 及び規則 8.）1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 98 (Restricted to paragraphs 5., 6., 7. and 8.)

試験期日（略）～◎試験条件（略）

○直線照明及び屈曲照明の配光特性、○赤外線用追加光源点灯時の配光特性、○屈曲照明用追加光源の失陥時の配光特性

測定領域 Measuring Area	左 Left	右 Right	左 Left		右 Right		単位 Unit
			左方向 Left side	右方向 Right side	左方向 Left side	右方向 Right side	
			角度 Angle °	角度 Angle °	角度 Angle °	角度 Angle °	
すれ違い用 Passing beam							
（略）							
最大照度（右） E max (R)							
最大照度（左） E max (L)							
走行用 Driving beam							
最大照度 E max							
HV（略）～ HV-左右 2.25m（略）							

○色度特性（略）

○光度の立ち上がり特性

○可動リフレクターを備えた前照灯の光度要件 Brightness requirement for movable

新

reflector
すれ違い用（略）
走行用 Driving beam

測定領域 Measuring Area	垂直角(上) Vertical angle (UP) 角度(Angle)：＋ °		垂直角(下) Vertical angle (DOWN) 角度(Angle)：－ °		単位 Unit
	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	
最大照度 I max					lx・cd
HV					lx・cd

○バイキセノン機構及びスイブル機構を有する前照灯の要件
Requirement for Bi-Xenon mechanism and swiveling mechanism for bending lighting system
○5万回作動耐久要件（略）
○故障時の配光特性 Photometric characteristics in the event of failure

測定領域 Measuring Area	左 Left	右 Right	左 Left 左方向 Left side 角度 Angle °	左 Left 右方向 Right side 角度 Angle °	右 Right 左方向 Left side 角度 Angle °	右 Right 右方向 Right side 角度 Angle °	単位 Unit
すれ違い用 Passing beam							
（略）							lx・cd
C-D							lx・cd
（略）							lx・cd
走行用 Driving beam							
25V							lx・cd

○非認可放電灯光源を使用する場合の要件（略）～○紫外線放射試験（略）
別紙 1Attachment 1

旧

reflector
すれ違い用（略）
走行用 Driving beam

測定領域 Measuring Area	垂直角(上) Vertical angle (UP) 角度(Angle)：＋ °		垂直角(下) Vertical angle (DOWN) 角度(Angle)：－ °		単位 Unit
	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	
最大照度 E max					lx・cd
HV					lx・cd

○バイキセノン機構及びスイブル機構を有する前照灯の要件
Requirement for Bi-Xenon mechanism and swiveling mechanism for bending lighting system
○5万回作動耐久要件（略）
○故障時の配光特性 Photometric characteristics in the event of failure

測定領域 Measuring Area	左 Left	右 Right	左 Left 左方向 Left side 角度 Angle °	左 Left 右方向 Right side 角度 Angle °	右 Right 左方向 Left side 角度 Angle °	右 Right 右方向 Right side 角度 Angle °	単位 Unit
すれ違い用 Passing beam							
（略）							lx・cd
区域Ⅱ Segment Ⅱ							lx・cd
（略）							lx・cd
走行用 Driving beam							
25V							lx・cd

○非認可放電灯光源を使用する場合の要件（略）～○紫外線放射試験（略）
別紙 1Attachment 1

新

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form
点灯中の前照灯の光度性能の安定性に関する試験 Tests For Stability of Photometric Performance of Headlamps in Operation
協定規則第 98 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 98

（略）

○光度試験
Photometric test

単位（Unit）:cd

測定箇所 Measuring Area	試験前 Before test		試験後 After test		差（%） Difference（%）	
	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right
すれ違い用 Passing beam						
50L						
B50R						
25R						
走行用 Driving beam						
最大光度 I max						

○熱の影響によるカットオフの垂直位置の変化に関する試験
Changes in vertical position of the cut-off line under the influence of heat:
サンプル 1Sample1（略）
※上記測定で、上向き 1mrad を超え、1.5mrad 以下、又は下向き 2mrad を超え 3mrad 以下の場合
If the Upward value above is more than 1.0 mrad but not more than 1.5 mrad or the Downward value above is more than 2.0 mrad but not more than 3.0 mrad

サンプル 2Sample2　　単位（Unit）: mrad

点灯時間等 Lighting time, etc.	測定用スクリーン上の位置 Position on measuring screen	
	左 Left	右 Right
r3		
r60		
$\triangle r_1 = \lvert r3-r60 \rvert$		

旧

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form
点灯中の前照灯の光度性能の安定性に関する試験 Tests For Stability of Photometric Performance of Headlamps in Operation
協定規則第 98 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 98

（略）

○光度試験
Photometric test

単位（Unit）:lx·cd

測定箇所 Measuring Area	試験前 Before test		試験後 After test		差（%） Difference（%）	
	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right
すれ違い用 Passing beam						
50L						
B50R						
HV						
走行用 Driving beam						
最大照度 E max						

○熱の影響によるカットオフの垂直位置の変化に関する試験
Changes in vertical position of the cut-off line under the influence of heat:
サンプル 1Sample1（略）
※上記測定で、1mrad を超え、1.5mrad 以下の場合

If the value above is more than 1mrad but does not exceed 1.5mrad

サンプル 2Sample2　　単位（Unit）: mrad

点灯時間等 Lighting time, etc.	測定用スクリーン上の位置 Position on measuring screen	
	左 Left	右 Right
r3		
r60		
$\triangle r_2 = \lvert r3-r60 \rvert$		
平均値 $((\triangle r_1+\triangle r_2)/2)$		

新

別紙 2　Attachment 2

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

プラスチック製レンズを組み込んだランプの要件

Requirements for Lamps Incorporating Lenses of Plastic Material

協定規則第 98 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 98

○温度変化に対する耐性　Resistance to temperature changes

単位（Unit）:cd

サンプル Sample	測定箇所 Measuring Area	試験前 Before test		試験後 After test		差 (%) Difference (%)	
		左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right
1	B50R						
	50L						
	I max						
2	B50R						
	50L						
	I max						
3	B50R						
	50L						
	I max						

○耐候性及び耐薬品性（略）～

○プラスチック材料のレンズを組込んだ完成前照灯の試験（略）

（以下略）

TRIAS 32-R112-04

前照灯試験（協定規則第 112 号）

1.～4.（略）

付表 Attached Table

前照灯の試験記録及び成績（クラス B）Headlamp Test Data Record Form (Class B)

協定規則第 112 号（規則 5.、規則 6.、規則 7. 及び規則 8.）1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 112

(Restricted to paragraphs 5., 6., 7. and 8.)

試験期日（略）～◎試験条件（略）

○直線照明及び屈曲照明の配光特性、○赤外線用追加光源点灯時の配光特性、○屈曲照明用追加光源の失陥時の配光特性

旧

Average		

別紙 2　Attachment 2

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

プラスチック製レンズを組み込んだランプの要件

Requirements for Lamps Incorporating Lenses of Plastic Material

協定規則第 98 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 98

○温度変化に対する耐性　Resistance to temperature changes

単位（Unit）:lx·cd

サンプル Sample	測定箇所 Measuring Area	試験前 Before test		試験後 After test		差 (%) Difference (%)	
		左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right
1	B50R						
	50L						
	E max						
2	B50R						
	50L						
	E max						
3	B50R						
	50L						
	E max						

○耐候性及び耐薬品性（略）～

○プラスチック材料のレンズを組込んだ完成前照灯の試験（略）

（以下略）

TRIAS 32-R112-03

前照灯試験（協定規則第 112 号）

1.～4.（略）

付表 Attached Table

前照灯の試験記録及び成績（クラス B）Headlamp Test Data Record Form (Class B)

協定規則第 112 号（規則 5.、規則 6.、規則 7. 及び規則 8.）1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 112

(Restricted to paragraphs 5., 6., 7. and 8.)

試験期日（略）～◎試験条件（略）

○直線照明及び屈曲照明の配光特性、○赤外線用追加光源点灯時の配光特性、○屈曲照明用追加光源の失陥時の配光特性

新

測定領域 Measuring Area	左 Left	右 Right	左 Left		右 Right		単位 Unit (cd)
			左方向 Left side	右方向 Right side	左方向 Left side	右方向 Right side	
			角度 Angle °	角度 Angle °	角度 Angle °	角度 Angle °	
すれ違い用（略） Passing beam							
走行用 Driving beam							
最大光度 I max							
HV（略） ～ HV-左右 2.25m（略）							

○色度特性（略）～○故障時の配光特性（略）

別紙 1　Attachment 1

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

点灯中の前照灯の光度性能の安定性に関する試験

Tests for Stability of Photometric Performance of Headlamps in Operation

協定規則第 112 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 112

○光度特性の安定性に関する試験（きれいな前照灯）、○光度特性の安定性に関する試験（汚れた前照灯）○前照灯のレンズ（外側レンズ含む）に、ゆがみ、変形、割れ目、変色がないものであること。

○光度試験

Photometric test

単位（Unit）:cd

測定箇所 Measuring Area	試験前 Before test		試験後 After test		差（%） Difference (%)	
	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right
すれ違い用 Passing beam						

旧

測定領域 Measuring Area	左 Left	右 Right	左 Left		右 Right		単位 Unit (lx・cd)
			左方向 Left side	右方向 Right side	左方向 Left side	右方向 Right side	
			角度 Angle °	角度 Angle °	角度 Angle °	角度 Angle °	
すれ違い用（略） Passing beam							
走行用 Driving beam							
最大照度 E max							
HV（略） ～ HV-左右 2.25m（略）							

○色度特性（略）～○故障時の配光特性（略）

別紙 1　Attachment 1

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

点灯中の前照灯の光度性能の安定性に関する試験

Tests for Stability of Photometric Performance of Headlamps in Operation

協定規則第 112 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 112

○光度特性の安定性に関する試験（きれいな前照灯）、○光度特性の安定性に関する試験（汚れた前照灯）○前照灯のレンズ（外側レンズ含む）に、ゆがみ、変形、割れ目、変色がないものであること。

○光度試験

Photometric test

単位（Unit）: lx・cd

測定箇所 Measuring Area	試験前 Before test		試験後 After test		差（%） Difference (%)	
	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right
すれ違い用 Passing beam						

新

	50L						
	B50R						
	25R						
走行用 Driving beam							
	最大光度 I max						

○熱の影響によるカットオフの垂直位置の変化に関する試験
Changes in vertical position of the cut-off line under the influence of heat:
サンプル 1Sample1 (略)
※上記測定で、上向き 1mrad を超え 1.5mrad 以下、又は下向き 2mrad を超え 3mrad 以下の場合
If the Upward value above is more than 1.0 mrad but not more than 1.5 mrad or the Downward value above is more than 2.0 mrad but not more than 3.0 mrad:
サンプル 2Sample2

単位 (Unit) : mrad

点灯時間等 Lighting time, etc.	測定用スクリーン上の位置 Position on measuring screen	
	左 Left	右 Right
r3		
r60		
$\triangle r_1$ = | r3-r60 |		

別紙 2 Attachment 2
前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form
プラスチック製レンズを組み込んだランプの要件
Requirements for Lamps Incorporating Lenses of Plastic Material
協定規則第 112 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 112
○温度変化に対する耐性 Resistance to temperature changes

単位 (Unit) : cd

サンプル Sample	測定箇所 Measuring Area	試験前 Before test		試験後 After test		差 (%) Difference (%)	
		左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right

旧

	50L						
	B50R						
	HV						
走行用 Driving beam							
	最大照度 E max						

○熱の影響によるカットオフの垂直位置の変化に関する試験
Changes in vertical position of the cut-off line under the influence of heat:
サンプル 1Sample1 (略)
※上記測定で、1mrad を超え、1.5mrad 以下の場合
If the value above is more than 1mrad but does not exceed 1.5mrad:

サンプル 2Sample2

単位 (Unit) : mrad

点灯時間等 Lighting time, etc.	測定用スクリーン上の位置 Position on measuring screen	
	左 Left	右 Right
r3		
r60		
$\triangle r_2$ = | r3-r60 |		
平均値平均値 (($\triangle r_1$+$\triangle r_2$) /2) Average		

別紙 2 Attachment 2
前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form
プラスチック製レンズを組み込んだランプの要件
Requirements for Lamps Incorporating Lenses of Plastic Material
協定規則第 112 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 112
○温度変化に対する耐性 Resistance to temperature changes

単位 (Unit) : lx・cd

サンプル Sample	測定箇所 Measuring Area	試験前 Before test		試験後 After test		差 (%) Difference (%)	
		左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right

新

1	B50R						
	50L						
	I max						
2	B50R						
	50L						
	I max						
3	B50R						
	50L						
	I max						

○耐候性及び耐薬品性（略）～○完成前照灯のコーティングの粘着試験（コーティングを有する場合）（略）

別紙　3　Attachment 3

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

LED モジュール及び LED モジュールを含む前照灯の要件 Requirements for LED Modules and Headlamps Including LED Modules

協定規則第 112 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 112

○演色性試験（略）～○温度の安定性試験（略）

○光度測定 Brightness characteristics

測定領域 Measuring Area			1分後 After 1 minute	光度安定時 Photometry is stable	単位 Unit	光度比率 Brightness ratio
すれ違い用 Passing beam						-
	25V	L側			cd	
		R側				
走行用 Driving beam						-
	HV	L側			cd	
		R側				

○主要なすれ違いビームを照射する LED モジュールの目標光束の測定 Measurement of target luminous flux of LED module emitting a principal passing beam

サンプル Sample	測定光束 Measured luminous flux	平均 Average	単位 Unit
1			lm

旧

1	B50R						
	50L						
	E max						
2	B50R						
	50L						
	E max						
3	B50R						
	50L						
	E max						

○耐候性及び耐薬品性（略）～○完成前照灯のコーティングの粘着試験（コーティングを有する場合）（略）

別紙　3　Attachment 3

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

LED モジュール及び LED モジュールを含む前照灯の要件 Requirements for LED Modules and Headlamps Including LED Modules

協定規則第 112 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 112

○演色性試験（略）～○温度の安定性試験（略）

○光度測定 Brightness characteristics

測定領域 Measuring Area			1分後 After 1 minute	光度安定時 Photometry is stable	単位 Unit	光度比率 Brightness ratio
すれ違い用 Passing beam						-
	50V	L側			lx・cd	
		R側				
走行用 Driving beam						-
	HV	L側			lx・cd	
		R側				

○主要なすれ違いビームを照射する LED モジュールの目標光束の測定 Measurement of target luminous flux of LED module emitting a principal passing beam

サンプル Sample	測定光束 Measured luminous flux	平均 Average	単位 Unit
1			lm
2			
3			

新

（以下略）

TRIAS 32-R113-02

前照灯試験（協定規則第 113 号）

1.～4.（略）

付表 Attached Table

前照灯の試験記録及び成績（クラス B, C, D 及び E) Headlamp Test Data Record Form (Class B, C, D and E)

協定規則第 113 号（規則 5.、規則 6. 及び規則 7.）1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 113 (Restricted to paragraphs 5., 6. and 7.)

（略）

別紙　1～別紙　2（略）

別紙　3　Attachment 3

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

LED モジュール及び LED モジュールを含む前照灯の要件 Requirements for LED Modules and Headlamps Including LED Modules

協定規則第 113 号 附則 121958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 113 Annex 12

○演色性試験 (4. 1)（略）～○光度測定 (4. 3. 1)（略）

○主要なすれ違いビームを照射する LED モジュールの目標光束の測定 (5.)

Measurement of target luminous flux of LED module emitting a principal passing beam (5.)

サンプル Sample	測定光束 Measured luminous flux	平均 Average	単位 Unit
1			lm

（以下略）

TRIAS 32-R123-05

前照灯試験（協定規則第 123 号）

1.～4.（略）

付表 Attached Table

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

協定規則第 123 号 (規則 5.、規則 6. 及び規則 7.) 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 123 (Restricted to paragraphs 5., 6. and 7.)

旧

（以下略）

TRIAS 32-R113-01

前照灯試験（協定規則第 113 号）

1.～4.（略）

付表 Attached Table

前照灯の試験記録及び成績（クラス B, C, D 及び E) Headlamp Test Data Record Form (Class B, C, D and E)

協定規則第 113 号（規則 5.、規則 6. 及び規則 7.）1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 113 (Restricted to paragraphs 5., 6. and 7.)

（略）

別紙　1～別紙　2（略）

別紙　3　Attachment 3

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

LED モジュール及び LED モジュールを含む前照灯の要件 Requirements for LED Modules and Headlamps Including LED Modules

協定規則第 113 号 附則 121958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 113 Annex 12

○演色性試験 (4. 1)（略）～○光度測定 (4. 3. 1)（略）

○主要なすれ違いビームを照射する LED モジュールの目標光束の測定 (5.)

Measurement of target luminous flux of LED module emitting a principal passing beam (5.)

サンプル Sample	測定光束 Measured luminous flux	平均 Average	単位 Unit
1			lm
2			
3			

（以下略）

TRIAS 32-R123-04

前照灯試験（協定規則第 123 号）

1.～4.（略）

付表 Attached Table

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

協定規則第 123 号 (規則 5.、規則 6. 及び規則 7.) 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 123 (Restricted to paragraphs 5., 6. and 7.)

新

（略）

○クラス及び屈曲モードの有無　Presence of “Class” and “Bending mode”

	機能の有無 Presence of function	屈曲モードの有無 Presence of bending mode
クラス C Class C	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス V Class V	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス E データセット N/A Class E data set N/A	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス E1 データセット E1 Class E1 data set E1	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス E2 データセット E2 Class E2 data set E2	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス E3 データセット E3 Class E3 data set E3	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス W Class W	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
走行用前照灯 (R) Driving Beam (R)	有り・無し Yes / No	有り・無し Yes / No

（略）

別紙　1Attachment　1

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

点灯中の前照灯の光度性能の安定性に関する試験 Tests for Stability of Photometric

旧

（略）

○クラス及び屈曲モードの有無　Presence of “Class” and “Bending mode”

	機能の有無 Presence of function	屈曲モードの有無 Presence of bending mode
クラス C Class C	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス V Class V	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス E Class E	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス E1 Class E1	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス E2 Class E2	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス E3 Class E3	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
クラス W Class W	有り・無し Yes / No	有り（カテゴリー1・カテゴリー2）・無し Yes (Category1 / Category2) / No
走行用前照灯 (R) Driving Beam (R)	有り・無し Yes / No	有り・無し Yes / No

（略）

別紙　1Attachment　1

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

点灯中の前照灯の光度性能の安定性に関する試験 Tests for Stability of Photometric

新

Performance of Headlamps in Operation

協定規則第 123 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 123

（略）

○熱の影響によるカットオフの垂直位置の変化に関する試験

Changes in vertical position of the cut-off line under the influence of heat:

サンプル 1 Sample1　　単位（Unit）：mrad

点灯時間等 Lighting time, etc.	測定用スクリーン上の位置 Position on measuring screen	
	左 Left	右 Right
r3		
r60		
$\triangle r_1$ ＝｜r3-r60｜		

※上記測定で、上向き 1mrad を超え 1.5mrad 以下、又は下向き 2mrad を超え 3mrad 以下の場合

If the Upward value above is more than 1.0 mrad but not more than 1.5 mrad or the Downward value above is more than 2.0 mrad but not more than 3.0 mrad:

サンプル 2 Sample2　　単位（Unit）：mrad

点灯時間等 Lighting time, etc.	測定用スクリーン上の位置 Position on measuring screen	
	左 Left	右 Right
r3		
r60		
$\triangle r_1$ ＝｜r3-r60｜		

（略）

別紙　3 Attachment　3

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

LED モジュール及び LED モジュールを含む前照灯の要件 Requirements for LED Modules and Headlamps Including LED Modules

協定規則第 123 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 123

（略）

○主要なすれ違いビームを照射する LED モジュールの目標光束の測定

旧

Performance of Headlamps in Operation

協定規則第 123 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 123

（略）

○熱の影響によるカットオフの垂直位置の変化に関する試験

Changes in vertical position of the cut-off line under the influence of heat:

単位（Unit）:mrad

点灯時間等 Lighting time, etc.	測定用スクリーン上の位置 Position on measuring screen	
	左 Left	右 Right
r3		
r60		
$\triangle r$＝｜r3-r60｜		

※上記測定で、1mrad を超え、1.5mrad 以下の場合

If the value above is more than 1mrad but does not exceed 1.5mrad

単位（Unit）:mrad

点灯時間等 Lighting time, etc.	測定用スクリーン上の位置 Position on measuring screen			
	左（1回目） Left (First)	左（2回目） Left (Second)	右（1回目） Right (First)	右（2回目） Right (Second)
r3				
r60				
$\triangle r$＝｜r3-r60｜				
平均値 Average				

（略）

別紙　3 Attachment　3

前照灯の試験記録及び成績 Headlamp Test Data Record Form

LED モジュール及び LED モジュールを含む前照灯の要件 Requirements for LED Modules and Headlamps Including LED Modules

協定規則第 123 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 123

（略）

○主要なすれ違いビームを照射する LED モジュールの目標光束の測定

新

Measurement of target luminous flux of LED module emitting a principal passing beam

サンプル Sample	測定光束 Measured luminous flux	平均 Average	単位 Unit
1			lm

（以下略）

TRIAS 32-001-01（略）

TRIAS 33-R019-02

前部霧灯試験（協定規則第 19 号）

（略）

別紙　4 Attachment 4

前部霧灯の試験記録及び成績 Front Fog Lamps Test Data Record Form

LED モジュール又はライトジェネレータを使用する場合の要件 Requirements in Case of Use of LED Module(S) or Light Generators

協定規則第 19 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 19

（略）

○色 Colour

	x		y	
	1 分後 After 1 minute	光度安定時 Photometry is stable	1 分後 After 1 minute	光度安定時 Photometry is stable
左 Left				
右 Right				

（以下略）

TRIAS 33(2)-J102R119-01（略）

TRIAS 33(2)-R119-02

側方照射灯試験（協定規則第 119 号）

（略）

付表 Attached Table

旧

Measurement of target luminous flux of LED module emitting a principal passing beam

サンプル Sample	測定光束 Measured luminous flux	平均 Average	単位 Unit
1			lm
2			
3			

（以下略）

TRIAS 32-001-01（略）

TRIAS 33-R019-01

前部霧灯試験（協定規則第 19 号）

（略）

別紙　4 Attachment 4

前部霧灯の試験記録及び成績 Front Fog Lamps Test Data Record Form

LED モジュール又はライトジェネレータを使用する場合の要件 Requirements in Case of Use of LED Module(S) or Light Generators

協定規則第 19 号 1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 19

（略）

○色 Colour

	x		y	
	1 分後 After 1 minute	30 分後 After 30 minutes	1 分後 After 1 minute	30 分後 After 30 minutes
左 Left				
右 Right				

（以下略）

TRIAS 33(2)-J102R119-01（略）

TRIAS 33(2)-R119-01

側方照射灯試験（協定規則第 119 号）

（略）

付表 Attached Table

新

側方照射灯の試験記録及び成績 Cornering Lamps Test Data Record Form
協定規則第 119 号（規則 5.、規則 6.、規則 7. 及び規則 8.）1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 119
(Restricted to paragraphs 5., 6., 7. and 8.)

（略）

○配光特性　Photometric characteristics

（略）

単位（Unit）:cd

サンプル Sample	水平面上方 1.0° より 上方での最高光度 *2 Maximum luminous intensity upward more than 1.0 degrees below horizontal plane *2	水平面上より水平面上方 1.0° での最高光度*2 Maximum luminous intensity between the horizontal plane and the 1.0U *2	水平面下方 0.57° より 下方での最高光度 *2 Maximum luminous intensity downward more than0.57 degrees below horizontal plane*2
左 Left			
右 Right			

（削除）

（略）

(注*1) 電球以外の非交換式光源の場合、測定開始後 10 分経過の値とする。

(Note*1) In case of non-replaceable light sources except for filament lamps, the value should be measured after ten minutes.

（以下略）

TRIAS 33(3)-R023-02

旧

側方照射灯の試験記録及び成績 Cornering Lamps Test Data Record Form
協定規則第 119 号（規則 5.、規則 6.、規則 7. 及び規則 8.）1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 119
(Restricted to paragraphs 5., 6., 7. and 8.)

（略）

○配光特性　Photometric characteristics

（略）

単位（Unit）:cd

サンプル Sample	水平面上方 1.0° より 上方での最高光度 *2 Maximum luminous intensity upward more than 1.0 degrees below horizontal plane *2	水平面上での最高光度*2 Maximum luminous intensity horizontal plane *2	水平面下方 0.57° より 下方での最高光度 *2 Maximum luminous intensity downward more than0.57 degrees below horizontal plane*2
左 Left			
右 Right			

単位（Unit）:cd

サンプル Sample	水平線を中心に上下 10°、及び取付側の外側に向かって 30° から 60° の範囲内での最低光度*1 Minimum luminous intensity in a range of 10 degrees above and below the horizontal and between 30 and 60 degrees outward*1
左 Left	
右 Right	

（略）

(注*1) 電球以外の非交換式光源の場合、測定開始後 30 分経過の値とする。

(Note*1) In case of non-replaceable light sources except for filament lamps, the value should be measured after thirty minutes.

（以下略）

TRIAS 33(3)-R023-01

新	旧
低速走行時側方照射灯試験（協定規則第 23 号） （略） 付表 Attached Table 低速走行時側方照射灯の試験記録及び成績 Manoeuvring Lamps Test Data Record Form 協定規則第 23 号（規則 6. 2. 及び規則 8.）1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 23 (Restricted to paragraphs 6. 2. and 8.) （略） ○配光特性 (6. 2.) 直接発せられる光が規定の角度範囲内で 0. 5cd を超えないこと（6. 2. 2.）*2 The light emitted directly does not exceed 0. 5 cd within the angular field as regulation. *2 （略） (注*1) 電球以外の非交換式光源の場合、測定開始後 10 分経過の値とする。 (Note*1) In case of non-replaceable light sources except for filament lamps, the value should be measured after ten minutes. (注*2) 電球以外の非交換式光源の場合、最大値は測定開始後 1 分以内の値とする。 (Note*3) In case of non-replaceable light sources except for filament lamps, maximum value should be measured in one minute. （以下略） TRIAS 34-J058R007-01～39 (2) -J071R007-01（略） TRIAS 40-J072R023-02 後退灯試験 （略） 付表 Attached Table 後退灯の試験記録及び成績 Reversing Lamps Test Data Record Form （略） (注*2) 電球以外の非交換式光源の場合、測定開始後 10 分経過の値とする。 (Note*2) In case of non-replaceable light sources except for filament lamps, the value should be measured after ten minutes. （以下略） TRIAS 41-J073R006-02 方向指示器試験 （略） 別紙 1、別紙 2-1（固定光度：2a）、別紙 2-2（可変光度：2b） (Attachment 1)、(Attachment 2-1) (FIXED LUMINOUS INTENSITY:2a)、(Attachment 2-2)	低速走行時側方照射灯試験（協定規則第 23 号） （略） 付表 Attached Table 低速走行時側方照射灯の試験記録及び成績 Manoeuvring Lamps Test Data Record Form 協定規則第 23 号（規則 6. 2. 及び規則 8.）1958 Agreement of the United Nations Economic Commission for Europe Regulation No. 23 (Restricted to paragraphs 6. 2. and 8.) （略） ○配光特性 (6. 2.) 直接発せられる光が規定の角度範囲内で 0. 5cd を超えないこと（6. 2. 2.） The light emitted directly does not exceed 0. 5 cd within the angular field as regulation. （略） (注*1) 電球以外の非交換式光源の場合、測定開始後 30 分経過の値とする。 (Note*1) In case of non-replaceable light sources except for filament lamps, the value should be measured after thirty minutes. （新設） （以下略） TRIAS 34-J058R007-01～39 (2) -J071R007-01（略） TRIAS 40-J072R023-01 後退灯試験 （略） 付表 Attached Table 後退灯の試験記録及び成績 Reversing Lamps Test Data Record Form （略） (注*2) 電球以外の非交換式光源の場合、測定開始後 30 分経過の値とする。 (Note*2) In case of non-replaceable light sources except for filament lamps, the value should be measured after thirty minutes. （以下略） TRIAS 41-J073R006-01 方向指示器試験 （略） 別紙 1、別紙 2-1（固定光度：2a）、別紙 2-2（可変光度：2b） (Attachment 1)、(Attachment 2-1) (FIXED LUMINOUS INTENSITY:2a)、(Attachment 2-2)

新	旧
(VARIABLE LUMINOUS INTENSITY : 2b) 1. ◎試験成績（前部）、◎試験成績（後部）Test Results (Front) （略） 1.9. 連鎖式点灯 Sequential Activation 連鎖式点灯により光源の点滅を生じさせる場合、以下の条件が満たされること： In the case flashing of light sources is generated by sequential activation, the following conditions shall be met: (a) 各光源は、その点灯後、ON サイクルの終了まで点灯し続ける。 Each light source, after its activation, shall remain lit until the end of the ON cycle. (b) 光源の一連の点灯は、見かけの表面の内側から外側端部に向かって均一的かつ漸進的に生じる。 The sequence of activation of the light sources shall proceed in a uniform progressive manner from inboard towards the outboard edge of the apparent surface. (c) 垂直方向における反復交互変化のない（例：波のない）1 つの連続した直線。 It shall be one continuous line with no repeating alternation in the vertical direction (e.g. no waves). (d) 変動は、ON サイクル開始後 200 ms 以内に終了する。 The variation shall finish no more than 200 ms after the beginning of the ON cycle. (e) 方向指示器の見かけの表面を囲む長方形の基準軸方向における正射影は、その長い方の辺が H 面に平行であり、水平の辺と垂直の辺の比は 1.7 以上である。 For the orthogonal projection in the direction of the axis of reference of a rectangle, circumscribing the apparent surface of the direction indicator shall have its longer sides parallel to the H-plane, the ratio of the horizontal to the vertical sides shall not be less than 1.7. 左 適 ・ 否 右 適 ・ 否 Left Pass Fail Right Pass Fail （以下略） TRIAS 43-J074R028-01～43(5)-J078R097R116-01（略） TRIAS 43(6)-R130-01 車線逸脱警報装置試験（協定規則第 130 号） （以下略）	(VARIABLE LUMINOUS INTENSITY : 2b) 1. ◎試験成績（前部）、◎試験成績（後部）Test Results (Front) （略） （新設） （以下略） TRIAS 43-J074R028-01～43(5)-J078R097R116-01（略） TRIAS 43(6)-R130-01 車線逸脱警報装置試験（協定規則第 130 号） (Lane Departure Warning System) （以下略）

新	旧
TRIAS 44-J079-01～45-J086-01（略） TRIAS 46-J088R039-02 速度計試験 1.　総則 速度計試験の実施にあたっては、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）別添「速度計の技術基準」の規定、走行距離計試験の実施にあたっては「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）に定める「協定規則第 39 号の技術的な要件」及び本規定によるものとする。 （略） 付表 Attached Table 速度計の試験記録及び成績 Speedometer Test Data Record Form 1.　速度計 Speedometer（略） 1-2.　試験機器 Test equipment ●車速測定装置 Vehicle speed Mesuring Device □ 光電管 Photoelectric tube　□ 第 5 輪 Fifth wheel　□ その他 Others □ レーダー Radar　□ レーザー Laser　□ GPS GPS 1-3.　試験結果 Test result（略） 2.　走行距離計 Odometer 2-1.　試験結果 Test results 走行距離計の表示 Indication of the odometer 運転者の直接視界の範囲内 Driver's direct field of vision　適・否 Pass/Fail カテゴリ M 及びカテゴリ N の車両については最低でも 6 桁の数字からなるものとして整数位を表示するものとする。 In the case of vehicles of Categories M and N, enter an integer value consisting of at least six digits.　適・否 Pass/Fail カテゴリ L の車両については最低でも 5 桁の数字からなるものとして整数位を表示するものとする。 In the case of vehicles of Category L, enter an integer value consisting of at least five digits.　適・否 Pass/Fail （以下略） TRIAS 48(2)-J089-01～99-005-01（略）	TRIAS 44-J079-01～45-J086-01（略） TRIAS 46-J088R039-01 速度計試験 1.　総則 速度計試験の実施にあたっては、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）別添「速度計の技術基準」の規定及び本規定によるものとする。 （略） 付表 Attached Table 速度計の試験記録及び成績 Speedometer Test Data Record Form 1.　速度計 Speedometer（略） 2.　試験機器 Test equipment（略） ●車速測定装置 Vehicle speed Mesuring Device □ 光電管 Photoelectric tube　□ 第 5 輪 Fifth wheel　□ その他 Others □ レーダー Radar　□レーザー Laser 3.　試験結果 Test result（略） （新設） （以下略） TRIAS 48(2)-J089-01～99-005-01（略）

新

TRIAS 99-006-02

燃料消費率試験（JC08 モード）

1.～5.4（略）

5.5　測定装置の接続等

試験自動車の排気管開口部に CVS 装置の排出ガス採取部を接続する際には、次の各号によること。

なお、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示（平成 14 年国土交通省告示第 619 号。以下「細目告示」という。）別添 42「軽・中量車排出ガスの測定方法　I　JC08 モード法」（以下「別添 42　I　JC08 モード法」という。）に規定する希釈トンネル装置を接続することができる。

（略）

6.～9.（略）

10.　運転指標の算定

運転指標の算定は別紙 12 に規定する方法により行うこと。

11.～12.6（略）

12.7　試験自動車の実走行モード及び基準走行モードをチャート紙又は他のデータ処理装置に連続記録すること。また、チャート紙以外の他のデータ処理装置を用いる場合のサンプリング周期は 0.1 秒で記録すること。

12.8～12.15（略）

12.16　付表 2 及び付表 8 の「○運転指標」欄は、別紙 12 による計算結果を記入する。付表以外の別紙に運転指標計算結果のみ記載してもよい。

別記　表 1（略）

表 2

参照	記号	単位	内容
（略）			
別紙 12	VDi	km/h	実走行速度
	VTi	km/h	目標走行速度
	N		測定数

別紙 1～3（略）

別紙 4

1.（略）

2.　試験自動車等

別添 42　I　JC08 モード法　別紙 4 2. による

旧

TRIAS 99-006-01

燃料消費率試験（JC08 モード）

1.～5.4（略）

5.5　測定装置の接続等

試験自動車の排気管開口部に CVS 装置の排出ガス採取部を接続する際には、次の各号によること。

なお、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示（平成 14 年国土交通省告示第 619 号。以下「細目告示」という。）別添 42「軽・中量車排出ガスの測定方法」（以下「別添 42」という。）に規定する希釈トンネル装置を接続することができる。

（略）

6.～9.（略）

（新設）

10.～11.6

11.7　試験自動車の実走行モード及び基準走行モードをチャート紙又は他のデータ処理装置に連続記録すること。また、チャート紙以外の他のデータ処理装置を用いる場合のサンプリング周期は 1 秒で記録すること。

11.8～11.15（略）

（新設）

別記　表 1（略）

表 2

参照	記号	単位	内容
（略）			
（新設）			

別紙 1～3（略）

別紙 4

1.（略）

2.　試験自動車等

試験路において走行抵抗を測定するときの試験自動車等は次に掲げる状態とする。

2.1　試験自動車

(1) 試験自動車の重量は、走行抵抗測定に必要な試験機器等を搭載し、運転者が乗車した状態で、道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）第 1 条第 1 項第 3 号に定める空車状態の自動車に 2 人の人員（人員 1 人の重量は、55kg とする。）が乗車した重量又は 110kg の物品が積載された重量に相当する重量であること。

新	旧
3.　走行抵抗測定方法 別添42　I　JC08モード法　別紙4　3.による	(2)　試験自動車の重量の誤差範囲は、試験自動車重量の±50kg以内であること。 (3)　試験自動車は、十分暖機された状態であること。 2.2　試験路 (1)　試験路は、乾燥した直線平坦舗装路とし、不連続な防風板等がないこと。 (2)　試験路には、大気圧、気温及び風の状態が観察できる設備があること。 大気圧及び気温については、走行抵抗測定の開始時及び終了時の平均値を求めるものとし、風速については、試験路に平行な風速成分及び試験路に垂直な風速成分を、随時観察又は記録すること。 (3)　試験路における走行抵抗測定時の風の状態は、試験路に平行な風速成分が平均5m/s以下、垂直な風速成分が平均2m/s以下であること。 3.　走行抵抗測定方法 走行抵抗測定は、3.1の惰行法又は3.2のホイールトルク法とする。 3.1　惰行法 3.1.1　試験路における走行抵抗の測定 (1)　走行抵抗の測定を行う速度（以下「指定速度」という。）は、20km/h、30km/h、40km/h、50km/h、60km/h、70km/h、80km/h及び90km/hとする。 (2)　走行抵抗の測定は、試験自動車を指定速度＋5km/hを超える速度から変速機をニュートラルにして惰行させ、指定速度＋5km/hから指定速度-5km/hに至るまでの惰行時間を0.1秒以下の単位で測定することにより行う。 惰行時間の測定中は、ブレーキ操作及びハンドル操作を行わないものとし、クラッチはつないだ状態とする。 (3)　各指定速度における惰行時間の測定は、往路3回及び復路3回行うものとし、その平均値（以下「平均惰行時間」という。）を求めるものとする。 なお、往路毎又は復路毎の惰行時間は、それぞれの最大値と最小値の比が1.1以下であること。 3.1.2　目標走行抵抗の算出 (1)　次の式により、各指定速度における走行抵抗を求める。 $$F = \frac{W + W_4}{0.36t}$$ F　：各指定速度における走行抵抗　N W　：試験自動車の重量（走行抵抗測定時）　kg W_4　：試験自動車の回転部分の相当慣性重量　kg （通常は諸元表に記載された車両重量の3.5%とする。 なお、実測又は計算で求めてもよい。） t　：各指定速度における平均惰行時間　s (2)　(1)で求めた各指定速度における走行抵抗をもとに、最小二乗法により走行抵抗を速度の二乗の関数として次のように表す。

新	旧
	$F = a + bV^2$ $a = \dfrac{\Sigma K_i^2 \Sigma F_i - \Sigma K_i \Sigma K_i F_i}{n \Sigma K_i^2 - (\Sigma K_i)^2}$ $b = \dfrac{n \Sigma K_i F_i - \Sigma K_i \Sigma F_i}{n \Sigma K_i^2 - (\Sigma K_i)^2}$ $K = V^2$ F　：走行抵抗　N a　：ころがり抵抗に相当する値　N b　：空気抵抗係数に相当する値　$N/(km/h)^2$ V　：速度　km/h (3)　(2)で求めた各係数について、次の式により標準大気状態への補正を行い、その結果を目標走行抵抗とする。 $F_0 = a_0 + b_0 V^2$ $a_0 = (a - b\upsilon^2)[1 + 0.00864(Te - 293)]$ $b_0 = 0.346b\dfrac{Te}{P}$ F_0　：目標走行抵抗　N υ　：試験路に平行な風速成分の平均値　km/h a_0　：標準状態におけるころがり抵抗に相当する値　N b_0　：標準状態における空気抵抗係数に相当する値　$N/(km/h)^2$ Te　：試験路における平均気温　K 平均気温が℃の場合　$Te = Te_0 + 273$ Te_0　：試験路における平均気温　℃ P：試験路における平均大気圧　kPa 3.2　ホイールトルク法 3.2.1　ホイールトルクメータの調整等 (1)　ホイールトルクメータは、試験自動車の左右の駆動輪に装備すること。 (2)　試験路において走行抵抗を測定するとき使用するホイールトルクメータとシャシダイナモメータ上で負荷設定するとき使用するホイールトルクメータは同一のものであること。 (3)　試験自動車に装備されたホイールトルクメータは、試験路における走行抵抗測定の直前及びシャシダイナモメータの負荷設定を行う直前に、ゼロ調整及びスパン調整を行うこと。 3.2.2　試験路における走行抵抗の測定 (1)　指定速度は、20km/h、30km/h、40km/h、50km/h、60km/h、70km/h、80km/h 及び 90km/h とする。 (2)　各指定速度において試験自動車が定常走行している状態で、試験自動車の速度

新	旧
	及び左右のホイールトルクの和を同時に0.25秒以下のサンプリング周期で5秒間以上測定する。 (3) 測定中の試験自動車の速度の平均値（以下「測定車速」という。）及び測定中の左右のホイールトルクの和の平均値（以下「走行トルク」という。）を求める。 (4) 試験自動車の速度は、測定開始時におけるものと測定終了時におけるものとの相違が0.5km/h以下で、測定中の最大値と最小値の差が指定速度の5%以下であること。 また、測定車速と指定速度との差は、±2km/h以内であること。 (5) 左右のホイールトルクの和は、測定中の最大値と最小値の差が最大値の5%以下であること。 (6) 各指定速度における測定車速及び走行トルクの測定は、往路1回及び復路1回行うこと。 3.2.3 目標走行抵抗の算出 (1) 3.2.2で求めた各指定速度における走行トルクを基に最小二乗法により走行トルクを速度の二乗の関数として次のように表す。 なお、T_iについては、往路及び復路における走行トルクをそれぞれ代入するものとし、K_iについては、往路及び復路における測定車速をそれぞれ二乗して代入すること。 $T = c + dV^2$ $c = \frac{\Sigma K_i^2 \Sigma T_i - \Sigma K_i \Sigma K_i T_i}{n \Sigma K_i^2 - (\Sigma K_i)^2}$ $d = \frac{n \Sigma K_i T_i - \Sigma K_i \Sigma T_i}{n \Sigma K_i^2 - (\Sigma K_i)^2}$ $K = V^2$ T ：走行トルク N・m c ：ころがり抵抗に相当する値 N・m d ：空気抵抗係数に相当する値 m/(km/h)^2 V ：速度 km/h (2) (1)で求めた各係数について、次の式により標準大気状態への補正を行いその結果を目標走行抵抗に相当するもの（以下「目標トルク」という。）とする。 $T_0 = c_0 + d_0 V^2$ $c_0 = (c - d\upsilon^2)[1 + 0.00864(Te - 293)]$ $d_0 = 0.346d\frac{Te}{P}$ T_0 ：目標トルク N・m υ ：試験路に平行な風速成分の平均値 km/h c_0 ：標準状態におけるころがり抵抗に相当する値 N・m

新	旧
4.（略） 別紙 5 1.（略） ただし、細目告示別添 42 Ⅰ JC08 モード法の別紙 7 に規定するアイドリング運転における排出ガスの測定後、直ちに JC08H モード法走行前の条件設定を行う場合にあっては、本文中「15 分間以上」とあるのを「5 分間以上」と読み替えることができる。 （略） 別紙 6（略） 別紙 7（略） 3.1　希釈率 希釈率は、次の式により求めること。 3.1.1　ガソリン、ＬＰＧの場合 $$DF = \frac{13.4}{CO_2e + (THCe + COe) \times 10^{-4}}$$ （略） 3.1.3　軽油の場合 $$DF = \frac{13.3}{CO_2e + (THCe + COe) \times 10^{-4}}$$ （略） 別紙 8～10（略） 別紙 11　電気式プラグインハイブリッド自動車における燃料消費率等の算定方法 （略） 2.2　CD 試験における各モード燃料消費率等の算定 1.2 で測定された各モード各成分の排出量により、2.1 で用いた排出量補正係数（K_{EW}）を用いて電気量収支ゼロ状態の補正排出量を求め、別紙 8 に規定する計算式により各モード回（n_i）の燃料消費率（$FC_{CD(i)}$）の算定を行う。排出量の補正では、エンジン初起動サイクルにおいては JC08C モード法による排出量補正係数（K_{EW}）を用い、以降のサイクルにあっては JC08H モード法による排出量補正係数（K_{EW}）を用いること。 （略） 別紙 12　運転指標の算定 以下 1. から 6. に定める運転指標を、SAE J2951 に規定される方法により算定する。た	d_0　：標準状態における空気抵抗係数に相当する値 N・m/(km/h)^2 Te　：試験路における平均気温　K 平均気温が℃の場合　Te＝Te_0＋ 27 Te_0　：試験路における平均気温　℃ P　：試験路における平均大気圧　kPa 4.（略） 別紙 5 1.（略） ただし、細目告示別添 42 の別紙 7 に規定するアイドリング運転における排出ガスの測定後、直ちに JC08H モード法走行前の条件設定を行う場合にあっては、本文中「15 分間以上」とあるのを「5 分間以上」と読み替えることができる。 （略） 別紙 6（略） 別紙 7（略） 3.1　希釈率 希釈率は、次の式により求めること。 3.1.1　ガソリン、ＬＰＧの場合 $$DF = \frac{13.4}{CO_2e \times (THCe + COe) \times 10^{-4}}$$ （略） 3.1.3　軽油の場合 $$DF = \frac{13.3}{CO_2e \times (THCe + COe) \times 10^{-4}}$$ （略） 別紙 8～10（略） 別紙 11　電気式プラグインハイブリッド自動車における燃料消費率等の算定方法 （略） 2.2　CD 試験における各モード燃料消費率等の算定 1.2 で測定された各モード各成分の排出量により、別紙 8 に規定する計算式により各モード回（n_i）の燃料消費率（$FC_{CD(i)}$）の算定を行う。また、CD 試験の終了判定のために、各モード回（n_i）の燃料消費率（$FC_{CD(i)}$）より各モード回の消費燃料量の電気量収支相当値（$C_{ECD(i)}$）を以下の式により算出する。 （略） （新設）

新

だし、Roll Speed (VROLL)を10 Hzで測定されたシャシダイナモメータのローラ速度(km/h)、Scheduled Speed (VSCHED)を別表の速度、ETW CLASS (EQUIVALENT TEST WEIGHT)を等価慣性重量(kg)、ROAD LOAD FORCE (FRL)の$F_0+F_1\cdot V\cdot+F_2\cdot V^2$を別紙4の目標走行抵抗(F0)の$a_0+b_0*V^2$と読み替えるものとする。

算定することが不可能な項目について、当該項目の算定を免除するためには、設備能力等により算定が困難であることの証明が必要である。

1. ER (Energy Rating)
2. DR (Distance Rating)
3. EER (Energy Economy Rating)
4. ASCR (Absolute Speed Change Rating)
5. IWR (Inertia Work Rating)
6. RMSSE (Root Mean Squared Speed Error) : m/s

$$RMSSE = 3.6\sqrt{\frac{\sum_{i=1}^{N}(V_{Di}-V_n)^2}{N}}$$

別表 1-1

測定値及び計算値の末尾処理
(負荷設定記録(惰行法)関係)

(略)

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
(略)		
デ試	惰行走行時間	小数第4位又は小数第3位を切り捨て(s) 小数第4位を切り捨て、小数第3位まで記載又は小数第3位を切り捨て、小数第2位まで記載(s)
デ試	⊿tji：調和平均時間	末尾処理は行わない(s) 小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで記載(s)
デ試	⊿tj：平均惰行時間	末尾処理は行わない(s) 小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで記載(s)
デ試	σj：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第4位を四捨五入し、小数第3位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第4位を四捨五入し、小数第3位まで記載
(略)		

(略)

測定値及び計算値の末尾処理
(負荷設定記録(惰行法)関係)

(略)

旧

別表 1-1

測定値及び計算値の末尾処理
(負荷設定記録(惰行法)関係)

(略)

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
(略)		
デ試	惰行時間	計測値(小数第2位又は小数第1位)(s) 小数第2位又は小数第1位まで記載(s)
デ試	t：平均惰行時間	末尾処理は行わない(s) 小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで記載(s)
デ試	(新設)	(新設)
デ試	(新設)	(新設)
デ試	(新設)	(新設)
(略)		

(略)

測定値及び計算値の末尾処理
(負荷設定記録(惰行法)関係)

(略)

新

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	Vjm：測定車速	小数第２位を四捨五入（km/h） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（km/h）
デ試	Cjm：走行トルク	小数第２位を四捨五入（N･m） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（N･m）
デ試	$\overline{C}$j：目標トルク	小数第１位を四捨五入（N･m） 小数第１位を四捨五入し、整数値まで記載（N･m）
デ試	s：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載
（略）		

（略）

別表２

測定値及び計算値の末尾処理
（JC08H モード燃料消費率試験記録関係）
（JC08C モード燃料消費率試験記録関係）

（略）

◎その他（別紙９、10、11，12 及び付表４、５、６、７、８関係）

項目		末尾処理
（略）		
デ	シャシダイナモメータローラ速度（VROLL）	小数第３位を四捨五入又は末尾処理を行わない（km/h）
デ	Scheduled Speed（VSCHED）	末尾処理を行わない（km/h）
試	運転指標（ER、DR、EER、ASCR、IWR 及び RMSSE）	小数点第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載 ER、DR、EER、ASCR、IWR RMSSE　（m/s）

別表３（略）

付表 1-1 Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）
Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

（略）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements	n=							
不合格とした測定ペア数								

旧

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	V：測定車速	小数第２位を四捨五入（km/h） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（km/h）
デ試	T：走行トルク	小数第２位を四捨五入（N･m） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（N･m）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

（略）

別表２

測定値及び計算値の末尾処理
（JC08H モード燃料消費率試験記録関係）
（JC08C モード燃料消費率試験記録関係）

（略）

◎その他（別紙９、10、11，12 及び付表４、５、６、７、８関係）

項　目	末尾処理
（略）	
（新設）	

別表３（略）

付表 1-1 Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）
Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

（略）

指定速度 Designated speed	惰行時間 Coast-down time s	平均惰行時間 Mean	走行抵抗 Running resistance	目標走行抵抗 Target	備考 Remarks

新

Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
惰行走行時間 Coast-down time s	1	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back (⊿tjb)								
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								
	2	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back (⊿tjb)								
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								
	3	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back (⊿tjb)								
		調和平均時								

旧

km/h					coasting time s	N	running resistance N	
90	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							
80	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							
70	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							
60	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							
50	往 路 Trip away							
	復 路 Trip coming back							

新											旧								
		間 Arithmetic average time ⊿tji									40	往　路 Trip away							
	・・・											復　路 Trip coming back							
	n	往路 Trip away (⊿tja)									30	往　路 Trip away							
		復路 Trip coming back (⊿tjb)										復　路 Trip coming back							
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji									20	往　路 Trip away							
平均惰行時間 Mean coasting time s	⊿tj											復　路 Trip coming back							
標準偏差 Standard deviation	σj										回帰式　Regression Formula　F_0= + V_2								
統計的精度 Statistical precision	pj																		
走行抵抗 Running resistance N	F																		
目標走行抵抗 Target running resistance	F_0																		

新

N									

回帰式 Regression Formula F_0= + V_2

（略）

付表 1-2 Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）

Load Setting Record Form (Wheel Torque Method)

（略）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements			n=							
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
測定車速 Measurement speed km/h	1	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	2	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	3	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								

旧

（略）

付表 1-2 Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）

Load Setting Record Form (Wheel Torque Method)

（略）

指定速度 Designated speed km/h	走行方向 Running direction	測定車速 Measurement speed km/h	走行トルク Running torque N·m	目標トルク Target torque N·m	備　考 Remarks
90	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
80	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
70	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
60	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
50	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
40	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
30	往路 Trip away				
	復路 Trip				

新											旧					
	・・・											coming back				
	n	往路 Trip away									20	往路 Trip away				
		復路 Trip coming back										復路 Trip coming back				
走行トルク Running torque N・m	1	往路 Trip away									回帰式 Regression Formula F_0= + V^2					
		復路 Trip coming back														
	2	往路 Trip away														
		復路 Trip coming back														
	3	往路 Trip away														
		復路 Trip coming back														
	・・・															
	n	往路 Trip away														
		復路 Trip coming back														
平均トルク		$\bar{C}j$														

新	旧

Average torque N・m									
標準偏差 Standard deviation	s								
統計的精度 Statistical precision	pj								
目標トルク Target torque N・m	T_0								

回帰式 Regression Formula T_0= +

（略）

付表 2

Attached Table 2

燃料消費率の試験記録及び成績（JC08 モード）

Fuel Consumption Rate Test Data Record Form (JC08 Mode)

（略）

○運転指標

Drive trace index

	ER	DR	EER	ASCR	IWR	RMSSE
JC08H						
JC08C						

付表 3～7（略）

付表 8

Attached Table 8

電気式プラグインハイブリッド自動車の排出ガス試験記録

Fuel Consumption Rate of Plug-in Hybrid Motor Vehicles

（略）

○運転指標

Drive trace index

	ER	DR	EER	ASCR	IWR	RMSSE
CDtest1st						
CDtest2nd						
～						

（略）

付表 2

Attached Table 2

燃料消費率の試験記録及び成績（JC08 モード）

Fuel Consumption Rate Test Data Record Form (JC08 Mode)

（略）

（新設）

付表 3～7（略）

付表 8

Attached Table 8

電気式プラグインハイブリッド自動車の排出ガス試験記録

Fuel Consumption Rate of Plug-in Hybrid Motor Vehicles

（略）

（新設）

新

CDtestN+1						

（以下略）

TRIAS 99-007-01～99-010-01（略）

TRIAS 99-011-02

一充電走行距離及び交流電力量消費率試験（JC08 モード）

1.～7.2.1.2（略）

7.2.1.3　指定速度 vj に対応する惰行走行時間を車速（vj＋5）から（vj-5）までの経過時間として測定する。ものとし、その平均値（以下「平均惰行時間」という。）を求めるものとする。

7.2.1.4　各測定において、次式により定義される統計精度 pj を満たす 3 組以上の測定値ペアが得られるまで、測定を行うこと。

$$p_j = \frac{h \times \sigma_j}{\sqrt{n} \times \Delta t_j} \leqq 0.03$$

pj：統計的精度

n：測定値ペアの数

Δtj：指定速度 vj における平均惰行走行時間（s）であり、式

$$\Delta t_j = \frac{n}{\sum_{i=1}^{n} \frac{1}{\Delta t_{ji}}}$$

で与えられる。この場合において、Δtji は速度 vj における i 番目の測定値ペアの調和平均惰行走行時間（s）であり、式

$$\Delta t_{ji} = \frac{2}{\left(\frac{1}{\Delta t_{jai}}\right) + \left(\frac{1}{\Delta t_{jbi}}\right)}$$

で与えられ、Δtjai 及びΔtjbi は、各方向 a 及び b における指定速度 vj における i 番目に測定した惰行走行時間（s）を指す。

σj：次式により定義される標準偏差（s）

$$\sigma_j = \sqrt{\frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^{n} (\Delta t_{ji} - \Delta t_{pj})^2}$$

h：表 a に示す係数

表 a：n の関数としての係数 h

n	h
3	4.3
4	3.2
5	2.8
6	2.6
7	2.5

旧

（以下略）

TRIAS 99-007-01～99-010-01（略）

TRIAS 99-011-01

一充電走行距離及び交流電力量消費率試験（JC08 モード）

1.～7.2.1.2（略）

7.2.1.3　各指定速度における惰行時間の測定は、往路 3 回及び復路 3 回行うものとし、その平均値（以下「平均惰行時間」という。）を求めるものとする。なお、往路毎又は復路毎の惰行時間は、それぞれの最大値と最小値の比が 1.1 以下であることとし、1.1 以下でない場合は再測定とする。

（新設）

新	旧
8 2.4 9 2.3 10 2.3 11 2.2 12 2.2 13 2.2 14 2.2 15 2.2 16 2.1 17 2.1 18 2.1 19 2.1 20 2.1 21 2.1 22 2.1 23 2.1 24 2.1 25 2.1 26 2.1 27 2.1 28 2.1 29 2.0 30 2.0 7.2.1.5 惰行走行により得られたデータが 7.2.1.4 に規定する統計的精度の要件を満たすまで、試験を反復すること。この場合において、測定回数は 30 回を超えないこと。 7.2.1.6 一方向の測定中、外的要因又は運転者により走行抵抗試験に影響を及ぼすことが発生した場合には、当該測定及びその逆方向の測定を不合格とする。この場合において、(4) に定義する統計的精度を満たす最大ペア数を評価するものとし、不合格とされた測定ペアの数が測定ペア総数の 1/3 を超えないこと。 7.2.1.7 各惰行走行において、速度範囲全体について連続的なデータを取得できない場合にあっては、分割して惰行走行を行ってもよい。この場合において、各分割点において試験自動車の安定性を可能な限り維持すること。 （略） 7.3.2.4 各指定速度での測定における、7.3.2.5 により算定した測定車速 vjm からの速度偏差 vji-vjm は、表 b の値の範囲内であること。また、各指定速度における測定車速 vjm は、±1km/h 又は指定速度 vj の 2%のいずれか大きい値を上限として、指定速度 vj から超えないこと。 表 b 速度偏差	（略） 7.3.2.4 試験自動車の速度は、測定開始時におけるものと測定終了時におけるものとの相違が 0.5km/h 以下で、測定中の最大値と最小値の差が指定速度の 5%以下であること。 また、測定車速と指定車速との差は、±2km/h 以内であること

新	旧

期間（秒）	速度偏差（km/h）
5～10	±0.2
10～15	±0.4
15～20	±0.6
20～25	±0.8
25～30	±1.0
30～	±1.2

7.3.2.5　次式に基づき、7.3.2.2 において測定した往路及び復路のデータセットから各測定の測定車速 vjm（km/h）及び走行トルク Cjm（Nm）を算定すること。

$$v_{jm} = \frac{1}{k}\sum_{i=1}^{k} v_{ji}$$

$$C_{jm} = \frac{1}{k}\sum_{i=1}^{k} C_{ji} - C_{js}$$

vji：指定速度 vj における i 番目のデータセットの車速（km/h）
k：単一測定におけるデータセットの数
Cji：i 番目のデータセットのトルク（Nm）
Cjs：次式により算定される補正項（Nm）

$$C_{js} = (m_{st} + m_r) \times \alpha_j r_j.$$

ただし、Cjs は 0.05 以下とし、αj が±0.005m/s2 以内の場合は無視してもよい。
rj は次式により算定される。

$$r_j = \frac{1}{3.6} \times \frac{v_{jm}}{2 \times \pi n}$$

この場合において、N′は駆動タイヤの回転周波数（Hz）である。
αj は平均加速度（m/s2）であり、次式に基づき算定される。

$$\alpha_j = \frac{1}{3.6} \times \frac{k\sum_{i=1}^{k} t_i v_{ji} - \sum_{i=1}^{k} t_i \sum_{i=1}^{k} v_{ji}}{k \times \sum_{i=1}^{k} t_i^2 - \left[\sum_{i=1}^{k} t_i\right]^2} -$$

ただし、ti は i 番目のデータセットが取得された時間（s）とする。

7.3.2.6　$\overline{C_j}$が次式により算定される精度を満たす 3 個以上の連続的数値が各指定速度において得られるまで、両方向で測定すること。

$$\rho_j = \frac{h \times s}{\sqrt{n} \times \overline{C_j}} \leqq 0.03$$

n：Cjm に関する測定値ペアの数
$\overline{C_j}$：指定速度 vj における走行抵抗（Nm）であり、次式により算定される。

$$\overline{C_j} = \frac{1}{n}\sum_{i=1}^{n} C_{jmi}$$

ただし、Cjmi は指定速度 vj における i 番目の測定値ペアの平均トルク（Nm）であり、次式により算定される。

$$C_{jmi} = \frac{1}{2} \times (C_{jmai} + C_{jmbi})$$

7.3.2.5　左右のホイールトルクの和は、測定中の最大値と最小値の差が最大値の 5%以下であること。

7.3.2.6　各指定速度における測定車速及び走行トルクの測定は、往路 1 回及び復路 1 回行うこと。

新	旧
Cjmai 及び Cjmbi は、それぞれ、各方向について各指定速度における i 番目の測定値の走行トルク（Nm） s：次式により算定される標準偏差（Nm） $s = \sqrt{\frac{1}{k-1}\sum_{i=1}^{k}\left(C_{jmi} - \bar{C}_j\right)^2}$； h：の表 1 に示す n の関数としての係数	
7.3.2.7　走行抵抗データが 7.3.2.6 に規定する測定精度要件を満たすまで、測定を繰り返すこと。	（新設）
7.3.2.8　各測定走行において、すべての指定速度におけるデータを 1 回の走行で取得できない場合にあっては、分割して走行してもよい。この場合において、各分割点において試験自動車の安定性を可能な限り維持すること。	（新設）
（略）	（略）
8.（略）	8.（略）
9.　運転指標の算定 以下 (1) から (6) に定める運転指標を、SAE J2951 に規定される方法により算定する。ただし、Roll Speed (VROLL) を 10 Hz で測定されたシャシダイナモメータのローラ速度 (km/h)、Scheduled Speed (VSCHED) を別表の速度、ETW CLASS (EQUIVALENT TEST WEIGHT) を等価慣性重量 (kg)、ROAD LOAD FORCE (FRL) の $F_0+F_1 \cdot V \cdot +F_2 \cdot V^2$ を別紙 4 の目標走行抵抗 (F0) の $a_0+b_0*V^2$ と読み替えるものとする。 算定することが不可能な項目について、当該項目の算定を免除するためには、設備能力等により算定が困難であることの証明が必要である。 (1) ER (Energy Rating) (2) DR (Distance Rating) (3) EER (Energy Economy Rating) (4) ASCR (Absolute Speed Change Rating) (5) IWR (Inertia Work Rating) (6) RMSSE (Root Mean Squared Speed Error)：m/s $RMSSE = 3.6\sqrt{\frac{\sum_{i=1}^{N}(V_{Di}-V_n)^2}{N}}$ V_{Di}　：実走行速度　km/h VTi　：目標走行速度　km/h N　：測定数	（新設）
10.～11.3（略）	9.～10.3（略）
11.4　10. 運転指標 (1)～(6) は、付表以外の別紙に記載してもよい。	（新設）
表 3（略）	表 3（略）
別表 1-1	別表 1-1
測定値及び計算値の末尾処理	測定値及び計算値の末尾処理

新

（負荷設定記録（惰行法）関係）

（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	惰行走行時間	小数第４位又は小数第３位を切り捨て（s） 小数第４位を切り捨て、小数第３位まで記載又は 小数第３位を切り捨て、小数第２位まで記載（s）
デ試	⊿tji：調和平均時間	末尾処理は行わない（s） 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載（s）
デ試	⊿tj：平均惰行時間	末尾処理は行わない（s） 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載（s）
デ試	σj：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載
（略）		

（略）

別表 1-2

測定値及び計算値の末尾処理

（負荷設定記録（ホイールトルク法）関係）

（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	Vjm：測定車速	小数第２位を四捨五入（km/h） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（km/h）
デ試	Cjm：走行トルク	小数第２位を四捨五入（N･m） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（N･m）
デ試	$\bar{C}$j：目標トルク	小数第１位を四捨五入（N･m） 小数第１位を四捨五入し、整数値まで記載（N･m）
デ試	s：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載
（略）		

（略）

別表 2

旧

（負荷設定記録（惰行法）関係）

（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	惰行時間	計測値（小数第２位又は小数第１位）（s） 小数第２位又は小数第１位まで記載（s）
デ試	t：平均惰行時間	末尾処理は行わない（s） 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載（s）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

（略）

別表 1-2

測定値及び計算値の末尾処理

（負荷設定記録（ホイールトルク法）関係）

（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	V：測定車速	小数第２位を四捨五入（km/h） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（km/h）
デ試	T：走行トルク	小数第２位を四捨五入（N･m） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（N･m）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

（略）

別表 2

新

測定値及び計算値の末尾処理
（JC08H モード燃料消費率試験記録関係）
（JC08C モード燃料消費率試験記録関係）

（略）

◎その他（別紙 9、10、11，12 及び付表 4、5、6、7、8 関係）

項目		末尾処理
（略）		
デ	シャシダイナモメータローラ速度（VROLL）	小数第3位を四捨五入又は末尾処理を行わない(km/h)
デ	Scheduled Speed (VSCHED)	末尾処理を行わない（km/h）
試	運転指標（ER、DR、EER、ASCR、IWR 及び RMSSE）	小数点第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載 ER、DR、EER、ASCR、IWR RMSSE　(m/s)

別表 3（略）

付表 1-1 Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

（略）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements			n=							
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
惰行走行時間 Coast-down time s	1	往路 Trip away (⊿tja)								
		復路 Trip coming back (⊿tjb)								
		調和平均時間 Arithmetic								

旧

測定値及び計算値の末尾処理
（JC08H モード燃料消費率試験記録関係）
（JC08C モード燃料消費率試験記録関係）

（略）

◎その他（別紙 9、10、11，12 及び付表 4、5、6、7、8 関係）

項目	末尾処理
（略）	
（新設）	

別表 3（略）

付表 1-1 Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

（略）

指定速度 Designated speed km/h	惰行時間 Coast-down time s				平均惰行時間 Mean coasting time s	走行抵抗 Running resistance N	目標走行抵抗 Target running resistance N	備考 Remarks
90	往　路 Trip away							
	復　路 Trip coming back							
80	往　路 Trip away							
	復　路 Trip coming back							

新											旧								
			average time ⊿tji									往　路 Trip away							
		2	往路 Trip away (⊿tja)								70	復　路 Trip coming back							
			復路 Trip coming back (⊿tjb)									往　路 Trip away							
			調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji								60	復　路 Trip coming back							
		3	往路 Trip away (⊿tja)									往　路 Trip away							
			復路 Trip coming back (⊿tjb)								50	復　路 Trip coming back							
			調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji									往　路 Trip away							
		・・・									40	復　路 Trip coming back							
		n	往路 Trip away (⊿tja)									往　路 Trip away							
			復路 Trip coming back (⊿tjb)								30	復　路 Trip coming back							
			調和平均時間 Arithmetic average time								20	往　路 Trip away							

新

	⊿tji								
平均惰行時間 Mean coasting time s	⊿tj								
標準偏差 Standard deviation	σj								
統計的精度 Statistical precision	pj								
走行抵抗 Running resistance N	F								
目標走行抵抗 Target running resistance N	F_0								

回帰式 Regression Formula F_0= + V_2

（略）

付表 1-2 Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）Load Setting Record Form (Wheel Torque Method)

（略）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements	n=								
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements									
指定速度 Desingated speed km/h	Vj	90	80	70	60	50	40	30	20

旧

	復路 Trip coming back							

回帰式 Regression Formula F_0= + V_2

（略）

付表 1-2 Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）Load Setting Record Form (Wheel Torque Method)

（略）

指定速度 Designated speed km/h	走行方向 Running direction	測定車速 Measurement speed km/h	走行トルク Running torque N·m	目標トルク Target torque N·m	備考 Remarks
90	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
80	往路 Trip away				

新											旧					
測定車速 Measurement speed km/h	1	往路 Trip away										復路 Trip coming back				
		復路 Trip coming back									70	往路 Trip away				
												復路 Trip coming back				
	2	往路 Trip away									60	往路 Trip away				
		復路 Trip coming back										復路 Trip coming back				
	3	往路 Trip away									50	往路 Trip away				
		復路 Trip coming back										復路 Trip coming back				
	・・・										40	往路 Trip away				
	n	往路 Trip away										復路 Trip coming back				
		復路 Trip coming back									30	往路 Trip away				
走行トルク Running torque N・m	1	往路 Trip away										復路 Trip coming back				
		復路 Trip coming back									20	往路 Trip away				
	2	往路 Trip										復路 Trip coming back				

回帰式 Regression Formula $F_0 =$ + V^2

新											旧
		away									
		復路 Trip coming back									
	3	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
	・・・										
	n	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
平均トルク Average torque N・m	$\bar{C}j$										
標準偏差 Standard deviation	s										
統計的精度 Statistical precision	pj										
目標トルク Target torque N・m	T_0										

回帰式 Regression Formula T_0= +

（略）

付表 2 Attached Table 2

一充電走行距離及び交流電力量消費率の試験記録及び成績（JC08 モード）

（略）

付表 2 Attached Table 2

一充電走行距離及び交流電力量消費率の試験記録及び成績（JC08 モード）

新

Per-charge Range & AC Energy Consumption Test Data Record Form (JC08 Mode)

(略)

試験室温度　　開始前　　～終了後

Temperature at test room　Before start　K (℃) ～After finish　K (℃)

○運転指標

Drive trace index

	ER	DR	EER	ASCR	IWR	RMSSE
JC08 モード 1 JC08Mode 1						
JC08 モード 2 JC08Mode 2						
～						
JC08 モード N JC08Mode N						

(以下略)

TRIAS 99-012-01～99-020-01 (略)

TRIAS 99-021-02

一充電走行距離及び交流電力量消費率試験 (JC08 モード計算法対応)

1.～7.2.1.2 (略)

7.2.1.3　指定速度 vj に対応する惰行走行時間を車速 (vj+5) から (vj-5) までの経過時間として測定する。ものとし、その平均値 (以下「平均惰行時間」という。) を求めるものとする。

7.2.1.4　各測定において、次式により定義される統計精度 pj を満たす 3 組以上の測定値ペアが得られるまで、測定を行うこと。

$$p_j = \frac{h \times \sigma_j}{\sqrt{n} \times \Delta t_j} \leqq 0.03$$

pj：統計的精度

n：測定値ペアの数

Δtj：指定速度 vj における平均惰行走行時間 (s) であり、式

$$\Delta t_j = \frac{n}{\sum_{i=1}^{n} \frac{1}{\Delta t_{ji}}}$$

で与えられる。この場合において、Δtji は速度 vj における i 番目の測定値ペアの調和平均惰行走行時間 (s) であり、式

旧

Per-charge Range & AC Energy Consumption Test Data Record Form (JC08 Mode)

(略)

試験室温度

Temperature at test room　K (℃) ～K (℃)

(新設)

(以下略)

TRIAS 99-012-01～99-020-01 (略)

TRIAS 99-021-01

一充電走行距離及び交流電力量消費率試験 (JC08 モード計算法対応)

1.～7.2.1.2 (略)

7.2.1.3　各指定速度における惰行時間の測定は、往路 3 回及び復路 3 回行うものとし、その平均値 (以下「平均惰行時間」という。) を求めるものとする。なお、往路毎又は復路毎の惰行時間は、それぞれの最大値と最小値の比が 1.1 以下であることとし、1.1 以下でない場合は再測定とする。

(新設)

新	旧

$$\Delta t_{ji} = \frac{2}{\left(\frac{1}{\Delta t_{jai}}\right)+\left(\frac{1}{\Delta t_{jbi}}\right)}$$

で与えられ、Δtjai 及びΔtjbi は、各方向 a 及び b における指定速度 vj における i 番目に測定した惰行走行時間（s）を指す。

σj：次式により定義される標準偏差（s）

$$\sigma_j = \sqrt{\frac{1}{n-1}\sum_{i=1}^{n}(\Delta t_{ji} - \Delta t_{pj})^2}$$

h：表 a に示す係数

表 a: n の関数としての係数 h

n	h
3	4.3
4	3.2
5	2.8
6	2.6
7	2.5
8	2.4
9	2.3
10	2.3
11	2.2
12	2.2
13	2.2
14	2.2
15	2.2
16	2.1
17	2.1
18	2.1
19	2.1
20	2.1
21	2.1
22	2.1
23	2.1
24	2.1
25	2.1
26	2.1
27	2.1
28	2.1
29	2.0

新	旧
30 ／ 2.0	
7.2.1.5　惰行走行により得られたデータが 7.2.1.4 に規定する統計的精度の要件を満たすまで、試験を反復すること。この場合において、測定回数は 30 回を超えないこと。	（新設）
7.2.1.6　一方向の測定中、外的要因又は運転者により走行抵抗試験に影響を及ぼすことが発生した場合には、当該測定及びその逆方向の測定を不合格とする。この場合において、(4) に定義する統計的精度を満たす最大ペア数を評価するものとし、不合格とされた測定ペアの数が測定ペア総数の 1/3 を超えないこと。	（新設）
7.2.1.7　各惰行走行において、速度範囲全体について連続的なデータを取得できない場合にあっては、分割して惰行走行を行ってもよい。この場合において、各分割点において試験自動車の安定性を可能な限り維持すること。	（新設）
（略）	（略）
7.3.2.4　各指定速度での測定における、7.3.2.5 により算定した測定車速 vjm からの速度偏差 vji-vjm は、表 b の値の範囲内であること。また、各指定速度における測定車速 vjm は、±1km/h 又は指定速度 vj の 2%のいずれか大きい値を上限として、指定速度 vj から超えないこと。	7.3.2.4　試験自動車の速度は、測定開始時におけるものと測定終了時におけるものとの相違が 0.5km/h 以下で、測定中の最大値と最小値の差が指定速度の 5%以下であること。 また、測定車速と指定車速との差は、±2km/h 以内であること
表 b　速度偏差	

期間（s）	速度偏差（km/h）
5～10	±0.2
10～15	±0.4
15～20	±0.6
20～25	±0.8
25～30	±1.0
30～	±1.2

新	旧
7.3.2.5　次式に基づき、7.3.2.2 において測定した往路及び復路のデータセットから各測定の測定車速 vjm（km/h）及び走行トルク Cjm（Nm）を算定すること。 $v_{jm} = \frac{1}{k}\sum_{i=1}^{k} v_{ji}$ $C_{jm} = \frac{1}{k}\sum_{i=1}^{k} C_{ji} - C_{js}$ vji：指定速度 vj における i 番目のデータセットの車速（km/h） k：単一測定におけるデータセットの数 Cji：i 番目のデータセットのトルク（Nm） Cjs：次式により算定される補正項（Nm） $C_{js} = (m_{st} + m_r) \times \alpha_j r_j$. ただし、Cjs は 0.05 以下とし、αj が±0.005m/s2 以内の場合は無視してもよい。 rj は次式により算定される。 $r_j = \frac{1}{3.6} \times \frac{v_{jm}}{2\times\pi n}$	7.3.2.5　左右のホイールトルクの和は、測定中の最大値と最小値の差が最大値の 5%以下であること。

新	旧
この場合において、N′は駆動タイヤの回転周波数（Hz）である。 αj は平均加速度（m/s2）であり、次式に基づき算定される。 $\alpha_j = \frac{1}{3.6} \times \frac{k\sum_{i=1}^{k} t_i v_{ji} - \sum_{i=1}^{k} t_i \sum_{i=1}^{k} v_{ji}}{k \times \sum_{i=1}^{k} t_i^2 - \left[\sum_{i=1}^{k} t_i\right]^2}$ − ただし、ti は i 番目のデータセットが取得された時間（s）とする。 7.3.2.6　$\bar{C}_j$が次式により算定される精度を満たす 3 個以上の連続的数値が各指定速度において得られるまで、両方向で測定すること。 $\rho_j = \frac{h \times s}{\sqrt{n} \times \bar{C}_j} \leqq 0.03$ n：Cjm に関する測定値ペアの数 $\bar{C}_j$：指定速度 vj における走行抵抗（Nm）であり、次式により算定される。 $\bar{C}_j = \frac{1}{n}\sum_{i=1}^{n} C_{jmi}$ ただし、Cjmi は指定速度 vj における i 番目の測定値ペアの平均トルク（Nm）であり、次式により算定される。 $C_{jmi} = \frac{1}{2} \times \left(C_{jmai} + C_{jmbi}\right)$ Cjmai 及び Cjmbi は、それぞれ、各方向について各指定速度における i 番目の測定値の走行トルク（Nm） s：次式により算定される標準偏差（Nm） $s = \sqrt{\frac{1}{k-1}\sum_{i=1}^{k}\left(C_{jmi} - \bar{C}_j\right)^2}$； h：の表 1 に示す n の関数としての係数 7.3.2.7　走行抵抗データが 7.3.2.6 に規定する測定精度要件を満たすまで、測定を繰り返すこと。 7.3.2.8　各測定走行において、すべての指定速度におけるデータを 1 回の走行で取得できない場合にあっては、分割して走行してもよい。この場合において、各分割点において試験自動車の安定性を可能な限り維持すること。 （略） 8.～9.（略） 10.　運転指標の算定 以下（1）から（6）に定める運転指標を、SAE　J2951 に規定される方法により算定する。ただし、Roll Speed（VROLL）を 10 Hz で測定されたシャシダイナモメータのローラ速度（km/h）、Scheduled Speed（VSCHED）を別表の速度、ETW CLASS（EQUIVALENT TEST WEIGHT）を等価慣性重量（kg）、ROAD LOAD FORCE（FRL）の $F_0+F_1 \cdot V \cdot +F_2 \cdot V^2$ を別紙 4 の目標走行抵抗（F0）の $a_0+b_0*V^2$ と読み替えるものとする。 算定することが不可能な項目について、当該項目の算定を免除するためには、設備能力等により算定が困難であることの証明が必要である。 （1）ER（Energy Rating）	7.3.2.6　各指定速度における測定車速及び走行トルクの測定は、往路 1 回及び復路 1 回行うこと。 （新設） （新設） （略） 8.～9.（略） （新設）

新

(2) DR (Distance Rating)
(3) EER (Energy Economy Rating)
(4) ASCR (Absolute Speed Change Rating)
(5) IWR (Inertia Work Rating)
(6) RMSSE (Root Mean Squared Speed Error) : m/s

$$RMSSE = 3.6\sqrt{\frac{\sum_{i=1}^{N}(V_{Di}-V_n)^2}{N}}$$

V_{Di} : 実走行速度 km/h
VTi : 目標走行速度 km/h
N : 測定数

11. ～12. 3 (略)
12. 4 10. 運転指標 (1) ～ (6) は、付表以外の別紙に記載してもよい。

表 3 (略)
別表 1-1

測定値及び計算値の末尾処理
(負荷設定記録 (惰行法) 関係)

(略)
◎試験路における走行抵抗測定記録

項 目		末尾処理
(略)		
デ試	惰行走行時間	小数第 4 位又は小数第 3 位を切り捨て (s) 小数第 4 位を切り捨て、小数第 3 位まで記載又は 小数第 3 位を切り捨て、小数第 2 位まで記載 (s)
デ試	⊿tji : 調和平均時間	末尾処理は行わない (s) 小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載 (s)
デ試	⊿tj : 平均惰行時間	末尾処理は行わない (s) 小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載 (s)
デ試	σj : 標準偏差	末尾処理は行わない 小数第 4 位を四捨五入し、小数第 3 位まで記載
デ試	pj : 統計的精度	末尾処理は行わない 小数第 4 位を四捨五入し、小数第 3 位まで記載
(略)		

(略)
別表 1-2

測定値及び計算値の末尾処理
(負荷設定記録 (ホイールトルク法) 関係)

旧

10. ～11. 3 (略)
(新設)
表 3 (略)
別表 1-1

測定値及び計算値の末尾処理
(負荷設定記録 (惰行法) 関係)

(略)
◎試験路における走行抵抗測定記録

項 目		末尾処理
(略)		
デ試	惰行時間	計測値 (小数第 2 位又は小数第 1 位) (s) 小数第 2 位又は小数第 1 位まで記載 (s)
デ試	t : 平均惰行時間	末尾処理は行わない (s) 小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで記載 (s)
デ試	(新設)	(新設)
デ試	(新設)	(新設)
デ試	(新設)	(新設)
(略)		

(略)
別表 1-2

測定値及び計算値の末尾処理
(負荷設定記録 (ホイールトルク法) 関係)

新

（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	Vjm：測定車速	小数第２位を四捨五入（km/h） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（km/h）
デ試	Cjm：走行トルク	小数第２位を四捨五入（N･m） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（N･m）
デ試	$\bar{C}$j：目標トルク	小数第１位を四捨五入（N･m） 小数第１位を四捨五入し、整数値まで記載（N･m）
デ試	s：標準偏差	末尾処理は行わない 小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載
デ試	pj：統計的精度	末尾処理は行わない 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載
（略）		

（略）

別表２

測定値及び計算値の末尾処理

（JC08H モード燃料消費率試験記録関係）

（JC08C モード燃料消費率試験記録関係）

（略）

◎その他（別紙９、10、11，12 及び付表４、５、６、７、８関係）

項目		末尾処理
（略）		
デ	シャシダイナモメータローラ速度（VROLL）	小数第３位を四捨五入又は末尾処理を行わない（km/h）
デ	Scheduled Speed（VSCHED）	末尾処理を行わない（km/h）
試	運転指標（ER、DR、EER、ASCR、IWR 及び RMSSE）	小数点第３位を四捨五入し、小数第２位まで記載 ER、DR、EER、ASCR、IWR RMSSE　（m/s）

別表３（略）

付表 1-1 Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

（略）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements	n=							
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of								

旧

（略）

◎試験路における走行抵抗測定記録

項　目		末尾処理
（略）		
デ試	V：測定車速	小数第２位を四捨五入（km/h） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（km/h）
デ試	T：走行トルク	小数第２位を四捨五入（N･m） 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記載（N･m）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
デ試	（新設）	（新設）
（略）		

（略）

別表２

測定値及び計算値の末尾処理

（JC08H モード燃料消費率試験記録関係）

（JC08C モード燃料消費率試験記録関係）

（略）

◎その他（別紙９、10、11，12 及び付表４、５、６、７、８関係）

項目	末尾処理
（略）	
（新設）	

別表３（略）

付表 1-1 Attached Table 1-1

負荷設定記録（惰行法）Load Setting Record Form （Coast-Down Method）

（略）

指定速度 Designated speed km/h	惰行時間 Coast-down time s	平均惰行時間 Mean coasting	走行抵抗 Running resistance N	目標走行抵抗 Target running	備考 Remarks

新												旧								
measurements																time s		resistance N	
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20									
惰行走行時間 Coast-down time s	1	往路 Trip away (⊿tja)										90	往路 Trip away							
		復路 Trip coming back (⊿tjb)											復路 Trip coming back							
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji										80	往路 Trip away							
													復路 Trip coming back							
	2	往路 Trip away (⊿tja)										70	往路 Trip away							
		復路 Trip coming back (⊿tjb)											復路 Trip coming back							
		調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji										60	往路 Trip away							
													復路 Trip coming back							
	3	往路 Trip away (⊿tja)										50	往路 Trip away							
		復路 Trip coming back (⊿tjb)											復路 Trip coming back							
		調和平均時間										40	往路							

新											旧								
			Arithmetic average time ⊿tji									Trip away							
		・・・										復　路 Trip coming back							
		n	往路 Trip away (⊿tja)									往　路 Trip away							
			復路 Trip coming back (⊿tjb)								30	復　路 Trip coming back							
			調和平均時間 Arithmetic average time ⊿tji									往　路 Trip away							
平均惰行時間 Mean coasting time s	⊿tj										20	復　路 Trip coming back							
標準偏差 Standard deviation	σj										回帰式 Regression Formula F_0= + V_2								
統計的精度 Statistical precision	pj																		
走行抵抗 Running resistance N	F																		
目標走行抵抗 Target running resistance N	F_0																		

新

回帰式 Regression Formula F_0= + V_2

（略）

付表 1-2 Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）

Load Setting Record Form (Wheel Torque Method)

（略）

測定値ペア数 Number of pairs of measurements			n=							
不合格とした測定ペア数 Number of rejected pairs of measurements										
指定速度 Desingated speed km/h	Vj		90	80	70	60	50	40	30	20
測定車速 Measurement speed km/h	1	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	2	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	3	往路 Trip away								
		復路 Trip coming back								
	・・・									

旧

（略）

付表 1-2 Attached Table 1-2

負荷設定記録（ホイールトルク法）

Load Setting Record Form (Wheel Torque Method)

（略）

指定速度 Designated speed km/h	走行方向 Running direction	測定車速 Measurement speed km/h	走行トルク Running torque N·m	目標トルク Target torque N·m	備　考 Remarks
90	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
80	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
70	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
60	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
50	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
40	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				
30	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				

新											
	n	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
走行トルク Running torque N・m	1	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
	2	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
	3	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
	・・・										
	n	往路 Trip away									
		復路 Trip coming back									
平均トルク Average	$\bar{C}j$										

旧					
20	往路 Trip away				
	復路 Trip coming back				

回帰式 Regression Formula $F_0 =$ + V^2

新	旧
torque N・m 標準偏差 Standard deviation s 統計的精度 Statistical precision pj 目標トルク Target torque N・m T_0 回帰式 Regression Formula T_0= +	
（略） 付表 2 Attached Table 2 一充電走行距離及び交流電力量消費率の試験記録及び成績（JC08 モード） Per-charge Range & AC Energy Consumption Test Data Record Form （JC08 Mode） （略） 試験室温度 開始前 ～終了後 Temperature at test room Before start K（℃）～After finish K（℃） ○運転指標 Drive trace index	（略） 付表 2 Attached Table 2 一充電走行距離及び交流電力量消費率の試験記録及び成績（JC08 モード） Per-charge Range & AC Energy Consumption Test Data Record Form （JC08 Mode） （略） 試験室温度 Temperature at test room K（℃）～K（℃） （新設）

	ER	DR	EER	ASCR	IWR	RMSSE
JC08 モード 1 JC08Mode 1						
JC08 モード 2 JC08Mode 2						
～						
JC08 モード N JC08Mode N						

（以下略）

（以下略）

TRIAS 99-022-01

燃料消費率試験（WLTC モード）

※別紙による

（新設）

別添 2～別添 16（略）

別添 2～別添 16（略）

附則（平成29年4月4日規程第1号）

この規程は、平成29年4月5日から施行する。